

医史学関係文献目録 (五十音順)

平成20(2008)年

順天堂大学医史学研究室編

- | | | |
|-------------------|------------------|-------------------------|
| 01 単行本 | 23 疾病史 | 45 皮膚科史 |
| 02 医学切手・書画 | 24 耳鼻咽喉科史 | 46 泌尿器科史 |
| 03 医学教育 | 25 種痘史 | 47 病院史 |
| 04 医学用語 | 26 獣医学史 | 48 病跡学 |
| 05 医師会・学会 | 27 書簡 | 49 病理学史 |
| 06 医史学一般 | 28 書誌学 | 50 風俗史 |
| 07 医の倫理 | 29 小児科史 | 51 仏教医学史 |
| 08 医療器械 | 30 神経学史 | 52 法医学史 |
| 09 医療制度史・医療史 | 31 診断学史 | 53 放射線医学史 |
| 10 衛生・公衆衛生史・予防医学史 | 32 整形外科史 | 54 本草学史・博物学史 |
| 11 解剖学史 | 33 精神医学史 | 55 麻醉学史 |
| 12 眼科史 | 34 生物学史 | 56 門人録 |
| 13 看護史 | 35 西洋医学史 | 57 薬学史 |
| 14 寄生虫学史 | 36 生化学史 | 58 蘭学史 |
| 15 教室・大学史 | 37 生理学史 | 59 リハビリテーション関係史 |
| 16 軍陣医学史 | 38 地方史 | 60 検査 |
| 17 形成外科学史 | 39 治療史 | 61 その他 |
| 18 外科史 | 40 伝記 | 62 中国語文献 |
| 19 細菌学史 | 41 伝記(双) | 63 韓国語文献 |
| 20 産婦人科史 | 42 伝染病史・防疫史・感染症史 | 64 欧文文献 |
| 21 歯学史 | 43 東洋医学史・伝統医学史 | 今回は17, 36, 37, 56, 63にあ |
| 22 史跡・記念碑 | 44 内科史 | たる文献はありません。 |

01 単行本

『京都大学医学部病理学教室百年史』京都大学医学部病理学教室百年史刊行会
 安室芳樹『切手で綴る医学の歴史』出版文化社
 石田眞『ニンギョ様を祀る』売文社
 乾隆明『松江開府400年 松江藩の時代』山陰中央新報社
 榎本隆充, 高成田享(編)『近代日本の万能人・榎本武揚1836-1908』藤原書店
 鹿毛敏夫『月のえくぼを見た男 麻田剛立』くもん出版

学校法人愛知医科大学『写真集 愛知医科大学の歴史1970-2006』愛知医科大学
 圭介文書研究会編『伊藤圭介日記 第十四集(錦窠翁日記 明治十年四月~十二月)』名古屋市東山植物園
 坂井建雄『人体観の歴史』岩波書店
 産科文献読書会『平成版 産論・産論翼』岩田書院
 島根大学附属図書館医学分館, 大森文庫出版編集委員会『華岡流医術の世界 華岡青洲とその門人たちの軌跡』ワン・ライン

杉浦守邦『江戸期文化人の死因』思文閣出版
 中津市教育委員会『中津市歴史民俗資料館 分館
 医科史料館叢書VI『史料と人物I』ヴォルフ
 ガング・ミヒェル編』中津歴史民俗資料館
 中村光夫『埼玉の癩瘡神』
 中村光夫『東京の癩瘡神・Ⅲ』
 中村光夫『「癩瘡」資料・文献目録』
 中村光夫『山梨の癩瘡神』
 浜松市史編さん委員会『浜松市史 新編史料編五
 (別冊付)』浜松市
 森 納『稲村三伯と娘さだ』
 森 納『回顧録 ある田舎医者への足跡(再版)』

02 医学切手・書画

「エスペラント大会の記念カバー・記念印」『日本
 医学切手友の会 STETHOSCOPE』(193) 18
 「浮世絵に見る江戸の病(抄)」稲垣進一『医譚』
 (104) 5447-5449
 「切手で医学散歩 鼠塚(1)他<489>-<537>」金
 山知新『Medical Tribune』41(1-52)
 「ビルロート2007—ヨゼフィーヌム—」金山知新
 『日本医学切手友の会 STETHOSCOPE』(192) 5-8
 「くすりの広告」酒井シヅ『CLINICIAN』(565) 2-6
 「画家が描いた地方性甲状腺腫」杉田克生『日本
 医学切手友の会 STETHOSCOPE』(191) 11-13
 「近年収集した医学絵葉書(抄)」寺畑喜朔『医譚』
 (104) 5441-5442
 「R. Barany の呪縛」豊田守邦『日本医学切手友の
 会 STETHOSCOPE』(191) 3-8
 「絵葉書に載ったウィーンの医師たち」豊田守邦
 『日本医学切手友の会 STETHOSCOPE』(192) 3-4
 「耳鼻科の創始者 A. Politzer」豊田守邦『日本医学
 切手友の会 STETHOSCOPE』(193) 14-16
 「歯科治療と麻酔の歴史—絵画を中心に—(抄)」
 別部智司『日本医史学雑誌』54(1) 79-80

03 医学教育

「韓国における医学教育：歴史的背景とアメリカ
 の影響(英語)(抄)(Medical education in Korea:
 The historical background and The influence of U.S.)」
 Chung Myung-Hyun 『医学教育』39(Suppl.) 9

「佐藤剛蔵と京城医学専門学校 朝鮮で医学教育
 に尽くした人々(上)」石田純郎『日本医事新
 報』(4377) 84-88
 「志賀潔と京城帝国大学 朝鮮で医学教育に尽くし
 た人々(下)」石田純郎『日本医事新報』(4385)
 85-88
 「公衆衛生教育の黎明 ロックフェラー財団から
 国立公衆衛生院へ」逢見憲一『保健医療科学』
 57(1) 79-80
 「医学・医療の150年 歴史から何を学ぶか」亀
 田治男, 矢崎義雄, 金澤一郎, 永井良三『日本
 医事新報』(4370) 57-71, 53-56
 「日本の医学教育の歴史と展望(抄)」酒井シヅ『医
 学教育』39(Suppl.) 6-7
 「【解剖学の歴史と用語をめぐって】我が国の近代
 解剖学教育の成立過程」坂井建雄『解剖学雑誌』
 83(4) 105-116
 「我が国の人体解剖学教育を検証する 我が国に
 おける人体解剖学教育の独自性 歴史と国際比
 較からの検証(抄)」坂井建雄『医学教育』39
 (Suppl.) 4
 「阪大「医学概論」創設時の資料」野村拓『医学
 史研究』(90) 1-6
 「医師の生涯教育の現状と今後の課題」橋本信也
 『医学教育』39(1) 29-35

04 医学用語

「「療養」の語誌的研究」青木純一, 北野与一『東
 横学園女子短期大学紀要』(42) 69-82
 「看護婦・看護師という意味の外国語」泉彪之助
 『医譚』(105) 5469-5482
 「国際医療用語集 SNOMED-CT の成立と概要, 日本
 への影響」柏木公一『情報管理』51(4) 243-250
 「【解剖学の歴史と用語をめぐって】解剖学用語
 委員会の歩み」木村邦彦『解剖学雑誌』83(4)
 133-137
 「【解剖学の歴史と用語をめぐって】我が国の解剖
 学の用語 「蝶形骨」を例に」澤井直『解剖学雑
 誌』83(4) 123-126
 「【解剖学の歴史と用語をめぐって】我が国の解剖
 学の用語の由来(抄)」澤井直『解剖学雑誌』

- 83 (Suppl.) 88
- 「16世紀前半の解剖学用語について—脱アラビアの試み— (抄)」澤井直『日本医史学雑誌』54 (2) 141
- 「【解剖学の歴史と用語をめぐる】「解剖学用語」が生まれるまで」島田和幸『解剖学雑誌』83 (4) 127-132
- 「【解剖学の歴史と用語をめぐる】「解剖学用語」が生まれるまで (抄)」島田和幸『解剖学雑誌』83 (Suppl.) 88
- 「【解剖学の歴史と用語をめぐる】国際解剖学会連合用語委員会 現状と将来 (抄)」瀬口春道『解剖学雑誌』83 (Suppl.) 89
- 「野口英世の『歯牙形態学』に記載される歯牙用語について (抄)」田松裕一，島田和幸，井出吉信『Journal of Oral Biosciences』50 (Suppl.) 222
- 「腓の語源について (6)」土屋涼一『胆と腓』29 (11) 1029-1033
- 「MRA (悪性関節リウマチ) 命名の由来」橋本博史『Frontiers in Rheumatology & Clinical Immunology』2 (1) 56-57
- 「神経衰弱症 病名が消えるとき (抄)」松下正明『精神神経学雑誌』2008 特別, S-285
- 05 医師会・学会**
- 「実験動物医学専門医の国際連携 (IACLAM) 米国実験動物医学専門境界 (ACLAM) と欧州実験動物医学専門医協会 (ECLAM) の発展，歴史，及び活動 (英語) (抄) (The Development, History and Activities of the American College of Laboratory Animal Medicine (ACLAM) and the European College of Laboratory Animal Medicine (ECLAM))」White William『日本獣医学会学術集会講演要旨集』(145) 152
- 「日本トキシコロジー学会 (JST) の歴史と新薬開発における毒性学の重要性 (英語) (抄) (History of JST and importance of toxicology in new drug development)」Endou Hitoshi『Journal of Pharmacological Sciences』106 (Suppl.) 17
- 「朝鮮薬学会と『朝鮮薬学会雑誌』」牛久保裕子，千葉義彦，三澤美和『薬史学雑誌』43 (1) 48-53
- 「日本老年医学会の過去・現在・未来 日本における老年医学の創設期」大友英一『日本老年医学会雑誌』45 (6) 579-581
- 「日本老年医学会の過去・現在・未来 日本における老年医学の創設期 (抄)」大友英一『日本老年医学会雑誌』45 (Suppl.) 5
- 「日本老年医学会の過去・現在・未来 日本老年医学会50年の歩み (抄)」小澤利男『日本老年医学会雑誌』45 (Suppl.) 5
- 「【「死の臨床」と看護】「日本死の臨床研究会」の設立とその活動」柏木哲夫『Nurse eye』21 (1) 13-16
- 「日本糖尿病動物研究会の20年」金澤康徳『Diabetes Frontier』19 (3) 293-302
- 「日本社会薬学会年史，歴史年表等作成に向けての資料案 (抄)」五位野政彦『社会薬学』26 (2) 100-101
- 「日本レーザー治療学会20年の歩み (抄)」白戸千之『日本レーザー治療学会誌』7 (1) 23
- 「日本喉頭科学会20年の歩み」進武幹『喉頭』20 (2) 53-56
- 「京都看病婦学校第六回卒業生西山徳が創設した協同看護婦会」竹中京子，岡山寧子，依田和美『日本看護歴史学会誌』(21) 76-85
- 「【在宅医療の本質】在宅医学は確立したのか？学会設立10年によせて」平原佐斗司『日本在宅医学会雑誌』9 (2) 163-167
- 「青森県農村医学会の歩みに見る青森県保健医療社会史断面」本郷敏郎『セミナー医療と社会』(33) 12-55
- 06 医史学一般**
- 「古代人にとって脳は何であったのか？ 脳が意識の中核であることに気づいた人はいるのか？ (英語) (抄) (What was the brain for ancient people; did someone think it to be the seat of mind?)」Kayama Yukihiko, Doty Robert『The Journal of Physiological Sciences』58 (Suppl.) S150
- 「ノーベル賞の哲学と歴史 (英語) (抄) (Philosophy and History of Nobel Prizes)」Lindahl Sten G.E.『日本臨床外科学会雑誌』69 (増刊) 242

- 「医師の装束(抄)」天野陽介, 町泉寿郎, 小曾戸洋『日本医史学雑誌』54(4)411-412
- 「がん体験者のレジリエンスの獲得過程 文献から見た歴史変遷(抄)」荒井春生, 山田和夫『日本臨床死生学会プログラム・抄録集14回』72
- 「続・医史学における複言語主義のすすめ」泉彪之助『日本医史学雑誌』54(3)259-263
- 「ヒポクラテスの木 The Plane Trees of HIPPOCRATES: 2007」稲松孝思『日本医史学雑誌』54(2)143
- 「紙の寶石 EXLIBRIS ⑥ ブシュケ他」上野賢一『大塚薬報』(632)69-71
- 「紙の寶石 EXLIBRIS ⑦ エーリング他」上野賢一『大塚薬報』(633)71-73
- 「紙の寶石 EXLIBRIS ⑧ ガンズの蔵書票他」上野賢一『大塚薬報』(634)71-73
- 「紙の寶石 EXLIBRIS ⑨ ガーレフスキーの蔵書票他」上野賢一『大塚薬報』(635)69-72
- 「紙の寶石 EXLIBRIS ⑩ ゼーニクセンの蔵書票」上野賢一『大塚薬報』(636)67-69
- 「紙の寶石 EXLIBRIS ⑪-⑫ 星榮一の蔵書票」上野賢一『大塚薬報』(637-638)77-79, 71-74
- 「紙の寶石 EXLIBRIS ⑬ 星榮一制作の蔵書票(インド式造鼻術他)」上野賢一『大塚薬報』(639)69-71
- 「紙の寶石 EXLIBRIS ⑭ 星榮一制作の蔵書票(アンブロアス・ペレ他)」上野賢一『大塚薬報』(640)69-72
- 「紙の寶石 EXLIBRIS ⑮ トロプロヴィッツの蔵書票他」上野賢一『大塚薬報』(641)69-72
- 「大槻真一郎, 錬金術を語る 植物とその3大栄養素の元素(カリ, チョウ, リン)との共鳴・協調関係について, その他」大槻真一郎『aromatopia』17(5)72-77
- 「奨進医会—『医談』から『刀圭新報』へ」岡田靖雄『日本医史学雑誌』54(1)49-55
- 「医師の呼称より医史を見る(抄)」奥沢康正『医譚』(104)5442-5443
- 「赤十字の新標章 レッドクリスタル」小野公義『日本医学切手友の会 STETHOSCOPE』(191)9-10
- 「120年前の一般大学生の人体測定資料」木下秀明『体育の科学』58(3)213-218
- 「『十訓抄』の中の身体に関わる表現(抄)」計良吉則『日本医史学雑誌』54(2)153
- 「温泉文化の源流を巡って ギリシア・ヨーロッパ, 中東, 南米(インカ文明), 日本(抄)」合田純人『日本温泉気候物理医学会雑誌』72(1)16-17
- 「医家肖像に関する考察(抄)」小曾戸洋, 天野陽介, 町泉寿郎, 花輪壽彦『日本医史学雑誌』54(2)160
- 「1930年代の臨床医学」後藤幸一『医学史研究』(90)27-29
- 「日本近代医学の夜明け(抄)」齋藤寛『日本腎臓学会誌』50(3)216
- 「医学史から vol.10 溜飲」酒井シヅ『すこやか健保』710, 2
- 「医学史から vol.11 消えた江戸の病“疝気”」酒井シヅ『すこやか健保』711, 2
- 「医学史から vol.12 肝」酒井シヅ『すこやか健保』712, 2
- 「医学史から vol.13 腑に落ちないの腑はどこ」酒井シヅ『すこやか健康』713, 2
- 「医学史から vol.14 『解体新書』の翻訳」酒井シヅ『すこやか健康』714, 2
- 「医学史から vol.15 腎臓」酒井シヅ『すこやか健康』715, 2
- 「医学史から vol.16 “頭にくる”“腹が立つ”」酒井シヅ『すこやか健康』716, 2
- 「医学史から vol.17 見えない虫, 見える虫」酒井シヅ『すこやか健康』717, 2
- 「医学史から vol.18 売薬の宣伝「外郎売」」酒井シヅ『すこやか健康』718, 2
- 「医学史から vol.19 「くび」の話 首と頸」酒井シヅ『すこやか健康』719, 2
- 「医学史から vol.20 危機」酒井シヅ『すこやか健康』720, 2
- 「医学史から vol.21 江戸時代に「胃がん」はなかったのか?」酒井シヅ『すこやか健康』721, 2
- 「近代日本医学の成立と周辺事情」酒井シヅ『佐賀大学地域学歴史文化研究センター研究紀要』(2)46-54
- 「医療史回り舞台 整形外科医が成し遂げた21世

- 紀の夢『万能細胞』 篠田達明『整形・災害外科』51(1)82
- 「医療史回り舞台 セザンヌが描いた骨形成不全症の友人」 篠田達明『整形・災害外科』51(2)200
- 「医療史回り舞台 トプカブ宮殿の出産用椅子」 篠田達明『整形・災害外科』51(3)330
- 「医療史回り舞台 絵画療法で治したムンクの神経症」 篠田達明『整形・災害外科』51(4)450
- 「医療史回り舞台 博物学者リンネの弟子ツェンペリー医師の日本訪問」 篠田達明『整形・災害外科』51(6)835
- 「医療史回り舞台 細菌性赤痢に斃れた明治維新の原動力・島津斉彬」 篠田達明『整形・災害外科』51(8)1060
- 「医療史回り舞台 毒殺が疑われた13代将軍徳川家定」 篠田達明『整形・災害外科』51(9)1182
- 「医療史回り舞台 天璋院篤姫の脳卒中」 篠田達明『整形・災害外科』51(10)1286
- 「栄花物語の中の医学」 白崎昭一郎『北陸医史』29(1)44-52
- 「知識をいかに体系化するか マッチング 医学史・科学史のマッチング不良の例」 諏訪邦夫『LiSA』15(8)822-823
- 「近代化以前の日本人における糖尿病に関する民俗学的検討—狐憑き説話からの糖尿病実情分析の試み—」 高山真一郎『医譚』(105)5483-5489
- 「近代化以前の日本人の病因概念に対する民俗学的検討—東京都伝承説話からの試み—」 高山真一郎『医譚』(105)5490-5495
- 「目で見える医療の文化史（第2回）近代医療への道のり」 立川昭二『月刊保団連』(962)41-44
- 「目で見える医療の文化史（第3回）日本の医療の形成」 立川昭二『月刊保団連』(971)57-60
- 「目で見える医療の文化史（第4回最終回）近代日本の医者と病人」 立川昭二『月刊保団連』(974)49-52
- 「備忘録から その十 水俣病をめぐる学者たち」 中山宏明『ミクロスコピア』25(1)41-43
- 「備忘録から その十一 ワイル病と黄熱の接点病原体研究史のひとつま」 中山宏明『ミクロスコピア』25(2)131-134
- 「備忘録から その十二 ワイル病病原体発見史余録」 中山宏明『ミクロスコピア』25(3)213-215
- 「備忘録から その十三 日向熱と鏡熱（上）病原リケッチャ発見の真相」 中山宏明『ミクロスコピア』25(4)319-321
- 「健康をめぐる歴史パノラマ 中世アラビアの健康観」 真壁伍郎『総合看護』43(1)33-47
- 「健康をめぐる歴史パノラマ 中世ペルシャの医師たち」 真壁伍郎『総合看護』43(2)17-35
- 「健康をめぐる歴史パノラマ 養生法への歩み（1）-（2）」 真壁伍郎『総合看護』43(3-4)17-31, 17-30
- 「歴史をたずねて Vita brevis, ars longa Hippocrates法を求めて」 三笠元彦『整形外科』59(5)539-549
- 「明治女医の基礎資料」 三崎裕子『日本医史学雑誌』54(3)281-292
- 「医学と医療の間」 村上陽一郎『精神神経学雑誌』110(9)745-750
- 「医学と医療の間（抄）」 村上陽一郎『精神神経学雑誌』2008特別, S-240
- 「弥生時代の祭とスクナヒコナの神話」 吉田敦彦『東アジアの古代文化古代学研究所』(135)
- 07 医の倫理**
- 「インフォームド・コンセント（IC）に関する問題」 石川治『皮膚科の臨床』50(8)937-942
- 「いのちの看取り 人生で大切な5つのテーマ」 井上ウィマラ『ホスピスケア』19(2)15-34
- 「【小児医療と倫理的諸問題】小児における脳死判定」 杉本健郎『小児外科』40(10)1173-1177
- 「今、医は仁術を問う（抄）」 関根透『日本歯科医史学会々誌』27(4)195
- 「緩和ケアと尊厳」 浜渦辰二『ホスピスケア』19(2)1-14
- 08 医療器械**
- 「消化器内視鏡50年の歩み（項目別）腹腔鏡の歩み わが国における腹腔鏡の歴史」 荒牧長門『Gastroenterological Endoscopy』50 (Suppl.3) 3607-3612

- 「半田屋医療器械代価表」(明治四十四年三月改正及び大正元年十月改正)について(抄) 石橋肇, 加來洋子, 渋谷敏, 谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』27(4) 214-215
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) 膣管鏡の歴史と現在」石原武, 税所宏光, 山口武人, 露口利夫, 横須賀収『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3561-3565
- 「消化管内視鏡の進歩とその近未来」梅垣英次『大阪医科大学雑誌』67(2) 123-124
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) 十二指腸鏡の発展と内視鏡的膣・胆管造影法」大井至『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3510-3515
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) 食道静脈瘤と内視鏡」小原勝敏『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3587-3593
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) STENT治療」木田光広『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3566-3572
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) 内視鏡治療と内視鏡外科」北野正剛『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3603-3606
- 【内視鏡における診断・治療法の新展開】呼吸器疾患における内視鏡の歴史 楠洋子『呼吸器科』14(6) 453-458
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) 日本消化器内視鏡学会誌にみる草創期の大腸内視鏡と大腸癌」酒井義浩『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3578-3581
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) 炎症性腸疾患の内視鏡診断の進歩」佐竹儀治『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3582-3586
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) 胃直視下細胞診」信田重光『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3457-3460
- 「電氣的除細動の歴史と課題(抄)」柴田仁太郎, 小船井良夫, 本莊春朗, 児玉逸雄, 佐久間一郎『心電図』28(5) 422
- 「三浦梅園が愛用した木製の光学顕微鏡」島田達生『ミクログスピア』25(4) 338-339
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) 色素内視鏡その開発から発展まで」鈴木茂『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3441-3445
- 「車いすの歴史」高橋義信『神戸学院総合リハビリテーション研究』4(1) 66-72
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) 大腸内視鏡の歴史」多田正大『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3495-3498
- 「分かりやすい人工臓器講座 人工肺 研究開発と臨床応用の過去・現在・未来(抄)」巽英介『人工臓器』37(2) S-60
- 「明治初頭日本における医療技術の受容過程一順天堂大学所蔵の外科器具を中心に(抄)」月澤美代子『日本医史学雑誌』54(2) 109
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) 各種光源による内視鏡の歴史と発展」永尾重昭『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3436-3440
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) 処置具の歴史と進歩」中島正継『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3573-3577
- 【今や常識 小腸内視鏡 カプセルとバルーン内視鏡の最新知識】小腸内視鏡の歴史と進歩 長屋匡信, 赤松泰次『消化器内視鏡』20(10) 1496-1503
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) 胃カメラの発展」丹羽寛文『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3416-3422
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) 直視下生検法 先人の努力とその成果」比企能樹『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3461-3465
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) レーザー内視鏡の歴史と展望」福富久之『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3538-3541
- 「Endourology: 温故知新 泌尿器科内視鏡発展の歴史(抄)」三木誠『Japanese Journal of Endourology and ESWL』21(4) 75
- 「消化器内視鏡50年の歩み(項目別) 小腸鏡の歴史から, ダブルバルーン内視鏡まで」山本博徳『Gastroenterological Endoscopy』50(Suppl. 3) 3542-3546

09 医療制度史・医療史

- 「【小児の旅行医学】Rega スイスの航空医療搬送組織 その歴史，活動，基本理念について」Seiler Oliver『日本旅行医学会学会誌』6(1)91-104
- 「途上国日本から世界への発信 住民参加の視点 戦後復興期から高度成長期における保健婦による地域住民の組織化活動（英語）（抄）（Public Health Nurses and Community Based Organization in Japan: The Japanese Experience Before Its Rapid Economic Growth and Its Relevance to Today's Developing Countries）」Sakamoto Mariko『国際保健医療』23(2)81
- 「日本における癌登録システムの歴史（A history of the cancer registration system in Japan）（英語）」Okamoto Naoyuki『International Journal of Clinical Oncology』13(2)90-96
- 「国際比較的観点からみた医療の近代化（抄訳）」R・A・スティーブンス『佐賀大学地域学歴史文化研究センター研究紀要』(2)35-36
- 「城野医療刑務所の歴史と業績」糸井孝吉，林幸司『福岡行動医学雑誌』14(1)91-96
- 「【腸管感染症】感染症法の概要」井ノ本美子，福島喜代康『アニムス』13(4)36-41
- 「歴史に学ぶ社会福祉政策・理論の展望 女性・家族政策の歩みと展望」今井小の実『社会福祉学』48(4)175-179
- 「日本における学校保健活動（School Health Activities in Japan）（英語）」Uchida Takeo『JMAJ: Japan Medical Association Journal』51(1)5-11
- 「死因調査法制—医事衛生行政と刑事手続の錯綜—」折橋洋介『阪大法学』58(3/4)903-926
- 「歴史に学ぶ社会福祉政策・理論の展望 児童福祉実践史研究の政策への影響」菊池義昭『社会福祉学』48(4)180-183
- 「【連合会病院の人材確保，人材育成 その取り組みと成果】医師の確保と維持の取り組み」葛谷信明『共済医報』57(4)323-326
- 「外科領域を中心とする大腸肛門病専門医制度と専門医教育のあり方（抄）」楠正人『日本大腸肛門病学会雑誌』61(9)574
- 「わが国における在宅医療の歴史」酒井シヅ『メディカルレビュー社在宅医学』18-21
- 「【カナダ・韓国・日本3ヶ国社会保障比較研究】カナダにおける保健医療の財政基盤 その歴史と課題」ジェームス・H・ティエッセン『海外社会保障研究』(163)18-32
- 「歴史に学ぶ社会福祉政策・理論の展望 貧困と地域福祉理論の課題 パーミンガム・セツルメントの100年史から学ぶ」柴田謙治『社会福祉学』48(4)184-188
- 「【在宅療養支援診療所】在宅医療の歴史および在宅療養支援診療所」鈴木荘一『東京内科医学会誌』23(3)218-219
- 「行政における温泉とまちづくり（抄）」高橋勇治郎『日本温泉気候物理医学会雑誌』72(1)14-15
- 「韓国の福祉事情 福祉国家形成10年」武川正吾『福祉介護機器 Techno プラス』1(6)35-38
- 「福祉政策・理論の源流を求めて 歴史研究は政策・理論研究にどう関わるか」土井洋一『社会福祉学』48(4)172-174
- 「Let's start! 災害医療 災害時の指揮命令系統の確立（その1） 歴史的経過とICSの原則」永田高志『救急医療ジャーナル』16(2)56-60
- 「【これからの管理栄養士】管理栄養士の今 管理栄養士の制度と歴史」中村次次『からだの科学』増刊これからの管理栄養士，16-18
- 「社会福祉と医療政策・100話 市民の登場」野村拓『いのちとくらし研究所報』(22)59-63
- 「社会福祉と医療政策・100話 産業革命へ」野村拓『いのちとくらし研究所報』(23)60-64
- 「社会福祉と医療政策・100話 国民国家へ」野村拓『いのちとくらし研究所報』(24)58-62
- 「生殖補助医療法をめぐる議論の歴史とその意義 「死後生殖」，「代理懐胎」，「子どもの出自を知る権利」をめぐる内外の状況」林かおり『生命倫理』18(1)126-133
- 「明治維新以後・法律第11号「らい予防に関する件」制定まで（その2） 第13回帝国議会から第18回帝国議会まで」福西征子『セミナー医療と社会』(33)56-73
- 「健康管理を協同活動の対象とする本源的意味 ここ数十年の歴史とこれからの見据えて（抄）」

- 細江詢次, 厚生連病院等経営改善対策協議会『日本健康医学会雑誌』17(3) 18-19
- 「社会保障に関するGHQ調査報告の概要と日本社会保障政策への影響 労働諮問委員会報告書を中心に」増山道康『青森県立保健大学雑誌』9(2) 131-143
- 「ドイツ知的障害親の会“Lebenshilfe”成立前史 Tom Muttersだけが創設の担い手であったのか」松本瑞穂『社会福祉学』48(4) 92-104
- 「現場で使える臨床心理の見方 臨床心理学の始まり フロイトとその時代」三木浩司『緩和ケア』18(2) 126-129
- 「分業法案成立50年にあたって」溝呂木繁子, 佐藤誠樹, 福島紀子『薬史学雑誌』43(1) 79-83
- 「明治時代に書かれた「医学校及附属病院規則」について(抄)」山口秀紀, 米長悦也, 渋谷敏, 谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』27(4) 218-219
- 「災害看護って何だろう? 災害看護の歴史」山本捷子『プチナース』17(5) 54-55
- 「介護人材育成講座 人間と社会 社会保障制度」横尾恵美子『地域ケアリング』10(14) 26-29
- 「明治初期段階における近代医療体制の構築過程—内務省衛生局と諮問機関を中心に—」吉川美佐『京都女子大学大学院文学研究科研究紀要史学編』(7)
- 「近代日本における医療の有効性とリスクの研究 医療政策の転換と日本社会の対応について(抄)」渡部幹夫, 坂本なほ子, 鈴木晃仁, 永島剛『医療看護研究』4(1) 106-107
- 「テレビドラマ「ER」に見るアメリカ社会と医療の現代史(抄)」渡部幹夫『日本医史学雑誌』54(3) 307-308
- 「Transforming Public Health?: A Critical Review of Progress Made Against Enteric Diseases during the American-led Occupation of Japan (1945-52)」Chris ALDOUS『日本医史学雑誌』54(1) 3-17
- 10 衛生・公衆衛生史・予防医学史**
- 「女性のヘルスケア 古代から21世紀まで(英語)(Women's Health Care: From Antiquity to the 21st Century)」Tyler Darlene F.『北里看護学誌』10(1) 50-56
- 「日本における1968~2005年迄の間の農薬中毒による死者 人口動態統計データから(Death from Pesticide Poisoning in Japan, 1968-2005: Data from Vital Statistics)(英語)」Ito Takeshi, Nakamura Yoshikazu『Journal of Rural Medicine』3(1) 5-9
- 「【食中毒の変遷と現状】サルモネラ食中毒」泉谷秀昌『化学療法の領域』24(7) 1009-1015
- 「【前立腺がん検診の現状と展望】わが国における検診事業の歴史と現状」伊藤一人『泌尿器外科』21(12) 1571-1578
- 「【憲法と公衆衛生】人権と公衆衛生 ハンセン病患者と人権その歴史からの教訓」大谷藤郎『公衆衛生』72(1) 28-32
- 「公衆衛生教育の黎明 ロックフェラー財団から国立公衆衛生院へ(抄)」逢見憲一『日本公衆衛生学会総会抄録集 67回』325
- 「【特定保健指導事業の評価と展望】循環器疾患の変貌からみた保健事業の歴史と今後の展望 特定健診・保健指導の導入の背景」岡山明『健康管理』(651) 8-22
- 「江戸時代の古人骨中の鉛分析による当時の鉛汚染源の研究(抄)」柿沼由佳理, 吉永淳, 近藤修, 片山一道, 藤澤珠織, 米田稷『日本衛生学雑誌』63(2) 407
- 「【健康寿命とHealthy Aging】日本人は健康をどのように考えてきたのか?」北澤一利『Geriatric Medicine』46(1) 53-57
- 「【現代の貧困と健康】わが国の貧困問題の歴史の変遷と現状」橋本俊詔『公衆衛生』72(9) 696-699
- 「【採血・静脈注射のエビデンス】関連論稿 国内でのディスプレイ注射針開発と普及の歴史」國澤尚子『臨床看護』34(1) 98-103
- 「明治期女子教育における衛生観の形成—『女学世界』を読む—」倉石あつ子, 安藤有希, 伊能千絵, 那花友里『信濃』60(1)
- 「労働衛生管理の過去・現在・未来 作業環境管理の歴史の変遷」興重治『労働衛生工学』(47) 57-63
- 「保健機能食品制度の歴史と今後の展望 機能性食

- 品の制度と科学 今後の展望」清水俊雄『Functional Food』2(3) 295-302
- 「保健機能食品制度の歴史と今後の展望 保健機能食品制度」清水俊雄『Functional Food』1(2) 187-191
- 「第2次大戦末期と終戦直後の労働衛生事情の回顧(抄)」高桑栄松『産業衛生学雑誌』50(臨増) np83-mp84
- 「労働衛生管理の過去・現在・未来 健康環境管理の歴史の変遷」高田昂『労働衛生工学』(47) 37-56
- 「【憲法と公衆衛生】人権と公衆衛生 障がい者保健福祉と人権」高野範城『公衆衛生』72(1) 33-35
- 「【コリンエステラーゼ阻害剤の中毒】殺虫剤の歴史と生産・販売の推移」高山千代蔵『中毒研究』21(2) 123-131
- 「【憲法と公衆衛生】成熟社会における公衆衛生の課題と展望 公と私の関係」多田羅浩三『公衆衛生』72(1) 8-11
- 「【憲法と公衆衛生】平和憲法と公衆衛生 憲法9条と公衆衛生」西三郎『公衆衛生』72(1) 12-14
- 「水俣にまなぶ いのちの価値(抄)」原田正純『日本ハンセン病学会雑誌』77(2) 93-94
- 「感染予防対策の基本，手指衛生を考える 手指衛生の始まりから考える(抄)」伴信義『春日井市民病院医報』22, 167-168
- 「内務省衛生局長・窪田静太郎にとっての「癩予防ニ関スル件」(抄)」平井雄一郎『日本医史学雑誌』54(2) 118
- 「東京大気汚染公害裁判の和解成立にあたって 全年齢のぜん息患者医療費助成を勝ち取る」松村康夫『保団連』(971) 37-40
- 「1918年スペインかぜ流行に学ぶ新型インフルエンザ対策」三倉剛『大分県医師会会報』(651) 21-23
- 「日本における禁煙科学の萌芽 史的考察」森岡聖次『禁煙科学』2(3) 1-4
- 「日本における禁煙科学の萌芽 史的考察(抄)」森岡聖次『禁煙科学』2(1) 88
- 「日本の医療と疫学の役割 歴史的俯瞰 発展期の疫学 公害病と原因不明疾患への対応」森岡聖次，重松逸造『日本胸部臨床』67(1) 63-81
- 「日本の医療と疫学の役割 歴史的俯瞰 拡大期の疫学 国際疫学学会と日本疫学会」森岡聖次，重松逸造『日本胸部臨床』67(2) 135-148
- 「日本の医療と疫学の役割 歴史的俯瞰 拡大期の疫学 生活習慣病とたばこ対策」森岡聖次，重松逸造『日本胸部臨床』67(3) 239-255
- 「日本の医療と疫学の役割 歴史的俯瞰 疫学のこれから 直面する課題と未来」森岡聖次，重松逸造『日本胸部臨床』67(4) 319-333
- 「食の来た道，1000年 食育，食のいく道 折り紙で考える万能食事設計(食のユニバーサルデザイン)」山下光雄『食生活』102(8) 44-49
- 「食の来た道，1000年 食育，食のいく道 人間栄養学の幕開け」山下光雄『食生活』102(4) 46-50
- 「大阪市における廃棄物分析の歴史と大阪市立衛生試験所の果たした役割」山本攻『生活衛生』52(3) 176-187
- 「【元氣をつくる保健指導】保健指導の広汎な可能性を活動の源流から探る 地域保健現場に40年かかわった歴史から」若木茂子『健康管理』(654) 6-14

11 解剖学史

- 「【台湾大学医学院収集人骨の人類学的総合研究】台湾大学医学院所蔵の先史人骨及び原住民骨に見られた風習的抜歯痕」中橋孝博『Anthropological Science (Japanese Series)』116(2) 171-175
- 「岩手県中沢浜貝塚から出土した縄紋時代晩期のヒト骸骨におけるエナメル質の重度発達不全(英語)(Severe developmental defects of enamel in a human skeleton of the Final Jomon age from the Nakazawahama shell-mound, Iwate, Japan)」Sawada Junmei, Suzuki Toshihiko, Yoneda Minoru, Sato Masahiko, Hirata Kazuaki, Dodo Yukio『Anthropological Science』116(2) 115-121
- 「子供の死の特殊例 江戸時代の屋敷跡から出土した周産期人骨(英語)(抄)(Unique Case of Infant Death: Perinatal Skeleton Unearthed at Edo Era Mansion Site)」Nara T.『Anthropological Science』

- 116 (3) 263
 「大規模 SNP 多型データから解明される人類の歴史 (英語) (抄) (Human history revealed by large-scale SNP data)」Kimura Ryosuke 『Anthropological Science』 116 (3) 252
- 「中世の骨格における環椎後頭骨癒合の稀な 1 例 (英語) (Unusual case of occipital vertebra in a medieval skeleton)」Travan Luciana, Sabbadini Gastone, Saccheri Paola, Crivellato Enrico 『Anatomical Science International』 83 (4) 286–290
- 「日本における軟部人類学と肉眼解剖学の歴史 (英語) (抄) (The historical survey of the somatological anthropology and gross anatomy in Japan)」Shimada K., Tamatu Y., Ishida H. 『Anthropological Science』 116 (3) 271
- 「乳様突起測定による性別判定 中性及び近代の日本人骨格の標準規格 (英語) (Sex determination using mastoid process measurements: standards for Japanese human skeletons of the medieval and early modern periods)」Nagaoka Tomohito, Shizushima Akio, Sawada Junmei, Tomo Soichiro, Hoshino Keigo, Sato Hanako, Hirata Kazuaki 『Anthropological Science』 116 (2) 105–113
- 「ベトナムの Ninh Binh 省 Man Bac から出土した新石器時代後期人骨の形態計測的類似性 「二層」仮説の論議のカギとなる人骨 (英語) (Morphometric affinity of the late Neolithic human remains from Man Bac, Ninh Binh Province, Vietnam: key skeletons with which to debate the ‘two layer’ hypothesis)」Matsumura Hirofumi, Oxenham Marc F., Dodo Yukio, Domett Kate, Nguyen Kim Thuy, Nguyen Lan Cuong 他 3 名 『Anthropological Science』 116 (2) 135–148
- 「ベトナム北部 Hang Cho 洞窟の末期更新世人骨 Hoabinhian 人の生物学的近縁性の意義 (英語) (Terminal Pleistocene human skeleton from Hang Cho Cave, northern Vietnam: implications for the biological affinities of Hoabinhian people)」Matsumura Hirofumi, Yoneda Minoru, Dodo Yukio, Oxenham Marc F., Nguyen Lan Cuong, Nguyen Kim Thuy, Lam My Dung 他 5 名 『Anthropological Science』 116 (3) 201–217
- 「北海道有珠 4 遺跡出土アイヌ人骨の古病理学的所見 (英語) (抄) (Paleopathological observations on Ainu skeletal remains from Usu-4 site, Hokkaido)」Kondo O., Fukumoto I., Fukumoto T., Aono T., Mitsuya T. 『Anthropological Science』 116 (3) 253
- 「江戸の腑分と小塚原の仕置場」石出猛史 『千葉医学雑誌』 84 (1) 7–13
- 「江戸幕府による腑分の禁制」石出猛史 『千葉医学雑誌』 84 (5) 221–224
- 「岩国市芦山家に伝わる婦人臓図について (抄)」片岡勝子 『日本医史学雑誌』 54 (2) 131
- 「解剖学の歴史と用語をめぐる 解剖学用語委員会の歩み (抄)」木村邦彦 『解剖学雑誌』 83 (Suppl.) 89
- 「解剖学の歴史と用語をめぐる ポンペの解剖学教育 (抄)」小路武彦, 相川忠臣 『解剖学雑誌』 83 (Suppl.) 86
- 「日本における顔面神経医学の研究の歴史と将来」小林武夫 『Facial Nerve Research』 27, 1–8
- 「日本における顔面神経研究の歴史と将来」小松崎篤, 小林武夫, 齋藤春雄, 富田寛, 柳原尚明 『Facial Nerve Research』 27, 15–21
- 「解剖学の歴史と用語をめぐる 明治期におけるドイツ医学受容の過程 (抄)」坂井建雄 『解剖学雑誌』 83 (Suppl.) 87
- 「仙台の医学校において 1900 年と 1901 年に講義された解剖学史」坂井建雄 『日本医史学雑誌』 54 (4) 393–398
- 「魯迅が受けた藤野厳九郎による解剖学史の講義について (抄)」坂井建雄 『日本医史学雑誌』 54 (2) 147
- 「魯迅が仙台で受けた解剖学史の講義について」坂井建雄 『日本医史学雑誌』 54 (4) 359–372
- 「【台湾大学医学院収集人骨の人類学的総合研究】国立台湾大学所蔵のブヌン族人骨のミトコンドリア DNA 分析」篠田謙一 『Anthropological Science (Japanese Series)』 116 (2) 154–160
- 「明治初期出版の小学生用に使用された人体構造に関する教科書について (抄)」島田和幸 『日本医史学雑誌』 54 (2) 116

- 「江戸時代の遺跡から出土した脳試料についての mtDNA の分析」相馬玲子，奈良明奈，酒井亜美，針原伸二，岩楯公晴，青柳美輪子『DNA 多型』16, 266-269
- 「神経の歴史散策 その13 電気魚から動物電気へ ルイジ・ガルヴァーニとアレッサンドロ・ヴォルタ」高垣玄吉郎『ミクロスコピア』25 (1) 51-56
- 「神経の歴史散策 その14 19世紀の神経生理学 ヨハネス・ミュラーとエミール・デュ・ボアレーモン」高垣玄吉郎『ミクロスコピア』25 (2) 135-140
- 「神経の歴史散策 その15 トーマス・ヤングと色覚の生理学 ヤングヘルムホルツ説前史」高垣玄吉郎『ミクロスコピア』25 (3) 225-230
- 「神経の歴史散策 その16 三原色説の成立 ヘルマン・ヘルムホルツとジェームズ・クラーク・マクスウェル」高垣玄吉郎『ミクロスコピア』25 (4) 329-334
- 「北辺の横穴墓古代人 宮城県矢本横穴墓群出土人骨の形質」瀧川渉，佐藤敏幸『Anthropological Science (Japanese Series)』116 (1) 35-51
- 「医学史から学んだこと 胆道を瞥見しつつ」土屋涼一『胆道』22 (2) 229-235
- 「神経細胞の形を求めて」萬年甫『精神医学史研究』12 (1) 16-30
- 12 眼科史**
- 「幕末の頃，利根川流域に広凡に販売されていた秘伝のめぐすり「家傳開明散」，「家傳青眼膏」(抄)」青木道夫『日本医史学雑誌』54 (2) 129
- 「小口病 (1)」小口芳久『眼科』50 (1) 1-2
- 「Vogt-小柳-原田病とスギウラ・サイン」北市伸義，大野重昭『日本の眼科』79 (9) 1229-1233
- 「弱視学級の歴史と今後の役割」小林秀之『特殊教育研究』46 (2) 125-130
- 「高安病 発見から100年経過して」杉山和久，田川茂樹，井尻茂之『日本の眼科』79 (9) 1241-1245
- 「眼科秘伝書から見えてくるもの (二)」園田真也，奥沢康正『医譚』(104) 5317-5361
- 「落屑症候群と落屑緑内障 その歴史から診断・治療まで」布田龍佑『日本医事新報』(4369) 49-52
- 「小口病の100年」三宅養三『日本の眼科』79 (9) 1235-1239
- 「【眼底イメージング】眼底イメージングプロジェクト 眼底イメージングの歴史と将来展望」吉村長久『医学のあゆみ』224 (8) 575-579
- 13 看護史**
- 「世界各国の腎臓病看護 現在の到達点と将来の展望，そこへ至る道筋」Biddle Geraldine『日本腎不全看護学会誌』10 (1) 24-31
- 「【「福祉用具の日」創設七年目を迎えて】『福祉用具の日』各ブロック活動のあり方について」阿部京三『地域ケアリング』10 (12) 11
- 「【「福祉用具の日」創設七年目を迎えて】福祉用具の更なる活用を期待する」池田茂『地域ケアリング』10 (12) 13
- 「【産科医・助産師・看護師の連携】産科医療従事者からみた周産期医療の変遷 産科医からみた助産師・看護師の歴史」石原力『周産期医学』38 (3) 261-265
- 「【「福祉用具の日」創設七年目を迎えて】九州・沖縄支部活動報告 普及啓発と資質向上を目指して」岩元文雄『地域ケアリング』10 (12) 22-23
- 「内容分析とは何か 内容分析の歴史と方法について」上野栄一『福井大学医学部研究雑誌』9 (1-2) 1-18
- 「【「福祉用具の日」創設七年目を迎えて】福祉用具の真の普及に寄与するために」植松浩伸『地域ケアリング』10 (12) 21
- 「地域の歴史と文化と地域看護 地域の歴史と文化に根ざした地域看護活動の可能性」宇座美代子『日本地域看護学会誌』11 (1) 7-11
- 「日本最初のナースステーションについて」白井敏明，北村妙子，濱野香苗『保健学研究』21 (1) 17-22
- 「大正・昭和期の雑誌における看護の記述 雑誌『婦人之友』の紙上講習「家庭看護法」を題材に」荏原順子『新潟青陵大学紀要』(8) 175-184
- 「厚生省看護課設置にみる第二次世界大戦後の看

- 護改革の評価(抄)」大石杉乃『日本医史学雑誌』54(2)124
- 「看護マネジメント・ひょうご 看護管理者が知っておかなければならない看護の歴史 看護が政治に参加する力をつけるために私たち管理者にできること」大島敏子『看護部マネジメント』13(268)22-30
- 「【「福祉用具の日」創設七年目を迎えて】より良い知識とサービスで福祉用具をもっと身近に」大畑俊之『地域ケアリング』10(12)16-17
- 「助産師教育におけるカリキュラムの歴史から学ぶ(抄)」大室律子『母性衛生』49(3)257
- 「看護職のための医療経営学講座 医療経営学入門 近年の医療制度改革の動向」尾形裕也『看護』60(6)85-89
- 「烏山診療所の訪問介護の歴史(抄)」岡安千鶴, 青山美代子, 酒井里実, 大沼瞳, 廣岡恵子他『いばらき医療福祉研究会記録集』(20回)62
- 「戦後から本土復帰までの沖縄におけるリハビリテーション看護の歴史」落合美美子『Nurse eye』21(2)70-81
- 「リハビリテーション看護の歴史とこれからの課題(抄)」落合美美子『リハビリナース』1(1)108
- 「“Life and light for Woman” に掲載された京都看護婦学校/同志社病院の活動経緯(その3)」小野尚香『医譚』(105)5576-5588
- 「[史料]「京都看護婦会」附属「私立京都看護婦学校」」小野尚香『医譚』(104)5421-5433
- 「“Life and Light for Woman” に掲載された京都看護婦学校/同志社病院の活動経緯(その2)(抄)」小野尚香『医譚』(104)5451-5452
- 「“Life and Light for Woman” に掲載された京都看護婦学校/同志社病院の活動経緯(その3)」小野尚香『医譚』(105)5576-5588
- 「“Life and Light for Woman” に掲載された京都看護婦学校/同志社病院の活動経緯(その2)」小野尚香『医譚』(104)5412-5420
- 「明治期における近代看護の癒しの心を考える 京都看護婦学校と京華看護婦学校」小野尚香『日本看護歴史学会誌』(21)20-29
- 「看護倫理のタペストリー 看護倫理探究の可能性を拓く 看護管理と倫理 これまでの動向と今後の課題」勝原裕美子『日本看護倫理学会誌』1(1)7-11
- 「【還暦を迎えた保健師助産師看護師法】保健師助産師看護師法と助産師の活動・今後の展望 60年を振り返り, 今後の助産師に対する期待, 法的措置の必要性」加藤尚美『保健の科学』50(5)311-317
- 「【看護のキホン ナイチンゲールからはじめよう!】」金井一薫『プチナース』17(4)39-46
- 「看護業務の見直しと看護の原点」川嶋みどり『医療労働』(508)2-8
- 「【看護のクロニクル 未来創造の道標】看護クロニクル 未来創造の道標」川嶋みどり, 田中幸子, 大石杉乃『看護』60(10)68-77
- 「看護基礎教育における「音楽」の変遷(抄)」河津芳子『日本看護学教育学会誌』18(学術集会講演集)269
- 「【「福祉用具の日」創設七年目を迎えて】福祉用具の普及に向けて」北澤琢郎『地域ケアリング』10(12)8-9
- 「【「福祉用具の日」創設七年目を迎えて】福祉用具の日に向けて」北村透『地域ケアリング』10(12)12
- 「発達障害をもつ人への看護の実態に関する文献的考察」木戸久美子, 林隆『山口県立大学学術情報』(1)23-27
- 「青森県の看護教育史研究 津軽地方における女学校附属看護婦養成所について」木村紀美, 大串靖子, 早坂佳子『弘前学院大学看護紀要』3, 29-39
- 「1960年代から2006年における精神保健福祉の動向と精神科看護記録の変遷」清末郁恵, 武政奈保子『石川看護雑誌』5, 99-108
- 「明治期の精神看護学書にみるアルコール看護」日下修一『アクション看護』5(1)2-8
- 「19世紀英国の女性たちによる慈善活動と看護の接点—F. ナイチンゲール著「看護覚書」出版の頃—」上坂良子, 辻幸代, 水田真由美『医学史研究』(90)12-26
- 「明治期における速成看護婦養成の状況—伝染病

- 予防法公布の前後一（抄）上坂良子，水田真由美『日本医史学雑誌』54(2)122
- 「日中看護交流の10年をかえりみて」五島瑳智子『日中医学』23(1)25
- 「助産婦が果たした役割と女たちとのかかわり 昭和20年代に活躍した助産婦の語りから」小林美代子『新潟青陵大学紀要』(8)21-30
- 「中世から近代の終末期の看護」小稗文子『秋田大学医学部保健学科紀要』16(2)107-115
- 「【看護職の賃金制度を考える】看護職賃金制度の歴史と今後の課題」酒井美絵子『Nursing BUSINESS』2(5)416-419
- 「フィリピン国人民の歴史における看護教育の位置づけ」佐々木秀美『看護学統合研究』9(2)1-18
- 「ソーシャルワークにおける死別ケアの検討 死別研究の歴史的展開と看取りの事例を通して」佐藤繭美『杏林大学研究報告（教養部門）』25, 45-53
- 「【「福祉用具の日」創設七年目を迎えて】福祉用具の日よせて管見展望」柴橋和弘『地域ケアリング』10(12)14-15
- 「【連合会病院の人材確保，人材育成 その取り組みと成果】看護師確保の変遷と現在の取り組み」島里慶子『共済医報』57(4)327-330
- 「“私たちの法律”は，こうしてつくられた 清水嘉与子の政策活動から 保健師助産師看護師法の改正」清水嘉与子『看護』60(15)89-93
- 「【還暦を迎えた保健師助産師看護師法】保健師助産師看護師法60年を振り返る」清水嘉与子『保健の科学』50(5)292-296
- 「トラウベ文献・写真による日米欧の歴史と助産師と妊産婦の心の絆（抄）」下津郁代，内藤直子『母性衛生』49(3)270
- 「【「福祉用具の日」創設七年目を迎えて】日本福祉用具供給協会と事業経営」末島賢治『地域ケアリング』10(12)20
- 「看護の歴史研究の壁」滝内隆子『日本看護歴史学会誌』(21)40-42
- 「新たな視点で学ぼう！ 分娩直後のカンガルーケア Birth Kangaroo Care: BKC 総論 なぜいま，カンガルーケア（BKC）が必要なのか？」竹内正人，山本正子『ペリネイタルケア』27(4)386-390
- 「京都の元開業助産婦のライフストーリーを通して見た20世紀の日本の助産職の盛衰」千葉陽子『健康科学：京都大学医学部保健学科紀要』(4)1-6
- 「アドバンスドセミナーのための看護学 基礎看護学概論 看護とは」辻川真弓『日本放射線技師会雑誌』55(2)155-158
- 「日本赤十字社の看護師等養成施設・病院における看護歴史資料の所蔵・保存・利用状況調査」殿村友紀，川原由佳里，山崎裕二，川嶋みどり『日本赤十字看護学会誌』8(1)28-34
- 「近代日本における仏教と医療・看護・福祉のかかわり」中西直樹『日本看護歴史学会誌』(21)8-19
- 「宗教の理念と看護のこころ」中西直樹，小野尚香，坂本玄子，芳賀佐和子『日本看護歴史学会誌』(21)30-39
- 「島根県の助産師教育の始まりとその変遷」灘久代，狩野鈴子『日本助産学会誌』22(2)249-259
- 「【世界の国々における保健師（PHN）の教育】日本における「保健師」誕生のプロセスと意義」名原壽子『保健の科学』50(3)170-182
- 「米国の産業看護活動と日本の産業保健・看護の過去～現在～未来 産業看護の役割の拡大および教育・研究の発展」錦戸典子，佐々木美奈子『労働の科学』63(1)50-55
- 「排泄ケアの過去・現在・未来」西村かおる『北海道医療大学看護福祉学部学会誌』4(1)7-14
- 「近代日本における禁酒運動のパラダイム」二宮一枝『岡山県立大学保健福祉学部紀要』14, 53-61
- 「小原フミ氏が戦前・戦後に歩んだ軌跡 助産師学生が出会った地域に密着した産婆の姿」濱崎麻美，吉留厚子『助産師』62(3)50-53
- 「明治初期における医療の一分野としての看護—医師太田雄寧訳纂『看護心得』の原著解明と比較検討—」樋野恵子『日本医史学雑誌』54(4)373-386
- 「明治28年に翻訳出版されたビルロートの看護書について（抄）」平尾真智子『日本医史学雑誌』

- 54(1)76-77
- 「【産科医・助産師・看護師の連携】産科医療従事者からみた周産期医療の変遷 分娩に関する助産師制度の歴史的背景」前原澄子『周産期医学』38(3)275-278
- 「在宅看護における“家族の歴史”を踏まえた援助(第1報) 援助に関与した“家族の歴史”の内容と把握方法(抄)」丸谷美紀『家族看護学研究』14(2)63
- 「在宅看護における“家族の歴史”を踏まえた援助(第2報) “家族の歴史”を踏まえた援助方針と援助行為(抄)」丸谷美紀『家族看護学研究』14(2)64
- 「【産科医・助産師・看護師の連携】産科医療従事者からみた周産期医療の変遷 周産期指標はどのようにして向上したか?」箕浦茂樹『周産期医学』38(3)279-283
- 「【「福祉用具の日」創設七年目を迎えて】福祉用具供給事業者としての今後の取り組みについて」宮本治樹『地域ケアリング』10(12)18-19
- 「【「福祉用具の日」創設七年目を迎えて】一進一退の普及啓発」毛利智之『地域ケアリング』10(12)10
- 「近江婦人慈善会蒲生支会の看病婦養成(二)」八木聖弥『啓迪』(26)27-60
- 「日本における近代産婆の職業倫理についての一考察 明治期の産婆テキストの比較を通して」柳原真知子, 大石時子, 林佳子『天使大学紀要』8, 73-83
- 「看護技術の歴史的変遷からみる看護書の課題 体位の保持・変換に焦点をあてて(抄)」山口みのり『日本看護学教育学会誌』18(学術集会講演集)219
- 「看護書にみる体位の保持・変換に関する看護技術の歴史的変遷(抄)」山口みのり『日本看護技術学会学術集会講演抄録集7回』87
- 「糖尿病患者教育の変遷とその課題」山口曜子『奈良県立医科大学医学部看護学科紀要』4, 1-8
- 「【急増! 看護職副院長 その役割と展望】日本における看護職副院長の歴史と課題」山寄絆『看護』60(3)40-45
- 「【「福祉用具の日」創設七年目を迎えて】福祉用具の自然な利用を目指して」山下一平『地域ケアリング』10(12)7
- 「日本手術室看護の歴史からみ見た専門性の課題」山田豊子『京都市立看護短期大学紀要』(33)29-37
- 「看護史を学ぶにあたって 日本中世史の立場から」米澤洋子『日本看護歴史学会誌』(21)42-45
- 「看護と介護の異同 看護と介護の異同 介護福祉士の専門性」渡辺裕美『保健医療社会学論集』18(2)18-23

14 寄生虫学史

- 「【アジアの住血吸虫病とその他の人畜共通蠕虫症】メコン川の住血吸虫分布の過去及び未来 中間宿主の遺伝的変異分析による予備的兆候(英語)【Asian Schistosomiasis and Other Zoonotic Helminthiases】The distribution of Mekong schistosomiasis, past and future: Preliminary indications from an analysis of genetic variation in the intermediate host)」Attwood Stephen W., Fatih Farrah A., Campbell Ian, Upatham E. Suchart『Parasitology International』57(3)256-270
- 「日本寄生虫予防会の活動 生誕から海外協力まで」国井渉『予防医学ジャーナル』(434-436)28-31, 26-29, 24-27
- 「日本における寄生虫防圧とその特質」多田功『Tropical Medicine and Health』36(Suppl. 3)49-67

15 教室・大学史

- 「旅順医学専門学校」泉孝英『滋賀文化短期大学研究紀要』(17)97-106
- 「日本における文化精神医学ならびに医療人類学のさきがけとしての田村幸雄による満州医科大学精神神経科教室における業績について」大月康義『精神医学史研究』12(2)100-105
- 「日本における文化精神医学ならびに医療人類学のさきがけとしての田村幸雄による満州医科大学精神神経科教室における業績について(抄)」大月康義『精神医学史研究』12(1)68-69
- 「満州国立哈爾濱医科大学史攷」岡田靖雄『医学

史研究』(89) 502-515

「昭和20年・終戦時の医学校（補遺）」の再訂正
神谷昭典『医学史研究』(90) 30-31

「明治中期東京大学医学部卒業生動静一覧（二）」
小関恒雄『医譚』(104) 5362-5380

「わが大学史の一場面—日本の近代化と大学の歴史—
仁と不断前進をモットーに百七十年」酒井シヅ
『大学時報』(319) 114-119

「日本における心身医学の歩み—東邦大学心療内科の歩みと関東地方会の活動」筒井末春『心身医学』48(2) 111-120

16 軍陣医学史

「陸軍軍医学校防疫研究報告」Ⅱ部—(その二)—
—研究に加担した医学者（囑託）たち（抄）」
勘昭三『日本医史学雑誌』54(2) 120

「兵士が学んでいた包帯法に関する知識と技術—
明治7年発行『三角繃帯用法』より—（抄）」鈴木
木紀子『日本医史学雑誌』54(2) 108

「明治時代の陸軍制度史に見る薬剤官」堀口紀博
『薬史学雑誌』43(1) 67-78

「八甲田雪中行軍遭難事件の医学的研究—「歩兵
第五聯隊雪中遭難ニ関スル衛生調査報告」に見
られる凍死者と生存者—」松木明知『日本医史
学雑誌』54(3) 215-230

18 外科史

「変わりゆく社会と発達していく外科手術（Chang-
ing Society, Evolving Surgery）（英語）」Monden
Morito『Surgery Today』38(3) 195-205

「韓国における腹腔鏡下大腸手術の歴史と未来
（英語）（抄）（The History and Future of Laparoscopic
Colorectal Surgery in Korea）」Kim Jun-Gi
『日本消化器外科学会雑誌』41(7) 964

「頸部廓清：歴史的概念と現代の概念（英語）（抄）
（Neck Dissection: Historical and Current Concepts）」
Ferlito Alfio『頭頸部癌』34(2) 105-106

「日本における胸部手術の誕生（英語）（Birth of
thoracic surgery in Japan）」Masaoka Akira『General
Thoracic and Cardiovascular Surgery』56(1) 3-9

「乳癌におけるセンチネルリンパ節廓清の歴史と現

状：臨床研究に関する試験（英語）（抄）（History
and Current Status of Sentinel Lymph Node Dis-
section in Breast Cancer: A Personal Perspective in
Clinical Research）」Giuliano Armando E.『日本乳
癌学会総会プログラム抄録集16回』162-163

「【センチネルノードナビゲーション手術（SNNS）
の進歩と展望】SNNSの歴史と進歩」愛甲孝，
上之園芳一，夏越祥次『外科』70(4) 362-369

「【内視鏡外科手術の現況と今後の展望】内視鏡外
科手術の現況と今後の展望」跡見裕，北野正剛，
北川雄光，白日高歩『日本医師会雑誌』137(9)
1809-1822

「外科学温故知新—副腎外科」今井常夫『臨床外
科』63(3) 395-402

「外科学温故知新—心臓外科（一般）体外循環事
始め—多くの先達，John Gibbon, John Kirklinそ
してWalton Lillehei」大北裕『臨床外科』63(1)
81-89

「日本の外傷外科の夜明け—外傷医学と救急医学
体系化の歴史にみられる関係」太田宗夫『日本
外傷学会雑誌』22(3) 338-345

「【脂肪注入による豊胸術】豊胸術の歴史の変遷と
脂肪注入法」大森喜太郎『日本美容外科学会会
報』30(3) 122-129

「【外科と漢方】古典にみる外科処方」小田口浩
『漢方と最新治療』17(2) 105-112

「【胸部外傷】胸部外傷の歴史と現況」菊池功次，
青木耕平，福田祐樹，儀賀理暁，山畑健，江口
圭介，中山光男『日本胸部臨床』67(2) 95-98

「【内視鏡外科手術の現況と今後の展望】内視鏡
外科手術の歴史」北島政樹『日本医師会雑誌』
137(9) 1823-1828

「脳死臓器移植の10年」小柳仁『呼吸と循環』
56(11) 1145-1152

「【くも膜下出血—脳動脈瘤治療の最前線】脳動脈
瘤の外科的治療法—脳動脈瘤手術の歴史」齋藤
勇『Clinical Neuroscience』26(12) 1348-1351

「【くも膜下出血—脳動脈瘤治療の最前線】脳動脈
瘤の脳血管内外科的治療法—脳血管内手術の歴
史」阪井田博司，滝和郎『Clinical Neuroscience』
26(12) 1387-1390

「外科学温故知新 血管外科 腹部大動脈瘤治療の歴史」篠栗志朗, 西森秀明, 福富敬, 割石精一郎, 山本正樹『臨床外科』63(1)75-80

「【吻合法 70年の変遷から学ぶこと】血管手術 腹部大動脈吻合法」笹嶋唯博『外科』70(1)91-95

「外科学温故知新」によせて 鼠径ヘルニアにまつわる冠名にその名を残す外科医 Scarpa, Cooper と Bassini」佐藤裕『臨床外科』63(1)91-94

「外科学温故知新」によせて 大腸外科によせて 直腸癌診療の巨星 Miles と Dukes」佐藤裕『臨床外科』63(6)831-834

「外科学温故知新」によせて 乳腺外科」佐藤裕『臨床外科』63(7)967-971

「外科学温故知新 呼吸器外科」佐藤裕『臨床外科』63(6)825-827

「【吻合法 70年の変遷から学ぶこと】胃手術 胃全摘術」白石憲男, 衛藤剛, 安田一弘, 猪俣雅史, 北野正剛『外科』70(1)19-23

「外科感染症研究のあゆみ」炭山嘉伸『東邦医学会雑誌』55(3)162-167

「【癌治療クリニカルパス Update】乳癌手術 クリニカルパス開発の現状」青儀健二郎, 河村進, 清家三紀子, 高嶋成光『外科治療』99(1)48-56

「【安全で効果的な包帯法の知識】包帯の歴史 古代から現代までの歴史の変遷」関谷由香里『臨床看護』34(7)954-958

「消化器外科における手術手技の変遷 結腸切除」高橋俊雄『外科治療』98(1)58-64

「手の外科へのマイクロサージャリーの導入と発展」玉井進『日本手の外科学会雑誌』24(4)466-469

「消化器外科における手術手技の変遷 胆管癌手術」土屋涼一『外科治療』98(4)389-397

「日本初の生体部分肝移植は、なぜ、どのように行われたのか 国内および国外からの反応(抄)」永末直文『日本外科学会雑誌』109(臨増2)40

「炎症性腸疾患に対する外科治療の歩みと展望(抄)」福島恒男『日本大腸肛門病学会雑誌』61(9)587

「臨床最前線 肛門科診療最前線(肛門科診療の

過去・現在・未来)」松島誠『Frontiers in Gastroenterology』13(4)334-339

「【外科病理マニュアル】総論 外科病理学の過去, 現在, そして未来」深山正久『病理と臨床』26(臨増)2-10

「消化器外科に於ける手術手技の変遷 幽門側胃切除術(再建法も含めて)」武藤輝一『外科治療』98(2)197-212

「消化器外科における手術手技の変遷 直腸切除」安富正幸, 上田和毅, 肥田仁一, 奥野清隆『外科治療』98(3)298-306

19 細菌学史

「細菌発見史 その一 炭疽菌の発見」天児和暢『ミクروسコピア』25(2)127-130

「細菌発見史 その二 結核菌」天児和暢『ミクロスコピア』25(3)209-212

「細菌発見史 その三 化膿性球菌」天児和暢『ミクロスコピア』25(4)315-318

「猫免疫不全ウイルス感染症(抄)」石田卓夫『日本医史学雑誌』54(1)77-78

「【抗菌薬の使用と耐性菌への対応】抗菌薬と耐性菌の歴史」嵯峨知生, 山口恵三『日本医師会雑誌』137(3)513-517

「ペプチドグリカン研究のルネサンス, 特に自然免疫を廻って ペプチドグリカンの免疫生物活性研究の歴史(抄)」高田春比古『日本細菌学雑誌』63(1)45

「ウイルス発見小史 C型肝炎ウイルス」宮村達男『Virus Report』5(2)74-79

「わが国における医真菌学のあゆみ 内科学領域を中心として」森 健『日本医真菌学会雑誌』49(1)5-25

20 産婦人科史

「我が国における世代出生数の動向」池田一夫, 灘岡陽子, 神谷信行『東京都健康安全研究センター研究年報』(58)331-335

「助産婦の歴史 近代の助産婦(その263)-(その266)」石原力『ペリネイタルケア』27(1-4)106-108, 206-208, 312-313, 425-427

- 「助産婦の歴史 現代の助産婦（その1）-（その8）」
石原力『ペリネイタルケア』27（5-12）532-533,
634-635, 732-733, 833-835, 939-941, 1048-1049,
1124-1126, 1221-1223
- 「産科とマグネシウム 硫酸マグネシウム産科領
域への導入の歴史」井上勲，佐藤和雄『産婦人
科治療』97（1）90-95
- 「【産婦人科領域における細胞・組織の凍結保存】
細胞凍結の歴史と将来」隅田幸男『産婦人科の
実際』57（10）1491-1498
- 「わが国における人工生殖と子の福祉に関する歴史
的考察「人工授精子」誕生の時代（1949~1978
年）に着目して」宮嶋淳『社会福祉学』49（1）
75-86
- ## 21 歯学史
- 「Kolliker エナメルに対する概念（英語）（Koelliker's
concept of enamel）」Nishimaki Akihiko, Yashiro
Masayuki『The Japanese Dental Science Review』
44（2）133-136
- 「近代日本の侍と庶民の子供の乳歯の病理学（英
語）（Pathology of deciduous teeth in the samurai
and commoner children of early modern Japan）」
Oyamada Joichi, Igawa Kazunari, Kitagawa
Yoshikazu, Manabe Yoshitaka, Kato Katsutomo 他
『Anthropological Science』116（1）9-15
- 「腺性歯原性嚢胞の歴史と用語（英語）（A note on
the history and terminology of glandular odontogenic
cyst）」Ide Fumio『Oral Medicine & Pathology』
12（3）101-102
- 「中国少数民族，ミャオ族と他の少数民族及びア
ジア人集団の歯科人類学的研究（英語）（Dental
Anthropological Study of Chinese Ethnic Minority,
Miao, with Reference to Other Minorities and Asian
Populations）」Yamashita Mariko, Peiris Roshan,
Matsuno Masanobu『International Journal of Oral-
Medical Sciences』7（2）55-66
- 「東海沿岸地域の二つの縄文時代後~末期社会に
おける安定同位体比率の違いと性及び儀式的抜
歯との関連性（英語）（Variability in stable isotope
ratios in two Late-Final Jomon communities in the
Tokai coastal region and its relationship with sex and
ritual tooth ablation）」Kusaka Soichiro, Ikarashi
Takeyuki, Hyodo Fujio, Yumoto Takakazu, Katayama
Kazumichi『Anthropological Science』116（2）171-
181
- 「Edward H. Angle と彼の同時代人による歯科矯正
学の教科書の用語法の分析（抄）」新井一仁，
ベック・シェルドン，中原リザ子『日本矯正歯
科学会大会プログラム・抄録集 67回』188
- 「歯科医師とはなにか 歯科医師のための歯科医
師の歴史 Baltimore College of Dental Surgery の
誕生」飯塚哲夫『近代口腔科学研究会雑誌』
34（1）2-11
- 「歯科医師とはなにか 歯科医師のための歯科医
師の歴史 医師と歯科医師の分離」飯塚哲夫『近
代口腔科学研究会雑誌』34（2）122-130
- 「歯科医師とはなにか 歯科医師のための歯科医
師の歴史 日本の医師の歴史」飯塚哲夫『近代
口腔科学研究会雑誌』34（3）242-249
- 「【パーシャルデンチャーの展望】過去への視点
パーシャルデンチャーの歴史の変遷」五十嵐順
正『東京都歯科医師会雑誌』56（10）533-541
- 「弾性線維とマイクロフィブリル 先人の軌跡を
顧み，新たな展開に臨む」磯川桂太郎，山崎洋
介，瀬嶋仁美『日大歯学』82（2）79-89
- 「歯科治療内容の変遷 江戸期・明治期の引札か
ら考える（抄）」大野肅英，羽坂勇司，齋藤眞且，
武内博朗，鈴木彰，守屋義雄『日本歯科医師会
雑誌』61（5）553
- 「【臨床家のための歯周治療の「いま」】歯周治療
を成功させるための正しいスクレーパー選択 グ
レーシーキュレットの歴史と進化から学ぶ」風
見健一『歯界展望』111（5）875-884
- 「キュレットに関する臨床総説 グレーシーキュ
レットの歴史と進化から正しい選択方法を学ぶ」
風見健一『日本歯科先端技術研究所学術会誌』
14（1）22-28
- 「東京歯科医学専門学校新校舎落成（抄）」柏瀬昌
世，水川秀海『日本歯科医史学会々誌』27（4）
204-205
- 「歯の銀行 歯科治療の歴史から考察する」河田

- 俊嗣, 加来真人, 本川雅英, 上田宏, 丹根一夫『広島大学歯学雑誌』40(2)91-105
- 「日本大学歯学部同窓会誌」創刊号(昭和31年3月31日)の発行—歯科月報との関係について—(抄) 工藤逸郎, 三宅正彦, 見崎徹, 小室歳信, 金山利吉, 若松佳子, 佐藤孜, 納村晉吉, 篠田宏司, 太田肇, 下山哲夫, 会田卓久『日本歯科医史学会誌』27(4)202
- 「カルテが語り掛けてくる高齢者の生理と病理—元氣な93歳—多くの病とともに歩んできた歴史」黒澤俊夫『アポロニア』(21180)26-29
- 「珪瑯質かエナメル質か(抄)」後藤仁敏『鶴見歯学』34(2)108
- 「口腔ケアの歴史」阪口英夫『日本口腔ケア学会雑誌』2(1)5-14
- 「平日閑話」にみられる口中から芳香を出し続けた男の記述について」佐藤恭道, 戸出一郎, 雨宮義弘『日本歯科医史学会誌』27(3)143-145
- 「耳囊」にみられる歯痛の治療法について」佐藤恭道, 戸出一郎, 雨宮義弘『日本歯科医史学会誌』27(3)139-142
- 「Occlusion & Functionへの誘い—顎機能スペシャリストのための入門編—咬合学の歴史, 第3期隆盛期の幕開け」重村宏『ZERO』7, 14-29
- 「Occlusion & Functionへの誘い—顎機能スペシャリストのための入門編—咬合学の歴史黎明期から軸学説まで」重村宏『ZERO』6(2)12-29
- 「喜多見行正著「歯科医業と法律—全—(大正8年刊)について(抄)」渋谷敏, 卯田昭夫, 落合俊輔, 谷津三雄『日本歯科医史学会誌』27(4)206-207
- 「ウイプラについて(抄)」下総高次『日本歯科医史学会誌』27(4)216-217
- 「八王子歯科大学計画(抄)」新藤恵久『日本歯科医史学会誌』27(4)198
- 「歯周病の父「ジョン M. リッグズ」の最初の論文(1876年)と「歯周病治療のガイドライン」(2007年)の考察(抄)」杉本是孝, 宮里雅男, 中山孝子『みちのく歯学会雑誌』39(1-2)33-34
- 「江戸時代における煙草の禁令(抄)」関根透, 島田道子, 阿部道生, 木村利夫, 堀江彰久他『鶴見歯学』34(1)50
- 「医歯二元論はどこへ往く(抄)」瀬戸院一『日本歯科医史学会誌』27(4)193-194
- 「【今立ちどまる—未来のために—21世紀をOPEする】戦後60年の歯科医療の変遷から学ぶこれからの課題」染谷成一郎『国際歯科学士会日本部会雑誌』39(1)35-39
- 「「デンティストリー・イン・ジャパン」掲載の歯科医療管理学関連論文の検討(抄)」滝内春雄『日本歯科医師会雑誌』61(5)524
- 「田中収先生により開発されたT-4咬合器—世界最初の本格的な全調節性咬合器—(抄)」永田和弘『日本歯科医史学会誌』27(4)213
- 「一茶の発句に関する歯科的研究(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会誌』27(4)226
- 「小林一茶の歯に関する発句の研究」西巻明彦『日本歯科医史学会誌』27(4)232-236
- 「『方伎雑誌』にみる歯科的事項(抄)」西巻明彦, 屋代正幸『日本歯科医史学会誌』27(4)222-223
- 「エナメル線維の概念(抄)」西巻明彦, 屋代正幸『日本歯科医史学会誌』27(4)220
- 「歯科用器械の歴史と変遷(抄)」橋本弘一, 末瀬一彦, 斉藤毅, 東海林芳郎, 山中通三, 内山洋一他『日本歯科医師会雑誌』61(5)549
- 「今と昔のインプラント」畑好昭『明倫歯科保健技工学雑誌』11(1)3-8
- 「占領期日本における歯科医学教育の改革(第1報: GHQ/SCAP文書と先行研究について)(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会誌』27(4)199-200
- 「Joseph Richardsonとその著書“Practical Treatise on Mechanical Dentistry”について—Part II(抄)」平田幹男『日本歯科医史学会誌』27(4)212
- 「最新の画像診断—どこまでわかる?—顎変形症, 顔面非対称例へのアプローチ—顎変形症治療における画像診断の歴史と展望(抄)」槇宏太郎『日本顎変形症学会雑誌』18(2)76-77
- 「歯科衛生士のためのインプラントロジー—インプラント治療の歴史的背景と基本的考え方」松永興昌『DHstyle』2(1)36-39

- 「歴史を楽しむ 近代医療を支えるものは何か 無痛手術と外科感染症」森昌彦『歯科医療』22(3) 96-106
- 「開業隠退後の歯科医の経済設計の研究(抄)」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』27(4) 201
- 「日本歯科医学会史(第3報)一大正期における総会について」山口秀紀，渋谷敏，谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』27(3) 146-151
- 「インプラント50年の変遷(抄)」和田弘毅『日本歯科産業学会誌』22(2) 103
- 「歯科臨床次の一手 誰でもわかる咬合学入門 長期症例から学ぶ知識とテクニック 咬合論と下顎運動研究の歴史」古谷野潔，市来利香『DENTAL DIAMOND』33(8) 42-49
- 22 史跡・記念碑**
- 「千住の鷗外碑」の建立」足立史談編集部『足立史談』(484)
- 「山脇社中解剖史跡めぐり」上野陽里『医学史研究』(90) 32-35
- 「江島杉山神社の御神像について(抄)」大浦宏勝，市川友理『日本医史学雑誌』54(2) 159
- 「長崎市聖福寺のお春の碑(抄)」上瀉口武，長谷川弥『日本歯科医史学会々誌』27(4) 229
- 「十全同窓会出版「金沢市近代医学史跡図」の説明」佐藤保，赤祖父一知『北陸医史』29(1) 53-54
- 23 疾病史**
- 「【アレルギー疾患における真菌の重要性】真菌アレルギーの歴史と重要性」秋山一男『アレルギー・免疫』15(9) 1161-1162
- 「家族性地中海熱とコルヒチンの関わりについての歴史推理考」稲毛康司『臨床リウマチ』20(4) 267-268
- 「自己炎症疾患 自己炎症疾患の疾患概念と歴史(抄)」稲毛康司『日本小児科学会雑誌』112(2) 172
- 「【筋ジストロフィー 現在と未来】基礎医学 筋ジストロフィー研究の過去・現在・未来」小澤鎮二郎『Clinical Neuroscience』26(2) 134-137
- 「【新型インフルエンザと季節性インフルエンザ】新型インフルエンザ その対応と心構え」加地正郎『臨牀と研究』85(12) 1677-1680
- 「【疲労の診かた】疲労の実態と研究の歴史」木谷照夫『治療』90(3) 438-443
- 「糖尿病の歴史 アメリカ糖尿病学会の機関誌[Diabetes]の第1巻」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』7(1) 143-145
- 「糖尿病の歴史 魚のインスリンが用いられた時代」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』7(2) 287-291
- 「糖尿病の歴史 糖尿病患者の脾インスリン含有量」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』7(3) 463-467
- 「糖尿病の歴史 QueteletとBody mass index(BMI, 体格指数)」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』7(4) 603-606
- 「糖尿病の歴史 Body mass indexの命名 History of Diabetes」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』7(5) 748-751
- 「糖尿病の歴史 軽症糖尿病ではインスリン分泌は低下しているのか，増加しているのか？ インスリン測定が可能となった1960年代の成績」葛谷健『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』7(6) 924-929
- 「【ARDSの治療】ARDS 概念の変遷と疫学」久保恵嗣『THE LUNG — perspectives』16(3) 327-331
- 「アレルギー疾患の歴史 アレルギー性結膜疾患の歴史」熊谷直樹，大野重昭『アレルギー・免疫』15(4) 569-573
- 「【骨免疫学がリウマチ性疾患の診療にもたらしたもの】骨免疫学研究の歴史とup to date」古賀貴子，高柳広『リウマチ科』40(2) 105-111
- 「【日常よく遭遇するパーキンソン病 パーキンソン病はここまでわかった】Lewy小体病とは何か」小阪憲司『成人病と生活習慣病』38(8) 900-903
- 「【レビー小体型認知症の臨床診断】なぜ臨床診断が重要か？ 歴史的な経緯」小阪憲司『Cognition and Dementia』7(4) 313-317
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望 これも糖尿病療養指導士の役目」齋藤彦彦『Q&Aでわかる

- 肥満と糖尿病』7(5)741-743
- 「痛みの歴史について(抄)」酒井明夫『日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集67回』90
- 「ベーターヴェンからパービーへ 鉛中毒の歴史」佐々茂『ミクロスコピア』25(1)19-23
- 「臨床研究, 私の思い出 日本人のT細胞腫瘍とB細胞腫瘍(66)-(76)」下山正徳『血液フロンティア』18(2-12)330-345, 490-502, 640-653, 798-810, 946-957, 1176-1190, 1324-1337, 1484-1496, 1622-1636, 1768-1781, 1928-1942
- 「臨床研究, 私の思い出 日本人のT細胞腫瘍とB細胞腫瘍(77)」下山正徳『血液フロンティア』19(1)104-118
- 「【胃癌 基礎・臨床研究のアップデート】胃癌研究の歴史の変遷と今後の展望」杉村隆『日本臨床』66(増刊5 胃癌)7-13
- 「歴史の証言シリーズ スモン薬害・その隠された秘話 その時企業はどう動いたか? スモンの知られざる一端」鈴木伸二『臨床評価』36(2)473-481
- 「社会福祉士専門講座 ハンセン病問題について」鈴木幸雄『地域ケアリング』10(4)38-41
- 「HIV感染症治療の最前線 日本のエイズの歴史を振り返る 地方都市広島窓から(抄)」高田昇『感染症学雑誌』82(臨増)141-142
- 「【自律神経update(前編)]自律神経系の概念と研究史」高橋昭『神経内科』68(3)219-234
- 「【ALS臨床と研究の最新情報】ALSオーバービュー その歴史から今日まで」田代邦雄『Clinical Neuroscience』26(3)252-256
- 「【多発性硬化症 最近のトピック】概念と基本多発性硬化症, Devic病およびNMO, その歴史と概念」田代邦雄『Clinical Neuroscience』26(7)726-731
- 「【失語症患者のケア】失語症の歴史と変遷」種村純『臨床看護』34(3)292-297
- 「【入院患者の高血圧をコントロールする】高血圧症は日本人に多い 高血圧研究の歴史的背景, 本邦での疫学研究」環愼二『臨床研修プラクティス』5(9)82-83
- 「実例から学ぶ 医薬品のライフサイクルマネジメント キノフォルムによるスモン事件」土井脩『薬事』50(1)151-154
- 「【肺動脈性肺高血圧症 基礎研究と臨床の進歩】肺動脈性肺高血圧症の定義と分類の変遷」中西宣文『日本臨床』66(11)2055-2061
- 「【高尿酸血症・痛風Update】高尿酸血症・痛風研究の歴史」中村徹『日本臨床』66(4)624-635
- 「【慢性閉塞性呼吸器疾患(COPD)]診断と治療の進歩 病因と病態 歴史と概念」西村正治『日本内科学会雑誌』97(6)1170-1176
- 「【注意欠陥多動性障害(ADHD)]ADHDの歴史」橋本俊顕『臨床精神医学』37(2)121-127
- 「容積の変化からみた病態 水頭症病態とその治療における歴史の変遷および現状での“Brain storm” Bulk flow theoryからHydrodynamic theoryへのParadigm shiftは必要か?」橋本正明『Progress in Research on Brain Edema and ICP』(9)67-86
- 「【自己免疫性疾患における画像診断 IgG4関連疾患およびCNSループスについて】IgG4関連疾患 各疾患の歴史の変遷とその概要」浜野英明『日独医報』53(3-4)317-325
- 「【日本人の発見した神経疾患】福山型筋ジストロフィー研究の歴史と展望」福山幸夫『BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩』60(1)43-51
- 「インフルエンザウイルス感染症の歴史と未来」藤田次郎『日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌』18(2)150-155
- 「歴史の証言シリーズ スモン薬害・その隠された秘話 その時企業はどう動いたか? スイスにおけるSMONプレス・カンファレンスとデモ行進の思い出」別府宏窓『臨床評価』36(2)509-513
- 「【気道炎症の新しい展開】気管支喘息と気道炎症研究の歴史的展開」堀内奈緒, 浅野浩一郎『THE LUNG — perspectives』16(1)21-24
- 「てんかんからみる人物の横顔 異論異説のてんかん史 ルイス・キャロル」松浦雅人『Epilepsy: てんかんの総合学術誌』2(1)71-74
- 「【新時代の糖尿病学 病因・診断・治療研究の進歩】序論 糖尿病死因の歴史の変遷」松木道裕, 加来浩平『日本臨床』66(増刊3 新時代の糖

- 尿病学(1) 43-48
- 「【新型インフルエンザ その対策】インフルエンザの歴史」松本慶蔵『成人病と生活習慣病』38(11)1237-1243
- 「メタボリックシンドロームにおける高尿酸血症の病態意義 歴史的経緯から最近の知見まで」嶺尾郁夫『痛風と核酸代謝』32(2)121-132
- 「Vogt-小柳-原田病」宮永将，望月學『眼科』50(6)829-837
- 「胎児期水頭症 疫学調査20年の軌跡」森竹浩三，山崎麻美，森惟明，菊池晴彦『Neurological Surgery』36(1)7-24
- 「歴史の証言シリーズ スモン薬害・その隠された秘話 その時企業はどう動いたか? キノホルムとスモン 事件発生から終結までの経過を辿る」山崎恒義『臨床評価』36(2)483-508
- 「HIV物語・25年史(抄)」山本直樹『日本エイズ学会誌』10(4)304
- 「【過敏性肺炎とその周辺疾患】過敏性肺炎 過去，現状と将来の課題」吉澤靖之『呼吸器科』13(5)385-389
- 「タウオパチーの歴史的経緯と概念」吉山容正『日本医事新報』(4417)95-97
- 「【かぜ診療のステップアップ】かぜ総論 かぜの医学史 感冒とインフルエンザの歴史」渡辺彰『JOHNS』24(11)1653-1657
- 24 耳鼻咽喉科史**
- 「【補聴器と人工内耳 最近の進歩と将来展望】埋め込み型補聴器(人工中耳)の最新知見 人工中耳の歴史と将来展望」暁清文『JOHNS』24(9)1377-1380
- 「鼻科手術の歴史とマクロライド系薬剤の係わり(抄)」市村恵一『日本鼻科学会誌』47(3)215
- 「台湾の医学に影響を与えた日本人-耳鼻咽喉科の場合-」王敏東『日本医史学雑誌』54(3)275-280
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科の診断・治療・手術器械の歴史1 眼振の直接観察法とその検査機器の発展」加我君孝『JOHNS』24(1)114-117
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科の診断・治療・手術器械の歴史2 聴力検査機器」加我君孝，山嵜達也『JOHNS』24(2)258-261
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科の診断・治療・手術器械の歴史3 喉頭の観察」加我君孝，廣瀬肇『JOHNS』24(3)530-535
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科の診断・治療・手術器械の歴史4 鼻副鼻腔を視る」加我君孝，近藤健二『JOHNS』24(4)666-670
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科の診断・治療・手術器械の歴史5 鼓膜と中耳を視る」加我君孝，竹腰英樹『JOHNS』24(5)814-819
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科の診断・治療・手術器械の歴史6 他覚的聴力検査法で難聴を診断する」加我君孝『JOHNS』24(6)952-957
- 「鏡下じ語 耳鼻咽喉科の学校保健の変遷と歴史」神田敬『耳鼻咽喉科・頭頸部外科』80(8)561-563
- 「【補聴器と人工内耳 最近の進歩と将来展望】人工内耳の最新知見 人工内耳の歴史と将来展望」河野淳，河口幸江『JOHNS』24(9)1395-1400
- 「【補聴器と人工内耳 最近の進歩と将来展望】補聴器の最新知見 補聴器の歴史と将来展望」館野誠『JOHNS』24(9)1289-1293
- 「【補聴器と人工内耳 最近の進歩と将来展望】人工内耳の最新知見 コクレア型人工内耳の開発の経緯と現状」渡辺真一『JOHNS』24(9)1416-1421
- 25 種痘史**
- 「古典あれこれ ワクチン物語 ワクチン事始め」小川浩司『JOHNS』24(7)1094-1099
- 「古典あれこれ ワクチン物語 ポリオの場合」小川浩司『JOHNS』24(10)1624-1629
- 「古典あれこれ ワクチン物語 ウイルス，発癌，ワクチン」小川浩司『JOHNS』24(12)1870-1873
- 「人痘種痘法から牛痘種痘法移行にみる医の文化-李仁山・シーボルト・梅浦修介等を通じて」古西義磨『風媒社日本文化の脈脈』78-94
- 「種痘 その歴史と今」菅野恒治，中澤啓子『日本小児科医会会報』(35)153-155
- 「豆腐小僧と天然痘(抄)」竹原直道『日本歯科医

- 史学会々誌』27(4)209
- 「人痘接種法の歴史」深瀬泰旦『川崎市小児科医学会誌』(40)5-43
- 「中川五郎次の弟子と彼らによる北日本における種痘の実施」松木明知『日本医史学雑誌』54(4)339-358
- 26 獣医学史**
- 「中世日本におけるウマの移動のストロンチウム同位体による復元(英語)(抄)(Reconstructing horse transport during the Middle Ages in Japan using strontium isotope analysis)」Gakuhari T., Yoneda M., Uzawa K., Hongo H., Mukai H., Nakano N., Yumoto T.『Anthropological Science』116(3)244
- 「二十世紀台湾の畜産獣医事情 [Ⅲ]」林本欽, 大橋義光『日本獣医史学雑誌』(45)124-147
- 「鶏のロイコチトゾーン症と小倉喜佐次郎獣医学博士との関係, そして知り得た日本統治下の台湾の獣医畜産事情(3)」秋葉和温『畜産の研究』62(8)920-927
- 「日本猫病史」石田卓夫『日本獣医史学雑誌』(45)1-63
- 「【産業動物獣医療の進む道】養豚獣医療の歴史と今後」大井宗孝『臨床獣医』26(1)17-19
- 「理礼氏薬物学から見る家畜医範の薬物について(抄)」大垣旭, 小松知貴, 島和嗣, 畠山貴博, 西野ゆり, 澤田采佳, 小松直登他6名『動物臨床医学会年次大会プロシーディング29回』(4)167-169
- 「明治期家畜医範内科学(巻十二巻)講義内容にみる獣医教育について(抄)」木村壮太郎, 島和嗣, 畠山貴博, 大垣旭, 小松知貴, 西野ゆり他7名『動物臨床医学会年次大会プロシーディング29回』(4)175-177
- 「明治期家畜医範講義に登場する解剖図について(抄)」久保光平, 畠山貴博, 小松直登, 木村壮太郎, 島和嗣, 大垣旭, 小松知貴他6名『動物臨床医学会年次大会プロシーディング29回』(4)170-171
- 「日本在来馬について一城郭や合戦と関連して一」小佐々学『城郭史研究』(27)
- 「明治九年銘 小篠源三の義犬墓」小佐々学『日本獣医史学雑誌』(45)119-123
- 「明治期家畜医範(第九巻)講義内容にみる薬物処方について(抄)」小松直登, 木村壮太郎, 島和嗣, 畠山貴博, 大垣旭, 小松知貴, 西野ゆり他6名『動物臨床医学会年次大会プロシーディング29回』(4)172-174
- 「牛の補液・輸液療法 牛の輸液療法 基礎編 牛の輸液療法小史」鈴木一由, 小岩政照, 田口清『臨床獣医』26(1)63-67
- 「明治期家畜医範に登場する寄生虫について(抄)」畠山貴博, 小松直登, 島和嗣, 大垣旭, 小松知貴, 西野ゆり, 澤田采佳他5名『動物臨床医学会年次大会プロシーディング29回』(4)164-166
- 「日本における動物用ワクチンの歴史」平山紀夫『日本獣医史学雑誌』(45)64-89
- 「騙(抄)」松尾信一『日本医史学雑誌』54(2)107
- 「人と動物の関係論 獣医師編(11)」宮田勝重『小動物臨床』27(4)229-231
- 「【第四胃変位整復手術をめぐる進展】わが国における第四胃変位牛発見の奇遇と歴史的背景」本好茂一『獣医畜産新報』61(9)741-742
- 「バイオリソースとしてのマウスとそのゲノムの研究(抄)」森脇和郎『組織培養研究』27(1)23-24
- 「牛痘および牛系牛痘毒釜山系を巡る東アジアの家畜防疫小史」吉田和生『動物衛生研究所研究報告』(114)69-75
- 「家畜感染病名称の変遷」諏訪綱雄『日本獣医史学雑誌』(45)103-111
- 「わが国の獣医臨床におけるレーザー応用の歴史と人への応用」渡邊正俊『日本獣医史学雑誌』(45)115-118
- 27 書簡**
- 「池田文書の研究(三十三) 宮家家扶・家従の書簡」池田文書研究会『日本医史学雑誌』54(1)57-65
- 「池田文書の研究(三十四) 公家華族の書簡(その1)」池田文書研究会『日本医史学雑誌』54(3)293-302
- 「池田文書の研究(三十五) 公家華族の書簡(そ

- の2) 池田文書研究会『日本医史学雑誌』54(4) 399-408
- 「浅井常三から矢澤梅太郎宛書簡等」田崎哲郎『総合郷土研究所紀要』(53) 175-182
- ## 28 書誌学
- 「田中信吾記『東遊日記』」赤祖父一知，今井美和，堀井美里『北陸医史』29(1) 1-17
- 「江戸の医案を読む 尾台榕堂『方伎雑誌』より（その2）」秋葉哲生，平馬直樹『伝統医学』11(1) 46-53
- 「江戸の医案を読む 和田東郭『蕉窓雑話』より（その1）-（その2）」秋葉哲生，平馬直樹『伝統医学』11(2-3) 100-108, 160-167
- 「江戸の医案を読む 山田業精『井見集附録』より（その1）」秋葉哲生，平馬直樹『伝統医学』11(4) 214-221
- 「史料紹介 中山文庫「魯西亜滞船中日記」(2)」織田毅『鳴滝紀要』(18) 75-96
- 「天保五年当時の華岡家「春林軒」における医学修業の実態について（二）一大森泰輔（不明堂三楽）の塾中日記「南遊雑記一・二」の翻刻一」梶谷光弘『島根県古代文化センター古代文化研究』(16) 105-137
- 「古医書のはなし シルクロードと敦煌文書（その1）」小曾戸洋『漢方と鍼』32(1) 5
- 「傷寒論再考 東洞生誕の地にちなんで『傷寒論』の歴史の変遷を考える」小高修司『日本東洋医学雑誌』59(2) 203-210
- 「『古今方彙』各種版本の比較検討」鈴木達彦『日本東洋医学雑誌』59(4) 609-615
- 「『和剂局方』の紹興，宝慶，淳祐時代の編纂方法とその意図」鈴木達彦『薬史学雑誌』43(1) 5-11
- 「『和剂局方』の増補年代の問題」鈴木達彦『日本医史学雑誌』54(1) 31-38
- 「南宋五卷本『和剂局方』の再検討（抄）」鈴木達彦『日本医史学雑誌』54(2) 155
- 「『医学天正記』について（9）」高島文一『啓迪』(26) 1-7
- 「眼目秘録（慶長18年）（抄）」竹田真『薬史学雑誌』43(2) 202
- 「家伝本「紅夷外科宗傳」（1706）ほか二部についての考察（抄）」田中祐尾『日本医史学雑誌』54(2) 106
- 「方伎雑誌の訳注研究（抄）」寺澤捷年『日本医史学雑誌』54(3) 309-310
- 「海を渡った舌診書（抄）」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』27(4) 210-211
- 「『鳥獣人物戯画』と『病草紙』（抄）」西巻明彦，屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』27(4) 227-228
- 「関場不二彦著「西医学東漸史話」について（第6報）（抄）」秦温信，松岡伸一，大西勝憲，関谷千尋，佐野文男，島田保久，鮫島夏樹『薬史学雑誌』43(2) 204
- 「千葉大学図書館亥鼻分館 古医書目録について」樋口誠太郎『ミクロスコピア』25(1) 44-47
- 「漢方基礎講座 傷寒論の検討 各論Ⅰ『太平聖惠方』に引用された傷寒論 各論Ⅰの（5）『太平聖惠方』卷十一全文と解説」牧角和宏『福岡医師漢方研究会会報』29(3) 27-68
- 「漢方基礎講座 傷寒論の検討 各論Ⅰ『太平聖惠方』に引用された傷寒論 各論Ⅰの（6）『太平聖惠方』卷十二全文と解説」牧角和宏『福岡医師漢方研究会会報』29(5) 12-45
- 「漢方基礎講座 傷寒論の検討 各論Ⅰ『太平聖惠方』に引用された傷寒論 各論Ⅰの（7）『太平聖惠方』卷十三全文と解説」牧角和宏『福岡医師漢方研究会会報』29(7) 12-62
- 「漢方基礎講座 傷寒論の検討 各論Ⅰ『太平聖惠方』に引用された傷寒論 各論Ⅰの（8）『太平聖惠方』卷十四全文と解説」牧角和宏『福岡医師漢方研究会会報』29(9) 17-55
- 「漢方基礎講座 傷寒論の検討 各論Ⅱ『千金方』に引用された傷寒論 各論Ⅱの（1）『千金方』卷九全文と解説」牧角和宏『福岡医師漢方研究会会報』29(11) 19-51
- 「傷寒論再考 東洞生誕の地にちなんで『傷寒論』の成立と変遷に関する最新知見『宋板傷寒論』の成立と成無己『注解傷寒論』以降」牧角和宏『日本東洋医学雑誌』59(2) 194-202
- 「『千金方』一遣唐使将来本の書写について」松岡

- 尚則, 山下幸一, 栗林秀樹, 牧角和宏, 山口秀敏『日本医史学雑誌』54(3)231-238
- 「北宋政府校正医書局『金匱要略』小字本の出現(抄)」真柳誠『日本東洋医学雑誌』59(別冊)191
- 『宗板傷寒論』の系諸版の検討(抄)」真柳誠『日本医史学雑誌』54(2)157
- 『橘窓書影』解説(21)-(22)森由雄『漢方療法』11(11-12)902-905, 34-37
- 「病草紙にみられる新知見(抄)」屋代正幸, 西巻明彦『日本歯科医師会雑誌』61(5)523
- 「本居宣長記念館所蔵『揆穴会志』について(抄)」山崎陽子『日本医史学雑誌』54(2)161
- 「国立公文書館内閣文庫所蔵の脈書『紫虛崔真人脈訣秘旨』について(抄)」吉岡広記『日本医史学雑誌』54(2)138
- 29 小児科史**
- 「日本における小児神経学の歴史(英語)(抄)(History of Child Neurology in Japan)」Fukuyama Yukio『脳と発達』40(Suppl.)S85
- 「脳腫瘍 小児における脳腫瘍 歴史と将来の方向性(英語)(抄)(Childhood brain tumours: where we have come from and where we are going?)」Bouffet Eric『小児がん』45(プログラム・総会号)109
- 「川崎病の子どもをもつ親の会の歴史と今後の課題(抄)」浅井満『日本小児循環器学会雑誌』24(6)748
- 「知的障害者入所更正施設の歴史的課題の検討 知的障害者の「地域移行」に焦点をあてて」井上照美, 岡田進一『生活科学研究誌』6, 209-223
- 「黄疸とビリルビン代謝研究 その歴史と臨床への貢献(抄)」上裕俊法『近畿大学医学雑誌』33(3)5A
- 「わが国における性教育の振り子論 第二次世界大戦以降を中心にして」鹿間久美子『思春期学』26(3)350-359
- 「【子育て論のこれから】子育て論をめぐる 子育ての古今東西」清水將之『そだちの科学』(10)98-102
- 「高機能広汎性発達障害(その1) 高機能広汎性発達障害の歴史と展望」杉山登志郎『小児の精神と神経』48(4)327-336
- 「高機能広汎性発達障害への取り組み 高機能広汎性発達障害 研究の歴史と全体像(抄)」杉山登志郎『日本小児精神神経学会プログラム・抄録集100回』26
- 「イギリスの小児訪問看護の歴史と現状 小児専門訪問看護師の誕生」多田羅竜平『訪問看護と介護』13(4)330-331
- 「イギリスの小児訪問看護の歴史と現状 NHS発足後の新たな取り組み」多田羅竜平『訪問看護と介護』13(5)416-417
- 「イギリスの小児訪問看護の歴史と現状 今日の小児訪問看護サービスの発展」多田羅竜平『訪問看護と介護』13(6)506-507
- 「イギリスの小児訪問看護の歴史と現状 小児の在宅緩和ケア」多田羅竜平『訪問看護と介護』13(7)602-604
- 「福山型筋ジストロフィーの発見とその類縁疾患における病態」戸田達史『蛋白質・核酸・酵素』53(13)1771-1780
- 「医学から見た発達障害の子どもたち 概念と診断 発達障害は歴史的かつ包括的な障害概念と理解すべき!」原仁『特別支援教育の実践情報』24(4)72-73
- 「東と西の育児論」深瀬泰旦『川崎市小児科医会会誌』(39)11-31
- 「鉄と貧血」福永慶隆『日本小児科学会雑誌』112(12)1778-1786
- 「小児のトゥレット障害 その歴史と臨床像(抄)」星加明德『日本小児精神神経学会プログラム・抄録集100回』14-15
- 「小児のトゥレット障害 その歴史と臨床像」星加明德『小児の精神と神経』48(4)309-317
- 「鉛中毒の歴史に関する研究 「児科雑誌」における仮称所謂脳膜炎(鉛毒性脳症)に関する研究の足跡 平井毓太郎による究明後の反響(抄)」堀口俊一, 寺本敬子, 西尾久英, 林千代『産業衛生学雑誌』50(臨増)1001
- 「公法人立重症心身障害児施設入所児(者)の実態

調査の分析 病因別発生原因とその経年的変化」三上史哲，三田勝己，平元東，岡田喜篤，末光茂，江草安彦『日本重症心身障害学会誌』33 (3) 311-326

「日本における発達障害の子ども・人への支援の歴史と展望（抄）」山口薫『日本発達障害学会研究大会発表論文集43回』38-39

「日本と米国における子どもの虐待と動物虐待の関連性に関する歴史と現状の比較」山崎佐季子『子どもの虐待とネグレクト』10 (3) 353-362

30 神経学史

「神経変性疾患の病理学：Parkinson病病理学の歴史的発展（英語）（Pathology of Neurodegenerative Disorders: Historical Development of Pathology in Parkinson's Disease）」Tanaka Junichi『Progress in Medicine』28 (3) 873

「【自律神経の障害とその検査update】自律神経の研究史と概念」朝比奈正人，服部孝道『Clinical Neuroscience』26 (11) 1190-1192

「自律神経学研究の歴史（抄）」高橋昭『日本自律神経学会総会プログラム・抄録集61回』51-52

「【重症筋無力症一病態解明と診療の進歩】概念と歴史 重症筋無力症の歴史と概念の確立」高守正治『Clinical Neuroscience』26 (9) 954-958

「Edward Flatau (1868-1932) とドイツ語圏の片頭痛研究 片頭痛の発生機序」田村直俊，荒木信夫，山元敏正，中里良彦，糸川かおり『神経内科』69 (5) 497-502

「【重症筋無力症一病態解明と診療の進歩】概念と歴史 神経筋接合部の微細構造」辻畑光宏『Clinical Neuroscience』26 (9) 959-961

「【重症筋無力症一病態解明と診療の進歩】概念と歴史 神経筋接合部の分子構築」樋口理，山梨裕司『Clinical Neuroscience』26 (9) 962-963

「不随意運動 臨床的把握と史的概説」平山恵造『運動障害』18 (1) 27-34

31 診断学史

「乳癌細胞診の将来の方向性 歴史的考察！（英語）（抄）（How for could we go with breast cytology?:

a historical review!）」Lindholm Karin『日本臨床細胞学会雑誌』47 (Suppl. 2) 361

「日本における乳癌画像診断の幕開け」泉雄勝『乳癌の臨床』23 (2) 93-100

「【胃癌スクリーニングの現状とハイリスクストラテジー】わが国の胃癌スクリーニングの歴史と将来展望」岩崎有良『臨床消化器内科』23 (3) 303-312

「【救急看護師・救急救命士のためのトリアージプレホスピタルからER，災害まで】トリアージとは 定義と歴史」大友康裕『EMERGENCY CARE』(2008 夏季増刊) 8-14

「胃癌診療の歴史 胃切除術の黎明期ビルロートの時代」岡島邦雄『胃がん perspective』1 (1) 67-70

「診断推論の歴史」佐々木春喜『日本医事新報』(4406) 68-74

「連載企画「外科学温故知新」によせて 心電図の発達史 動物電気から心電図へ」佐藤裕『臨床外科』63 (3) 403-408

「今，CADは信頼に堪え得るか 進展するCAD診断の《実力》とは CAD実用化10周年 臨床現場への導入の現状と課題」藤田広志『新医療』35 (10) 102-105

「【不整脈と遺伝子診断】不整脈の遺伝子診断の歴史と変遷」堀江稔『心臓』40 (12) 1055-1059

「標榜科としての臨床検査，病理診断科 標榜科としての病理診断科 歴史的背景と意義，今後の課題（抄）」水口國雄『臨床病理』56 (捕冊) 65

32 整形外科史

「整形外科医とスポーツ医学 歴史，現状，展望（抄）」青木治人『日本整形外科学スポーツ医学会雑誌』28 (1) 8

「整形外科の歴史 127-131 20世紀初期から中後期へーイギリスの整形外科の近代化 24-28 優秀な整形外科医たちの動き (3)-(7)」蒲原宏『整形外科看護』13 (1-5) 96-99, 208-209, 308-309, 414-415, 526-529

「整形外科の歴史 132-134 20世紀初期から中後期へーイギリス連邦諸国の整形外科の近代化

- ①-③ カナダの整形外科の近代化(1)-(3) 蒲原宏『整形外科看護』13(6-8) 636-637, 748-750, 844-847
- 「整形外科の歴史 135-137 20世紀初期から中後期へーイギリス連邦諸国の整形外科の近代化 ③-⑤ オーストラリアの整形外科の近代化(1)-(3)」蒲原宏『整形外科看護』13(9-11) 960-962, 1066-1067, 1162-1163
- 「整形外科の歴史 138 20世紀初期から中後期へーイギリス連邦諸国の整形外科の近代化⑥ オーストラリアの整形外科の近代化(4)」蒲原宏『整形外科看護』13(12) 1266-1269
- 「柔道整復固定術」木村吉正『柔道整復・接骨医学』16(3) 197-198
- 「医学・医療の最前線シリーズ 腰椎椎間板ヘルニアの治療 手術療法の歴史と今後の展望」佐藤公昭, 永田見生『久留米医学会雑誌』71(7-8) 262-267
- 「橈骨遠位端骨折に対する創外固定の歴史的経験と現在の意義(抄)」田嶋光『整形外科と災害外科』57(Suppl. 1) 34
- 「【頸椎インストゥルメンテーション】頸椎インストゥルメンテーションの歴史」鏡邦芳『関節外科』27(7) 829-841
- 「【和製福祉用具の歴史】インテリジェント大腿義足 基礎研究から実用化まで」中川昭夫『福祉介護機器 Techno プラス』1(10) 25-30
- 「腰椎変性疾患に対する最小侵襲手術 その歴史, 現在, 未来(抄)」松本守雄『日本整形外科学会雑誌』82(2) S247
- 「新たに考案した肩関節脱臼の整復法」吉川公生, 市原直樹, 影山寧, 豊田文博, 青山平助『柔道整復・接骨医学』16(3) 189-191
- 「19世紀ヒステリー研究におけるイメージの問い」上尾真道『精神医学史研究』12(2) 90-99
- 「PSWの知恵袋 続・戦後精神医療論争小史 「精神科デイケア」論争」浅野弘毅『精神保健福祉』39(4) 336-337
- 「PSWの知恵袋 続・戦後精神医療論争小史 「病院開放化」論争」浅野弘毅『精神保健福祉』39(1) 70-71
- 「【広汎性発達障害と統合失調症の鑑別と治療】1980年代と現在の比較」飯田順三『最新精神医学』13(3) 233-238
- 「抗精神病薬開発の歴史と到達点(抄)」石郷岡純『HUMAN SCIENCE』19(1) 36
- 「【精神科における専門外来の試み 新たな展開とその今日的意義】睡眠障害クリニックの歴史と展望」井上雄一『精神科治療学』23(9) 1091-1095
- 「アメリカにおけるスクールソーシャルワークの歴史の一考察(抄)」今川晋平, 古川燧, 長江崇之, 高橋真由美, 阿部正孝『精神保健福祉』39(3) 256
- 「江戸前・中期における「亂氣之者」の法的処遇に関する考察 御仕置裁許帳における触法精神障害者の判例を通じて(抄)」岩崎大輔, 新福尚隆『精神医学史研究』12(1) 66
- 「【認知症者へのかかわり 精神保健福祉士としての課題】老人性認知症専門病棟の歴史とPSWの課題」岩崎由美子『精神保健福祉』39(4) 281-285
- 「【パーソナリティ障害の現在】パーソナリティ障害の概念 歴史的展望」牛島定信『精神科』12(2) 81-85
- 「【精神科における専門外来の試み 新たな展開とその今日的意義】専門外来, セカンドオピニオン外来の動向」臼田千恵, 八田耕太郎, 新井平伊『精神科治療学』23(9) 1047-1050
- 「環太平洋地域における精神科診療所の現状 日本における精神科診療の歴史と展望(英語)(The Current State of Psychiatric Clinics in the Pacific Rim Countries History and Perspective of the Mental Clinics in Japan)」大塚明彦『日本外来臨床精神

33 精神医学史

- 「「精神薄弱者」という観点から見た第二次世界大戦前アメリカの優生学者の民主主義観 (Eugenicists' Views on Democracy in Relation to "the Feebleminded" in Pre-World War II America) (英語)」Nakamura Makio, Oka Noriko『特殊教育学研究』45(6) 459-471

- 医学』6(1)124-126
- 「メラニコリー型性格の普遍性と時代規定性（抄）」大前晋『精神医学史研究』12(1)68
- 「鹽入圓佑・岩佐金次郎による空襲生活調査（抄）」岡田靖雄『精神医学史研究』12(1)69-70
- 「どこへいくのか精神科医療 転換期の今」岡田靖雄『医学史研究』(89)473-488
- 「1 私宅監置例の精神鑑定（抄）」岡田靖雄『日本医史学雑誌』54(2)112
- 「エランベルジェと力動精神医学の歴史 Ellenbergerにおける宗教病理学 「神話解放運動」論を中心に」加藤敏『精神医学史研究』12(1)39-49
- 「東京私立精神病院の黎明 医療と精神看護の歴史」金川英雄，堀みゆき『精神医学研究所業績集』(43)44-49
- 「東京の民間精神障害者施設のお滝場としての高尾山の歴史（抄）」金川英雄，堀みゆき，橋本明『日本社会精神医学会雑誌』17(1)115
- 「戦前の東京の精神科病院と精神科看護（抄）」金川英雄，堀みゆき『日本医史学雑誌』54(2)149
- 「エランベルジェと力動精神医学の歴史 力動的心理療法の成立の歴史的背景 Ellenbergerの視点のもたらしたもの」河合俊雄『精神医学史研究』12(1)50-55
- 「J. Guislainの精神療法について（抄）」小泉明『精神医学史研究』12(1)70
- 「日本における臨床心理学の導入と受容過程（5）戦前と戦後の連続性について（抄）」小泉晋一，鈴木祐子，鈴木聡志，安齊順子，松島淳，問宮正幸『日本心理学会大会発表論文集72回』WS(38)
- 「Medowの硬直性退行期抑うつ（1921）について（抄）」古茶大樹，濱田秀伯『精神医学史研究』12(1)71
- 「【少年犯罪・非行と精神療法】行為障害概念の歴史的展望と精神療法」齊藤万比古『精神療法』34(3)265-274
- 「【歴史を動かした心の病】 マルティン・ルター」作田明『精神科』12(5)403-407
- 「成長する精神保健福祉士 ささまざまな“枠”をこえて」佐々木敏明『精神保健福祉』39(3)173-178
- 「【広汎性発達障害と統合失調症の鑑別と治療】自閉症と統合失調症は関連があるか 歴史的回顧」清水将之，横川滋章『最新精神医学』13(3)227-232
- 「10年間の地域社会経済特性の変化と精神科外来患者の変化」鈴木二郎，古屋千絵子〔峯〕，西村千秋，中村道子，小堀俊一，川名明德，五日市緒里枝，広瀬芳史『日本外来臨床精神医学』6(1)130-154
- 「【歴史を動かした心の病】 デイヴィッド・ヒュームと創造の病」竹中久留美，森岡智文，内海健『精神科』12(5)420-430
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 19世紀の精神医学 ドイツ精神医学（2）-（3）」竹中星郎『精神科看護』35(2-3)75-79, 78-82
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 19世紀の精神医学 もう1つの精神医学（力動精神医学）」竹中星郎『精神科看護』35(4)82-86
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 19世紀アメリカの精神医療（1）-（2）」竹中星郎『精神科看護』35(5-6)83-87, 82-86
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 20世紀の精神医療（1）」竹中星郎『精神科看護』35(7)83-87
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 薬物治療」竹中星郎『精神科看護』35(8)83-87
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 20世紀の精神医学と精神医療」竹中星郎『精神科看護』35(9)78-83
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 日本の精神医療（1）-（2）」竹中星郎『精神科看護』35(10-11)83-87, 79-83
- 「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 看護の歴史 近代看護の確立」竹中星郎『精神科看護』35(12)76-80
- 「岩手県における精神病患者監護法時代の精神障害者処遇の歴史」田辺有理子『岩手県立大学看護学部紀要』(10)9-22
- 「精神病患者監護法下における監置患者の暮らしと地域社会 水内湯ノ山冷泉と監置患者の暮らし（抄）」田端幸枝，橋本明『精神医学史研究』12(1)65-66

- 「【気分安定薬の現状と課題】非定型抗精神病薬は気分安定薬になりうるか? 気分安定薬の臨床の現状とその問題点について, 歴史的経緯と今後の展望を含め, 幅広い視点からの解説」堤祐一郎『臨床精神医学』37(7)919-930
- 「脆弱性モデルからレジリアンスモデルへ 精神医学におけるレジリアンス概念の歴史」田亮介, 田辺英, 渡邊衡一郎『精神神経学雑誌』110(9)757-763
- 「脆弱性モデルからレジリアンスモデルへ 精神医学におけるレジリエンス概念の歴史(抄)」田亮介, 田辺英, 渡邊衡一郎『精神神経学雑誌』(2008特別)S-238
- 「【発達障害の診かた プライマリ・ケア医に知ってもらいたいこと】発達障害の概念と歴史」十一元三『治療』90(8)2254-2258
- 「アジアおよび日本におけるスクールソーシャルワークの歴史の一考察(抄)」長江崇之, 古川奨, 今川晋平, 高橋真由美, 阿部正孝『精神保健福祉』39(3)257
- 「日本における犯罪学の歴史と動向 精神医学 戦前編 我が国の犯罪精神医学の黎明期, 特に戦前の歴史について」中田修『犯罪学雑誌』74(1)2-8
- 「【歴史を動かした心の病】ジャン=ジャック・ルソーにおける語りと妄想」中谷陽二『精神科』12(5)397-402
- 「洛北岩倉における精神病者の処遇(抄)」中村治『精神医学史研究』12(1)67-68
- 「京都の岩倉において精神障害者家族的看護を可能にした社会的条件(抄)」中村治『日本医史学雑誌』54(2)113
- 「ドイツ医学とイギリス医学の対立が生んだ森田療法 森田理論をその源流から探る」中山和彦『精神神経学雑誌』110(8)698-705
- 「森田療法の成立に先立つ「祈禱性精神症(病)」研究の意義」中山和彦『日本森田療法学会雑誌』19(2)157-168
- 「精神外科と脳研究の過去と現在」櫛島次郎『臨床評価』36(1)85-114
- 「精神病患者監護法以前の国と地方の法制度(抄)」野田武志『精神医学史研究』12(1)66
- 「【歴史を動かした心の病】満州事変と関東軍参謀石原莞爾の精神病理」野村総一郎『精神科』12(5)408-414
- 「【ディスレクシアを主体に 特異的LDへの気づきと支援】現場で役立つIEP アメリカの30年の歴史に学ぶ」バーンズ亀山静子『LD研究』17(1)41-47
- 「わが国における精神科ソーシャルワーカーの黎明(その1)(抄)」橋本明『日本医史学雑誌』54(2)114
- 「老いのたわごと 日本社会精神医学外史(その1)」浜田晋『精神医療』(52)119-124
- 「【いま remission を考える 統合失調症治療の新たなゴール】統合失調症における remission の定義とその歴史的意義」針間博彦, 五十嵐雅, 岡崎祐士『Schizophrenia Frontier』8(4)262-267
- 「【地球をめぐる治療文化 文化・制度・精神科医療の変容】脱施設化以降のアメリカ合衆国の精神医療 その変遷と社会文化的背景」昼田源四郎『こころと文化』7(1)10-18
- 「アメリカの脱施設化とその社会思想史的背景(抄)」昼田源四郎『精神医学史研究』12(1)73
- 「江戸時代の女性旅日記にみる進行麻痺の蔓延(抄)」堀みゆき『精神医学史研究』12(1)67
- 「【歴史を動かした心の病】サルトルの心理学的分析 実存主義の展開」町沢静夫『精神科』12(5)415-419
- 「【アルツハイマー病 基礎研究から予防・治療の新しいパラダイム】総説 アルツハイマー病の発見をめぐる アルツハイマー病の歴史の中で」松下正明『日本臨床』66(増刊1 アルツハイマー病)7-17
- 「エランベルジェと力動精神医学の歴史 精神科医としてのエランベルジェ」松下正明『精神医学史研究』12(1)31-38
- 「【サイコオンコロジー】サイコオンコロジーの歴史と現状」松島英介『精神科』13(2)89-93
- 「【歴史を動かした心の病】リンカーンの場合」山田和夫『精神科』12(5)431-433
- 「『自傷行為』の概念の変遷」山田聡子, 藤山直樹

『上智大学心理学年報』(32) 51-58

「描画法研究の歴史と展望（抄）」蘭香代子『日本心理学会大会発表論文集72回』324

34 生物学史

「分子生物学の基礎 感染症を引き起こす異常化したタンパク質 プリオン病発症のメカニズムと治療法の開発」安部辰夫，野村慎太郎『Clinical Engineering』19(9) 1009-1020

35 西洋医学史

「近代イギリス陸軍の衛生改革—実践的ヘルス・ケア知識の導入（英語）Sanitary Reform in the British Army: Introducing Knowledge about Practical Healthcare」秋山ゆり子『日本医史学雑誌』54(1) 19-29

「世界医学史の旅20-21 フランダースの歴史的病院 上・下」石田純郎『ミクロスコピア』25(2-3) 146-150, 238-242

「世界医学史の旅22 シリア医史跡散歩 上」石田純郎『ミクロスコピア』25(4) 352-355

「懐旧のドイツ その二十二—二十五 ドレスデンの髑（6）—（9）」上野賢一『ミクロスコピア』25(1-4) 61-64, 141-144, 231-234, 345-348

「イタリアの温泉医療の歴史と現状，そして未来像（抄）」ウオルター・バッシーニ『日本旅行医学会講演会抄録集』（7回）55-58

「欧州司法精神医学史 フランス編 「法医学的精神医学」と「公衆衛生学的精神医学」（抄）」影山任佐『精神医学史研究』12(1) 72

「近代ヨーロッパ医学の科学的基盤 古代ギリシャの自然哲学者の果たした役割」梶原博毅『人間と科学：県立広島大学保健福祉学部史』8(1) 25-38

「英国医史，プロフェッション」栗本宗治『医譚』(104) 5445-5446

「ベルリンにおける大学法医学研究所の変遷 1833～2008」ゲゼリック G., ヴェンデラ K., ヴィルス I.『日本法医学雑誌』62(2) 118-123

「アンシャンレジーム期のサルペトリエール病院 旧制度下の巨大収容施設の社会的役割とその変遷（抄）」高内茂『精神医学史研究』12(1) 71-72

「1930年代イギリスにおける医療制度改革構想 歴史的相互関係の分析」鶴田禎人『日本医療経済学会会報』27(2) 1-29

「医学史の旅 イタリア⑧ エルコラーノ，ポンベイ」星和夫『日本病院会雑誌』55(1) 83-86

「医学史の旅 イタリア⑨ サレルノ」星和夫『日本病院会雑誌』55(2) 199-202

「医学史の旅 イタリア20-21 シチリア島（1）—（2）」星和夫『日本病院会雑誌』55(3-4) 319-322, 415-418

「医学史の旅 マルタ共和国」星和夫『日本病院会雑誌』55(5) 547-550

「医学史の旅 ギリシャ①—③ アテネ（1）—（3）」星和夫『日本病院会雑誌』55(6-8) 643-646, 775-778, 919-922

「医学史の旅 ギリシャ④ コリントス」星和夫『日本病院会雑誌』55(9) 1051-1054

「医学史の旅 ギリシャ⑤ アルゴリス地方」星和夫『日本病院会雑誌』55(10) 1187-1190

「医学史の旅 ギリシャ ティリンス・エビダウロス」星和夫『日本病院会雑誌』55(11) 1359-1362

「医学史の旅 ギリシャ スパルタ・ミストラ」星和夫『日本病院会雑誌』55(12) 1487-1490

38 地方史

「佐賀藩神代家墓所から出土した人骨（英語）（抄）（Human skeletal remains of Kumashiro family in the Saga Domain）」Kuwakubo Y., Sumi K., Nakashima A., Kaburagi M., Takeshita N., Hanihara T.『Anthropological Science』116(3) 251

「医学は長崎から 耳鼻咽喉科（抄）」相川忠臣『耳鼻咽喉科臨床』（補冊121）37

「小城藩蘭方医研究—宮崎玄益・元立，相良柳沢・柳逸—」青木歳幸『佐賀大学地域学歴史文化研究センター研究紀要』（2）59-68

「スロイスの「動物学講義」と D. Lubarsch “Erste Grondbeginsele der Dierkunde (1870)” について」板垣英治『北陸医史』29(1) 34-43

「産婆規則公布以降の産婆の管理—神奈川県を事例にして—（抄）」小川景子『日本医史学雑誌』54(2) 121

- 「明治期の宮城県における看護婦の教育制度と身分法の成立過程 懸立宮城病院附属看護婦養成所開校までの背景」小山田信子, 高橋みや子『日本看護歴史学会誌』(21) 56-67
- 「近世後期京都近郊村落における医師の活動実態—山城国乙訓郡上里村大島家の事例—」尾脇秀和『鷹陵史学会』(34)
- 「琉球の歴史の謎とロマン(抄)」亀島靖『日本小児心身医学会プログラム・抄録集 26回』30
- 「琉球歴史の謎とロマン 健康寿命と命の薬(ぬちぐすい)」亀島靖『日本地域看護学会誌』11(1) 12-14
- 「18世紀の下関医界と香月牛山門の三医について」亀田一邦『日本医史学雑誌』54(1) 39-47
- 「大分蘭学・医学事始」川島真人『CAMPUS HEALTH』45(1) 29-31
- 「1891(明治24)年濃尾地震における日本赤十字社の災害救護活動 岐阜県出張医員の記録史料から」川原由佳里『日本看護歴史学会誌』(21) 46-55
- 「日本精神医学新風土記 新潟県」川室優『臨床精神医学』37(1) 99-105
- 「幕末から明治十年代にかけての秋田のコレラ対策」菊地保男『研究紀要』(14)
- 「日本精神医学新風土記 佐賀県」黒木俊秀『臨床精神医学』37(12) 1609-1613
- 「日本精神医学新風土記 長野県」近藤廉治『臨床精神医学』37(4) 441-455
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 11 大槻玄沢の生地, 一関をたずねて—岩手県一関市—」酒井シヅ『社会保険』(690) 29
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 12 魯迅記念碑, 木村寿禎解剖事跡之碑—宮城県仙台市—」酒井シヅ『社会保険』(691) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 13 日本で最古の大学 曲直瀬道三が学んだ足利学校—栃木県足利市昌平町—」酒井シヅ『社会保険』(693) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 14 古河歴史博物館 古河藩医・蘭方医河川家の医学関係資料の宝庫—茨城県古河市中央町—」酒井シヅ『社会保険』(694) 29
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 15 尾張藩医, 近代植物学の祖伊藤圭介 名古屋市東山植物園伊藤圭介記念室—愛知県名古屋市—」酒井シヅ『社会保険』(695) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 16 壬生町立歴史民俗資料館と「解体正図」を残した斎藤玄昌—栃木県都賀郡壬生町—」酒井シヅ『社会保険』(696) 25
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 17 東京大学医学部最古の建物 東京医学校本館—東京都文京区—」酒井シヅ『社会保険』(697) 38
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 18 小田原の「ういろいろ」(透頂香外郎) 本舗を訪ねて—神奈川県小田原市—」酒井シヅ『社会保険』(698) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 19 杉田玄白ゆかりの地, 若狭小浜—福井県小浜市—」酒井シヅ『社会保険』(700) 27
- 「医のふるさとを訪ねる散歩道 20 帝王切開発祥の地—埼玉県飯能市—」酒井シヅ『社会保険』(701) 27
- 「佐倉と順天堂の人びと(抄)」酒井シヅ『日本医史学雑誌』54(2) 102-103
- 「日本精神医学新風土記 高知県」茂末論理子, 須藤康彦『臨床精神医学』37(10) 1379-1384
- 「福島県ゆかりの医人達」茂田士郎『福島医学雑誌』58(3-4) 213-214, 282-283
- 「戦後沖縄の保健・医療行政 その2—初期軍政下の保健・医療システム—(抄)」杉山章子『日本医史学雑誌』54(2) 125
- 「秋田県の脳卒中危険因子の変遷」鈴木一夫『日本循環器病予防学会誌』43(2) 172-178
- 「伊予宇和島藩の種痘」中川滋木『東京都医師会雑誌』61(4) 458-461
- 「精神病院設立前の洛北岩倉における精神病者の処遇」中村治『精神医学史研究』12(2) 106-112
- 「岡山県における保健婦教育の創設 岡山県女子厚生学院第一期生(第二種)の教育を中心に」二宮一枝『日本看護歴史学会誌』(21) 68-75
- 「戦前の大分県における私宅監置患者の健康状態について(抄)」橋本明, 堀みゆき, 野田武志『日本社会精神医学会雑誌』17(1) 114-115

- 「日本精神医学新風土記 三重県」服部尚史『臨床精神医学』37(7)961-963
- 「語られない歴史—沖縄の保健婦駐在制に埋もれた助産婦の実践—(抄)」東亜紀，丸井英二『日本医史学雑誌』54(2)126
- 「新潟県内の従来家について(抄)」廣瀬秀『日本歯科医史学会々誌』27(4)231
- 「岡山県精神保健福祉センターにおける訪問・往診の歴史と展望(抄)」藤田健三『日本病院・地域精神医学会総会抄録集51回』96
- 「長崎居留地における西洋医学(抄)」ブライアン・パークガフニ『日本臨床内科医会会誌』23(3)281
- 「高岡町に残る江戸後期の医家書簡について(総括)」正橋剛二『北陸医史』29(1)18-30
- 「【高齢者医療と介護 最新エビデンス】住民参加型健康増進活動 香北町健康長寿計画10年のエビデンス」松林公蔵『医学のあゆみ』227(3)159-163
- 「鳴子温泉における温泉医学研究の変遷と今後の展望(抄)」三友紀男『日本温泉気候物理医学会雑誌』72(1)5-7
- 「近代における近江日野売薬の展開と近江商人正野玄三家」本村希代『福岡大学商学論叢』53(2)189-215
- 「大正三年における北部九州および朝鮮・満州地方の売薬商況—滋賀県売薬業組合聯合会「視察調査事項報告書」—」本村希代『福岡大学商学論叢』53(2)217-251
- 「沖縄県の小児医療の変遷と未来への展望(抄)」安次嶺馨『日本小児科学会雑誌』112(7)1163
- 「和歌山県における精神障害者処遇の歴史(2)和歌山県統計資料からの考察」山本明弘，板原和子，志波充『和歌山県立医科大学保健看護学部紀要』4, 69-76
- 「長崎市丸山町にある梅園天神の歯痛狛犬(はいたまこまいぬ)について(抄)」湯浅高行，上瀧口武，屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』27(4)230
- 「埼玉県助産師今昔物語」渡部尚子『日本産科婦人科学会埼玉地方部会会誌』38, 102-114

39 治療史

- 「脊髄結核の治療 歴史的展望と将来の方向性(英語)(抄)(Management of spinal TB: Historical perspective and future directions)」Luk Keith DK『中国・四国整形外科学会雑誌』20(3)320
- 「黎明期のハイパーサーミアの臨床を振り返って(ハイパーサーミアの歴史)(抄)」芥田敬三『Thermal Medicine』24(3)(74)
- 「世界レーザー医学の過去・現在・未来(抄)」渥美和彦『日本レーザー医学会誌』29(3)259
- 「治療の歴史 アルツハイマー病の治療薬」荒井啓行『治療学』42(6)729-731
- 「【少年犯罪・非行と精神療法・その1】犯罪・非行研究の歴史的展望 原因論と精神療法」石川義博『精神療法』34(2)133-141
- 「【C型肝炎の治療 新たな展開】C型肝炎の治療法や対策事業はどのように進歩してきたか インターフェロン治療，リビリン併用療法の歴史的変遷」泉並木『Modern Physician』28(1)5-7
- 「治療の歴史 重症セプシス」射場敏明『治療学』42(12)1415-1419
- 「透析液清浄化の歴史と今後の課題(抄)」内野順司『日本臨床工学技士会会誌』(33)96
- 「森田療法の原点 入院森田療法の歴史と現状 民間病院の立場から」内山彰『日本森田療法学会雑誌』19(1)37-42
- 「HISTORY 白血病治療の歴史(その1) 白血病はいつ頃から知られていたのか」浦部晶夫『BIO Clinica』23(9)859-863
- 「HISTORY 白血病治療の歴史(その2) 初期の化学療法」浦部晶夫『BIO Clinica』23(10)965-968
- 「HISTORY 白血病治療の歴史(その3) 多剤併用療法」浦部晶夫『BIO Clinica』23(14)1316-1320
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史 フリーマーチンから始まった移植研究」太田和夫『透析ケア』14(1)89-91
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史 胎児期の移植がつくる寛容」太田和夫『透析ケア』14(2)188-190

- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史 6-メルカプトプリンを用いた拒絶反応の実験」太田和夫『透析ケア』14(3)296-298
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史 拒絶反応の抑制に挑んだ人々」太田和夫『透析ケア』14(4)405-407
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史 日本初, 急性腎不全患者への腎移植」太田和夫『透析ケア』14(5)516-519
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史 日本初, 慢性腎不全患者への腎移植」太田和夫『透析ケア』14(6)619-621
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史」太田和夫『透析ケア』14(7)736-738
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史 スタートゥル, アメリカ移植医療との出会い」太田和夫『透析ケア』14(8)833-835
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史 異種移植の可能性を求めて」太田和夫『透析ケア』14(9)954-956
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史 臓器保存の試み」太田和夫『透析ケア』14(11)1184-1185
- 「すこし歴史の話をしましょうか 腎移植史 移植医療の未来を模索して」太田和夫『透析ケア』14(12)1277-1280
- 「大槻真一郎, 錬金術を語る 同類・類似療法(ホメオパシー)の話, さらに記号の錬金術的表記法, その他」大槻真一郎『aromatopia』17(6)74-80
- 「治療の歴史 うつ病治療 薬物療法を中心に」大中俊宏『治療学』42(2)213-217
- 「【慢性肝炎 肝がん撲滅をめざした治療法】治療の歴史 C型慢性肝炎治療の変遷」岡上武『治療学』42(1)106-109
- 「分子イメージングの脳卒中治療への応用 脳SPECTの脳卒中への応用の歴史と今後」小笠原邦昭『脳卒中』30(6)825-828
- 「急性血液浄化法の進歩と今後の展望」織田成人『医工学治療』20(4)217-222
- 「癌の粒子線治療・各療法の特徴とその将来を展望する 硼素中性子捕捉療法の歴史と特徴(英語)(抄)(Particle Beam Therapies for Cancer: Advantage of each Treatment and their Future History and Characteristic of Boron Neutron Capture Therapy)」小野公二『日本癌学会総会記事67回』479
- 「【変貌する感染症治療】感染症治療の今昔 一臨床医の見た変遷」加地正郎『臨牀と研究』85(5)645-648
- 「関東の精神障害者施設としての滝治療」金川英雄, 堀みゆき『精神医学研究所業績集』(43)50-58
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望 日本糖尿病療養指導士養成の黎明」北村信一『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』7(3)445-448
- 「【新時代の糖尿病学 病因・診断・治療研究の進歩】序論 糖尿病治療法の歴史」黒瀬健『日本臨牀』66(増刊3 新時代の糖尿病学(1))37-42
- 「【関節リウマチ治療の新たなストラテジー】関節リウマチ治療の歴史」小池隆夫『クリニシアン』55(9)873-877
- 「治療の歴史 肥大型心筋症と拡張型心筋症」古賀義則『治療学』42(4)464-468
- 「【ロクロニウム】ロクロニウム開発の歴史」小竹良文『LiSA』15(1)34-38
- 「逆システム学の窓 薬害C型肝炎の2つの源泉 歴史的な文脈と生物学的な文脈をこえて世界へ貢献を」児玉龍彦『医学のあゆみ』224(10)781-783
- 「【行動療法のおすすめ】認知行動療法の歴史とは?」佐藤豪『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』7(2)186-187
- 「【外科医に必要ながん科学療法の知識】がん科学療法の変遷と今日」設楽紘平, 坂田優『外科治療』98(増刊)437-444
- 「関節リウマチ治療の半世紀の歩み(抄)」七川敏次『中部日本整形外科災害外科学会雑誌』51(春季学会)2
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望 チーム医療はシネマのごとく」清水一紀『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』7(6)916-919
- 「【水中運動療法の歴史的概観】水治療とスパの起源」清水富弘『日本温泉気候物理医学会雑誌』

- 72 (1) 90-91
- 「【血液浄化療法 2009】血液浄化療法の歴史」鈴木正司『腎と透析』65（増刊）17-21
- 「治療の歴史 対人恐怖と社交（社会）不安障害（SAD）」高橋徹『治療学』42 (7) 816-819
- 「【アルツハイマー病の診断と治療】アルツハイマー病の診断と治療 アルツハイマー病の治療・予防法の歴史と将来」武田雅俊『診断と治療』96 (11) 2327-2334
- 「外来森田療法の広がり」立松一徳『外来精神医療』8 (1) 37-43
- 「治療の歴史 更年期障害および閉経後骨粗鬆症の治療とエストロゲン」谷口綾亮，樋口毅，水沼英樹『治療学』42 (8) 936-940
- 「抗精神病薬50年を振り返る 我が国における薬物療法の幕開け Chlorpromazineの導入を中心に」中嶋照夫『臨床精神薬理』11 (3) 511-517
- 「【循環器疾患におけるレーザー治療】レーザー冠動脈形成術の歴史と現況」中村文隆『日本レーザー医学会誌』29 (1) 39-43
- 「森田療法の原点 森田療法の源流を，その成立過程から探る」中山和彦『日本森田療法学会雑誌』19 (1) 19-25
- 「バイオフィードバック療法の概要・歴史的背景」西村千秋『日本医事新報』(4372) 113-114
- 「治療の歴史 脳血管攣縮」端和夫『治療学』42 (10) 1178-1185
- 「青い血のカルテ チャーテル卿の肺炎とペニシリン」早川智『産科と婦人科』75 (1) 96-99
- 「治療の歴史 栄養サポート30年の変遷」東口高志『治療学』42 (3) 331-334
- 「DES, OPCAB時代の成果と課題 DESに至るPCIの歴史と今後の進むべき方向 より良い冠動脈血行再建療法を目指して」平山治雄『日本冠疾患学会雑誌』14 (1) 75-82
- 「脳深部刺激療法 その歴史・現状・未来」深谷親，山本隆充，片山容一『臨床評価』36 (1) 7-16
- 「【臨床催眠の原典】日本における臨床催眠の原典 アカデミズムの枠外で発展した明治時代の臨床催眠の実際」福井義一『臨床催眠学』9, 18-25
- 「【精神科薬物療法のここ10年の変化を検証する】精神科リハビリテーションと薬物療法のharmonization この10年の歩み」前田正治『臨床精神薬理』11 (1) 43-51
- 「UDCA療法の歴史の変遷と投与量」牧野勲『消化と吸収』30 (1) 27-29
- 「糖尿病療養指導士の歴史と展望 まず，糖尿病療養指導士たること」松岡健平『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』7 (4) 596-598
- 「治療の歴史 高齢者肺炎」松本慶蔵『治療学』42 (11) 1283-1287
- 「【皮膚科のPDT光線力学的療法】PDTとは 光線力学的療法（PDT）の歴史」松本義也『Visual Dermatology』7 (8) 842-843
- 「光線力学的療法（PDT）の歴史について（抄）」松本義也『日本皮膚科学会雑誌』118 (1) 47
- 「アロマセラピー 癒しと科学的効果」丸山奈保『ファルマシア』44 (4) 333-338
- 「【糖尿病の成因と治療の進歩】インスリン療法の進歩 アナログ製剤と吸入インスリン」宮川潤一郎，難波光義『BIO Clinica』23 (6) 520-526
- 「本邦における大腸癌治療の進歩と今後の展望（抄）」武藤徹一郎『日本大腸肛門病学会雑誌』61 (9) 577
- 「【わが国におけるフォーム硬化療法の現況と展望】当院における下肢静脈瘤硬化療法の変遷」孟真『静脈学』19 (5) 261-265
- 「コラージェン療法の起源をめぐる諸問題 研究発表の倫理に関する論議に向けて」森谷寛之『遊戯療法学研究』7 (1) 100-105
- 「抗精神病薬50年を振り返る 抗精神病薬療法の現状と将来 統合失調症を中心に」八木剛平『臨床精神薬理』11 (3) 559-569
- 「高気圧酸素療法の歴史的背景」八木博司『福岡県臨床外科医学々会誌』32 (1) 35-42
- 「冠攣縮（スバズム）診療の歴史と現況」泰江弘文『Therapeutic Research』29 (6) 911-924
- 「抗精神病薬50年を振り返る 我が国における薬物療法の幕開け 北海道大学の場合」山下格『臨床精神薬理』11 (3) 505-510
- 「【癌の治療効果と病理組織診断】胃癌・大腸癌の組織学的治療効果判定の歴史と実際」山本智理

- 子, 加藤洋『病理と臨床』26(5)447-453
- 「医療現場で役立つ! 代替・補完療法 ヒーリング」吉江由美子『誌上ナースセミナー』29(1)72-74
- 「治療の歴史 消化管腫瘍に対する内視鏡治療」吉田茂昭『治療学』42(9)1059-1065
- #### 40 伝記
- 「ドクター・アイゼンバルトは名医だったのか? (抄)」別部智司, 三浦一恵, 山崎ひろ子, 戸出一郎『日本歯科医史学会々誌』27(4)221
- 「ニコラ・アンドリ(1658-1742)の「オルトペディ」について(その二)(抄)」小林晶『日本医史学雑誌』54(2)140
- 「Gabriel Anton(1858-1933)と消された業績」田村直俊『神経内科』68(4)403-408
- 「池田謙斎宛ドイツ留学生からの手紙」酒井シヅ『杏雨』(11)299-319
- 「長崎医学専門学校精神科初代教授 石田昇千志の悲劇物語」河部康男『日本医学切手友の会 STETHOSCOPE』(193)3-13
- 「【感染症とたたかう 薬学の挑戦】ハンセン病と闘った薬学者 石館守三」湯浅洋『ファルマシア』44(1)63
- 「石森国臣先生の履歴と功業」寺畑喜朔『北陸医史』29(1)31-33
- 「科学者のふるさとを訪ねる 第10回 わが国種痘の普及に貢献した蘭学者 伊東玄朴(1800-1871) 佐賀県神崎市 西條敏美『ミクروسコピア』25(3)235-237
- 「京都大学整形外科学教室第三代教授 伊藤弘の事績, 業績」廣谷速人『医譚』(105)5515-5551
- 「京大整形外科伊藤弘の門下生たち」廣谷速人『医譚』(105)5552-5570
- 「青い血のカルテ 今川義元の鉄漿と虫歯」早川智『産科と婦人科』75(6)760-763
- 「幼年期の踏査 アドルフ・ヴェルフリの妄想的自叙伝について」上尾真道『日本病跡学雑誌』(75)45-55
- 「医者も知りたい【医者のはなし】英国外科医ウィリアム・ウィリス(William Willis, 1837-1894) 明治維新時の医学・医療の恩人」木村専太郎『臨床整形外科』43(3)274-277
- 「魔弾の射手 パウル・エールリッヒ その一 色素との出会い」石田三雄『ミクروسコピア』25(3)218-224
- 「魔弾の射手 パウル・エールリッヒ その二 免疫から化学療法へ」石田三雄『ミクロスコピア』25(4)322-328
- 「青い血のカルテ アルゼンチン大統領夫人エビータの子宮頸癌」早川智『産科と婦人科』75(11)1697-1699
- 「アンリ・エランベルジェを再訪する」Micale Mark S., 北中淳子, 江口重幸『精神医学史研究』12(1)8-15
- 「エランベルジェと力動精神医学の歴史 Ellenberger と「小さきもの」への視線」江口重幸『精神医学史研究』12(1)56-63
- 「大隈重信と日本の精神衛生運動(抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』54(1)82-84
- 「大矢全節と大宅文庫(抄)」飯塚修三『医譚』(104)5437
- 「【緒方惟準伝】執筆の基礎資料について(抄)」中山沃『医譚』(104)5440
- 「特別展・蘭方医緒方洪庵と周辺の人々(抄)」小田皓二『医譚』(104)5438
- 「日中医学交流史39. 満々たる医学の道にて半世紀の歩み一岡西為人の生誕百十年祭」郭秀梅『日中医学』23(4)26-28
- 「荻生徂徠の死因(抄)」杉浦守邦『日本医史学雑誌』54(2)154
- 「昭和九年の漢方科標榜運動と奥田謙蔵」秋葉哲生『漢方の臨床』55(11)1696-1704
- 「歯科免許第一号小幡英之助の受験願書 内閣文庫蔵「東京府史料・政治部衛生明治八年」より(抄)」樋口輝雄『日本歯科医師会雑誌』61(5)522
- 「小幡英之介と中津蘭学の系譜(抄)」川島真人『日本口腔腫瘍学会誌』20(3)160
- 「小幡英之助の受験書類について」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』27(4)237-255
- 「貝原益軒 未公開『用薬日記』の養生処方(抄)」

- 山崎光夫『日本医史学雑誌』54(3)303-305
- 「『聖濟総録』から『万安方』へ—梶原性全の偉業—(抄)」三浦一恵，戸出一郎，深山治久『日本歯科医史学会々誌』27(4)224-225
- 「黒田藩鍼医・粕谷仲意とその流儀書について(抄)」長野仁，大浦宏勝『日本東洋医学雑誌』59(別冊)189
- 「荷田春満の死因」杉浦守邦『医譚』(104)5396-5405
- 「勝沼精蔵(1886-1963)日本神経学の開拓者」高橋昭『神経内科』69(2)183-198
- 「勝沼精蔵先生—日本神経学の開拓者(抄)」高橋昭『日本医史学雑誌』54(2)115
- 「科学者のふるさとを訪ねる 第11回 数学で日本女性初の理学博士 桂田芳枝(1911-1980)北海道札幌市」西條敏美『ミクロスコピア』25(4)349-351
- 「亀山美知子と看護歴史研究」福本恵『日本看護歴史学会誌』(21)1-7
- 「河口良庵による外科免許状(田中彌性園収蔵)とその背景について(抄)」W.ミヒェル『医譚』(104)5443-5445
- 「北村元助と動植物学への貢献(その一)」イサベル・田中・ファン・ダーレン『鳴滝紀要』(18)15-28
- 「脳神経外科麻酔の先駆者, Harvey Cushing (Harvey Cushing, a pioneer of neuroanesthesia) (英語)」Molnar Csilla, Nemes Csaba, Szabo Sandor, Fuelesdi Bela『Journal of Anesthesia』22(4)483-486
- 「小石元俊の水軍術伝授とその周辺」亀田一邦『日本医史学雑誌』54(4)325-337
- 「日本漢方古方派の先駆者, 後藤良山の医学にみられる日本的病因論(抄)」須藤美緒，遠藤次郎，中村輝子，鈴木達彦『薬史学雑誌』43(2)218
- 「後藤新平」藤原良雄，塩川正十郎『文』(91)1-11
- 「医者も知りたい【医者のはなし】 ドイツ医学導入の立役者 相良知安(1836-1906)」木村専太郎『臨床整形外科』43(10)1028-1032
- 「日中医学交流史35. 植物・漢方薬の研究者 佐藤潤平—苦難の歳月を越えた輝かしい業績を語る」郭秀梅『日中医学』22(6)30-32
- 「忘れ得ぬ植物・漢方薬の学者—佐藤潤平(抄)」郭秀梅『日本医史学雑誌』54(2)130
- 「青い血のカルテ 真田幸村の赤備えとテストステロン」早川智『産科と婦人科』75(2)236-238
- 「ハインリッヒ・フォン・シーボルトの業績をたどる調査旅行—没後100年を迎えて—」関口忠志『中央史学』(31)
- 「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの生涯とその時代(The life and times of Phillip Franz von Siebold) (英語)(抄)」Thiede Arnulf『日本外科学会雑誌』109(臨増2)60
- 「フォン・ブランデンシュタイン家所蔵, 1826年シーボルト関係書簡の翻刻並びに翻訳」宮坂正英，ベルント・ノイマン，石川光庸『鳴滝紀要』(18)29-62
- 「わが国最古のジェンナー碑(抄)」新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』27(4)208
- 「司馬遼太郎と長崎(抄)」上村洋行『日本外科学会雑誌』109(臨増2)60
- 「下田歌子と看護学の接点 女子教育の学科目に位置づけた「看病法」「看護法」について(抄)」上坂良子『医譚』(104)5440-5441
- 「青い血のカルテ 神功皇后の悪阻」早川智『産科と婦人科』75(8)1020-1023
- 「新宮涼庭の「則」について」中西淳朗『保団連』(962)58-59
- 「『解体新書』はいかにして生まれたか 杉田玄白, その不撓不屈の歩み」酒井シヅ『致知』(396)28-32
- 「済生学舎出身の旧制金沢医科大学学長須藤憲三に関する新事実(抄)」殿崎正明，岩崎一，志村俊郎，唐沢信安『日本医史学雑誌』54(2)148
- 「関場不二彦の二つの胸像(抄)」菊田道彦，島田保久，長瀬清『薬史学雑誌』43(2)203
- 「高尾篤良教授追悼講演(The Takao Memorial Lecture) (英語)(抄)」Clark Edward B.『日本小児循環器学会雑誌』24(3)246
- 「宮崎の歴史と高木兼寛の功績(抄)」田代学『西日本皮膚科』70(3)330
- 「明治を駆けた麦飯男爵」山崎洋次『日本腹部救急医学会雑誌』28(7)873-881

- 「高木兼寛の健康教育観に関する研究(第3報)―臨時教育会議での師範教育・実業教育改善に関する発言内容から―(抄)」平尾真智子, 芳賀佐和子, 蝦名總子『日本医史学雑誌』54(2)119
- 「命世の才 高野長英(抄)」佐藤秀昭『岩手県立病院医学会雑誌』48(2)135-136
- 「医者も知りたい【医者のはなし】 肥後熊本藩医・熊本最初の種痘施行者 高橋春圃(1805-1868)」木村専太郎『臨床整形外科』43(8)802-805
- 「ニューオリンズの思い出 高峰讓吉青春の家」山本紳『ミクロスコピア』25(2)120-121
- 「高山紀斎の渡航時期について(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』27(4)203
- 「足で探った田原淳のマールブルグでの住まい」河野宏『ミクロスコピア』25(4)340-344
- 「田原の原著からみる知られざる業績(抄)」島田達生『日本医史学雑誌』54(2)146
- 「血闘守之助「次回国際歯科医学会議を日本に開催せんとする希望に対する意見書」(昭和6年2月)から(抄)」山口秀紀, 石橋肇, 鈴木正敏, 渋谷鉦, 谷津三雄『日本歯科医師会雑誌』61(5)523
- 「青い血のカルテ ドラキュラ伯爵と狂犬病」早川智『産科と婦人科』75(10)1309-1311
- 「中川米造「医学概論」・受講記(その1)」後藤幸一『医学史研究』(90)7-11
- 「中島宗仙の「筑紫行雜記」について一文政二年一医師の長崎遊学日記―」中島洋一, 松村紀明『日本医史学雑誌』54(4)387-391
- 「中島友玄の京都遊学日記(一)」中島洋一『医譚』(105)5571-5575
- 「長与専斎と二見海水浴場(抄)」西井易穂『日本医史学雑誌』54(2)117
- 「科学者のふるさとを訪ねる 第8回 世界初のナイチンゲール記章を受章 萩原タケ(1873-1936) 東京都あきる野市五日市 西條敏美『ミクロスコピア』25(1)58-60
- 「橋本宗吉(曇斎)の西洋医事集成宝鑑とエレキテルについて(抄)」渡部幹夫『日本医史学雑誌』54(2)105
- 「「狂犬病」撲滅の立役者 原田雪松」四宮義和『大塚薬報』(637)4-15
- 「原老柳死亡前後の動向について」古西義磨『医譚』(104)5406-5411
- 「原老柳没前後の動向について(抄)」古西義磨『医譚』(104)5437-5438
- 「John Hunter「補遺」について(抄)」水谷惟紗久『日本医史学雑誌』54(2)142
- 「ピネルとイデオロジー 人間科学と狂気(抄)」上尾真道『精神医学史研究』12(1)71
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 ヒポクラテス医学との出会い」中島旻保『治療』90(1)179-183
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 「医学の父」と崇められたわけ」中島旻保『治療』90(2)405-409
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 ヒポクラテスが日本医学に与えた影響」中島旻保『治療』90(3)618-622
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 宗教医学から自然医学に与えた影響」中島旻保『治療』90(4)1605-1610
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 自然哲学から生まれたヒポクラテス医学」中島旻保『治療』90(5)1821-1825
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 古来の医術」中島旻保『治療』90(6)2006-2011
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 体液」中島旻保『治療』90(10)2745-2750
- 「ヒポクラテスが教える病名のない病理学 ヒポクラテス安息の地と医神アスクレピオスの誕生の地を訪ねて」中島旻保『治療』90(11)2974-2980
- 「中世の医学者アルナウ・ダ・ピラノバ」泉彪之助『日本医史学雑誌』54(3)249-258
- 「Gheel研究(その8)精神科医パークレー=ヒルと英国植民地インド(抄)」橋本明『精神医学史研究』12(1)72-73
- 「「ビルロート教授の教育」再訪(抄)」小川道雄『日本消化器外科学会雑誌』41(7)966
- 「Faget博士の業績と思い(抄)」菊池一郎『西日

- 本皮膚科』70(2)235-236
- 「フーフランドの「医戒」から引用した校是「克己殉公」を実践した小此木信六郎（抄）」岩崎一，殿崎正明，志村俊郎，唐沢信安『日本医史学雑誌』54(2)150
- 「医者も知りたい【医者のはなし】オランダ人・プールハーフェ（1668-1738）Hermann Boerhaave 臨床医学・ベッドサイド教育の父」木村専太郎『臨床整形外科』43(1)52-54
- 「【催眠と臨床応用】日本の催眠研究の草創期 福来友吉の催眠研究を中心に」小泉晋一『臨床心理学』8(5)668-673
- 「藤浪剛一が日本最初の放射線科教授になるまで」大場覚『日独医報』53(3-4)465-474
- 「天平時代の精神医学 藤原宮子の憂鬱（抄）」鈴木英鷹，本多義治，本多秀治『精神医学史研究』12(1)67
- 「人・土地・業績 Edward Flatau（1868-1932）とドイツ語圏の片頭痛研究 経歴と業績」田村直俊，荒木信夫，山元敏正，中里良彦，糸川かおり『神経内科』69(4)394-398
- 「イェナ大学の名を高めた脳波の発見者ハンス・ベルゲル」岡田昌義『ミクروسコピア』25(1)48-50
- 「ベルツ博士の関西歴訪（抄）」山上勝久『医譚』(104)5436-5437
- 「ドイツ語圏における片頭痛研究の祖 Emil Heinrich du Bois-Reymond（1818-96）」田村直俊，荒木信夫，山元敏正，中里良彦，糸川かおり『神経内科』69(3)295-300
- 「青い血のカルテ 北条早雲の長寿と知能指数」早川智『産科と婦人科』75(5)620-623
- 「【解剖学の歴史と用語をめぐる】ボンベの解剖学教育」小路武彦，相川忠臣『解剖学雑誌』83(4)101-104
- 「前野良沢と中津蘭学（抄）」川島真人『解剖学雑誌』83(Suppl.)68
- 「松本順の医学関連資料（抄）」寺畑喜朔『日本医史学雑誌』54(2)110
- 「間宮林蔵の死因」杉浦守邦『啓迪』(26)8-20
- 「本邦初の頭部単純レントゲン撮影を行った済生学舎教師の丸茂文良医学士（抄）」志村俊郎，唐沢信安，殿崎正明，岩崎崎一『日本医史学雑誌』54(2)145
- 「円山応挙の死因」杉浦守邦『医譚』(105)5496-5503
- 「円山応挙の死因（抄）」杉浦守邦『医譚』(104)5434-5435
- 「「死せる孔明 生ける仲達を一丸山博先生13忌によせて」神谷昭典『医学史研究』(90)表2
- 「科学者のふるさとを訪ねる 第9回 28歳で没した日本初の眼科女医 右田（みぎた）アサ（1871-1898）東京都北区田端 西條敏美『ミクロスコピア』25(2)151-153
- 「箕作阮甫の西洋史著訳を巡って一なぜ古代に次ぎナポレオン時代かなど一」野村正雄『一滴』(15)
- 「青い血のカルテ 源頼朝と歯周病」早川智，宮田隆『産科と婦人科』75(12)1820-1824
- 「人・土地・業績 イタリア神経学の巨人 Giovanni Mingazzini（1859-1929）」田村直俊『神経内科』69(6)601-606
- 「森鷗外と医学留学生たち 第4回 日本近代医学の源流 森鷗外と北里柴三郎（下）」山崎光夫『大塚葉報』(632)40-43
- 「森鷗外と医学留学生たち 第5回 日本近代医学の源流 森鷗外と山根正次」山崎光夫『大塚葉報』(633)38-41
- 「森鷗外と医学留学生たち 第6回 日本近代医学の源流 森鷗外と中浜東一郎」山崎光夫『大塚葉報』(634)38-41
- 「森鷗外と医学留学生たち 第7回 日本近代医学の源流 森鷗外と片山國嘉」山崎光夫『大塚葉報』(635)40-43
- 「森鷗外と医学留学生たち 第8回 日本近代医学の源流 森鷗外と浜田玄達」山崎光夫『大塚葉報』(636)38-41
- 「森鷗外と医学留学生たち 第9回 日本近代医学の源流 森鷗外と加藤照磨」山崎光夫『大塚葉報』(637)50-53
- 「森鷗外と医学留学生たち 第10回-11回 日本近代医学の源流 森鷗外と武嶋務（上）（下）」

- 山崎光夫『大塚薬報』(638-639)46-49, 38-41
- 「森鷗外と医学留学生たち 第12回 日本近代医学の源流 森鷗外と谷口謙」山崎光夫『大塚薬報』(640)40-43
- 「森鷗外と医学留学生たち 第13回 日本近代医学の源流 森鷗外と江口襄」山崎光夫『大塚薬報』(641)38-41
- 「【解剖学の歴史と用語をめぐる】森於菟が台湾に残した解剖学の足跡」森千里『解剖学雑誌』83(4)117-121
- 「【解剖学の歴史と用語をめぐる】森於菟が台湾に残した解剖学の足跡(抄)」森千里『解剖学雑誌』83(Suppl.)87
- 「日本大学学祖山田顕義伯爵の歯科所見について(抄)」工藤逸郎, 小室歳信, 三宅正彦, 見崎徹, 佐藤茂『日本歯科医師会雑誌』61(5)522
- 「放射能研究に殉じた山田延男の生涯(第3報)一日仏修好通商条約150周年に因んで」山田光男『薬史学雑誌』43(1)12-15
- 「生体実験を拒否した生理学者 横山正松」末永恵子『日本医史学雑誌』54(3)239-248
- 「破傷風ワクチンを開発した獣医師G・ラモン」海老沢功『日本獣医師会雑誌』61(1)27-29
- 「Ludwik Rydygier 近代外科手術の貢献者(英語)(Ludwik Rydygier: contributor to modern surgery)」Pach Radslaw, Orzel-Nowak Anita, Scully Thecla『Gastric Cancer』11(4)187-191
- 「超音波画像診断法を開発した和賀井敏夫(1924~)」酒井シヅ『Mamma』(59)表2
- 「江戸時代の女性医師(二)一眼科医・俳諧師 度會園一」太田妙子『医譚』(105)5504-5514
- 41 伝記(双)**
- 「江戸時代の女性医師 稲井静庵・松岡小鶴・高場乱」太田妙子『医譚』(104)5388-5395
- 「アンドレアス・ヴェサリウスとフィレンツェ公コジモ・ディ・メディチ(抄)」泉彪之助『日本医史学雑誌』54(2)139
- 「佐藤泰然一族とヘボン(抄)」高安伸子『日本医史学雑誌』54(2)111
- 「日向薬事始め(その6)一日向出身の, シーボルトとボンベ門下生およびその周辺一(抄)」山本郁男, 井本真澄, 宇佐見則行, 岸信行『薬史学雑誌』43(2)216
- 「シーボルトの門人・交友者」扇浦正義『鳴滝紀要』(18)63-74
- 「ジャストロー, ミュンスターバーグの日本における紹介(抄)」安齊順子『精神医学史研究』12(1)73
- 「日向薬事始め(その4) 延岡藩侍医, 白瀬道順と白瀬永年」山本邦男, 宇佐見則行, 井本真澄, 岸信行『九州保健福祉大学研究紀要』(9)169-175
- 「新刊の医家肖像集(杏雨書屋)(抄)」天野陽介, 町泉寿郎, 小曾戸洋『日本医史学雑誌』54(3)308-309
- 「Biometrics と DSMs Zubin J と Spitzer RL(抄)」迎豊『精神医学史研究』12(1)70
- 「Biometrics と DSMs Zubin と Spitzer」迎豊『精神医学史研究』12(2)113-130
- 「『ドンキホーテ』に描かれる医者について(抄)」小曾戸明子『医譚』(104)5452-5453
- 「歯科黎明期における中村正修と一井正典(抄)沙織」松本晋一, 渋谷敦『日本歯科医師会雑誌』61(5)522
- 「星一と宮家の交際」三澤美和『薬史学雑誌』43(1)95-100
- 「近代西洋医学教育の父ボンベ・ファン・メールデルフォールトと弟子達(抄)」相川忠臣『日本法医学雑誌』62(1)33
- 「消毒法を発明した Joseph Lister (1827-1912) とドイツの外科医 Richard von Volkmann (1830-1889)」酒井シヅ『Mamma』(60)表2
- 「魯迅が『藤野先生』に書かなかったこと(抄)」坂井建雄『日本医史学雑誌』54(1)80-81
- 42 伝染病・防疫史・感染症史**
- 「日本の非感染性疾患についての疫学の小史 Part 3 栄養失調 (Short History of Epidemiology for Noninfectious Diseases Japan: (Part 3) Nutritional Dystrophia) (英語)」Aoki Kunio『Journal of Epidemiology』18(2)45-57

- 「中国北東部における細菌性赤痢と気象要因 分類ツリーおよび回帰ツリーに基づく歴史的考察（英語）(Bacillary Dysentery and Meteorological Factors in Northeastern China: a Historical Review Based on Classification and Regression Trees)」Guan Peng, Huang Desheng, Guo Junqiao, Wang Ping, Zhou Baosen 『Japanese Journal of Infectious Diseases』 61 (5) 356-360
- 「わが国の結核対策の現状と課題 わが国の結核対策の歩み」青木正和『日本公衆衛生雑誌』 55 (9) 667-670
- 「医史資料 無菌生物と医学 宮川正澄先生の研究を中心として」岸本英正, 田嶋基男, 小林周, 柴田勲, 宇野裕『現代医学』 56 (1) 217-235
- 「感染症医史 疫病から伝染病へ, さらに感染症へ」木村丹『感染と抗菌薬』 11 (3) 318-320
- 「感染症医史 化学療法薬開発の黎明」木村丹『感染と抗菌薬』 11 (4) 417-419
- 「マラリアはローマの友達 中世ヨーロッパに影響を落とした2つの感染症」小長谷正明『日本臨床内科医会誌』 22 (5) 517-527
- 「HIV 感染症治療の最前線 日本のエイズの歴史を振り返る 地方都市広島の窓から (抄)」高田昇『感染症学雑誌』 82 (5) 514-515
- 「近世・近代移行期における伝染病対策」竹原万雄『歴史』 (111) 28-52
- 「滋賀県彦根市における戦後のマラリア撲滅運動 「医師親子」のリーダーシップ (抄)」田中誠二, 山口忍, 土屋基, 丸井英二『順天堂医学』 54 (4) 546
- 「彦根市のマラリア対策—小林郁と小林弘の役割— (抄)」田中誠二, 杉田聡, 森山敬子, 丸井英二『日本医史学雑誌』 54 (2) 127
- 「高病原性鳥インフルエンザの発生とヒト感染の現状」塚本健司『日本獣医史学雑誌』 (45) 112-114
- 「わが国初の狂犬病人体用ワクチン開発の経緯」唐仁原景昭『日本獣医史学雑誌』 (45) 90-102
- 「歴史を楽しむ 近代医療を支えるものは何か 病原微生物学の誕生」森昌彦『歯科医療』 22 (4) 83-100
- 「感染症 今月の話題 レトロなウイルスにモダンな発見〜レトロウイルスとの戦いと共存こそ進化の歴史なり!」森内浩幸『小児科臨床』 61 (6) 1241-1248
- 「らい予防法下のハンセン病患者への生活支援 国立療養所におけるケースワーク事例を通して」守本友美『社会福祉学』 49 (3) 70-80
- 43 東洋医学史・伝統医学史**
- 「『方函類聚』の処方 眼疾 (2)」足立秀樹『漢方療法』 11 (11) 898-901
- 「江戸期の経穴学工具書について (抄)」天野陽介, 小林健二, 石野尚吾, 花輪壽彦『日本医史学雑誌』 54 (2) 134
- 「足三里穴の治験例 (抄)」池田啓二『全日本鍼灸学会雑誌』 58 (1) 130-131
- 「脈診を通してみた日中伝統医学」石原克己『日本統合医療学会誌』 1 (1) 64-70
- 「心膜に関する中井履軒の草稿断片について」井上了『医譚』 (104) 5381-5387
- 「漢方医の診察位置」入江祥史『日本医事新報』 (4380) 95-96
- 「【現代に蘇える漢方療法】原著『保嬰撮要』から考える抑肝散の新しい展開」岩崎鋼『Geriatric Medicine』 46 (3) 225-227
- 「江戸時代における鍼灸医学—その思想の沿革— (抄)」Vigouroux MATHIAS『日本医史学雑誌』 54 (1) 74-76
- 「雷火鍼法について (抄)」上田善信『日本医史学雑誌』 54 (2) 132
- 「杉山硫家譜 杉山流の系譜と伝授方式を開示した新資料 (抄)」大浦宏勝, 長野仁, 石野尚吾, 花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』 59 (別冊) 190
- 「刺絡鍼法の現状と課題 刺絡の歴史, 治療効果および普及活動を検討する」大貫進, 勅使河原悦司, 楠本淳, 南利雄『東洋医学鍼灸ジャーナル』 3, 5-23
- 「続・『宋以前傷寒論考』麻黄細辛附子湯の来源」岡田研吉『中医臨床』 29 (4) 573-579
- 「随想老年医学 養生訓の今昔」小澤利男『Geriatric Medicine』 46 (1) 73-76

- 「刺激と生体反応 自然療法を分析する 東洋医学の鍼刺激を考える」加瀬建造『手技療法』16(8) 36-41
- 「東洋伝承医学研究所におけるアーユルヴェーダ教育の歴史とアーユルヴェーダ学会資格制度について」加藤幸雄『アーユルヴェーダ研究』(37) 69-71
- 「東洋における心身医学療法 インド五千年の智慧 ヨーガ療法」木村宏輝『心身医学』48(1) 37-44
- 「【中国における薬事審査の事情】中国の中薬製剤の歴史、現状と展望」黄静『日中医学』22(5) 16-22
- 「古医書のはなし シルクロードと敦煌文書(その2)-(その4)」小曾戸洋『北里大学東洋医学総合研究所漢方と鍼』32(2-4) 2, 3, 2
- 「医書における「鬼(神)」について—諸子との比較を含めて—」小高修司『日本医史学雑誌』54(3) 265-274
- 「『大同類聚方(寮本・延喜本)』に見える古代の医術(抄)」後藤志朗『日本医史学雑誌』54(2) 152
- 「『決脈精要』の考察(抄)」木場由衣登『日本医史学雑誌』54(2) 137
- 「延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髓『大同類聚方』にみた「常陸国所伝方」(1)-(2)」齋藤匡男『漢方の臨床』55(11-12) 1755-1760, 1918-1922
- 「江戸の鍼灸と養生(座談会)」酒井シヅ, 東郷俊宏, 小林健二『医道の日本』67(5) 11-21
- 「「瓊玉膏」渡来の歴史的考察 朝鮮通信使と江戸幕府との関係(抄)」佐藤大輔, 宮原桂, 伏谷加奈子, 水原浩, 熊谷由紀絵, 小菅孝明『日本東洋医学雑誌』59(別冊) 190
- 「漢方医学の歴史と現在—そしてエビデンスへの取り組み」嶋田豊『アーユルヴェーダ研究』(37) 95-98
- 「古代中国の厨房 皇帝の医食同源(抄)」鈴木輝康『医譚』(104) 5449-5451
- 「【代替医療を知らう】レイキ療法 明るい, 軽い, 温かいエネルギー」高木明『臨床看護』34(10) 1466-1470
- 「【統合医療への期待 21世紀の予防医学と健康づくり】わが国における伝統医学と医療の歴史」瀧澤利行『公衆衛生』72(2) 99-102
- 「【代替療法の実践と効果】看護とよりよい人生のために レイキの活用」竹内香織『がんけあナビ』1(6) 83-88
- 「『医説』巻第二・鍼灸の典拠について(抄)」田中利江子, 橋本典子『日本医史学雑誌』54(2) 162
- 「『名家灸選』所収の隔物灸(抄)」鶴田泰平『日本医史学雑誌』54(2) 133
- 「古記録の鍼灸—鎌倉時代・近衛家二代の日記より—(抄)」寺川華奈『日本医史学雑誌』54(2) 128
- 「日中医学交流史 34. 中国按摩の伝来と日本按摩の発祥」陶惠寧『日中医学』22(5) 26-29
- 「日中医学交流史 37-38. 端午の節句・菖蒲(上)(下)」陶惠寧『日中医学』23(2-3) 26-29, 30-33
- 「江戸期における鍼灸の教育と伝承」東郷俊宏『社会鍼灸学研究』(2) 1-4
- 「中国明代までの症状と脈状(抄)」中川俊之『日本医史学雑誌』54(2) 136
- 「東洋医学講座 鍼灸医学を中心に—日本における灸治療」仲西宏元『看護教育』49(3) 254-259
- 「「意斉流針書」の腹位図と五行説」長野仁『鍼灸Osaka』24(1) 1-7
- 「『医法書』収載の鍼穴図と灸穴図 江戸期における鍼と灸の使い分け」長野仁『鍼灸Osaka』24(2) 227-232
- 「日本鍼灸を求めて—良い手・良い鍼・良い文献—」ハラノムシで鍼灸史を再構築」長野仁『東洋医学鍼灸ジャーナル』4, 41-61
- 「もう1つのハラノムシ図鑑 「五臓之守護并虫之図」について」長野仁『鍼灸Osaka』24(3) 355-361, 237-240
- 「『戴曼公唇舌図訣』の思想について(抄)」西巻明彦『日本医史学雑誌』54(2) 158
- 「古典文献にみられる舌診の思想(抄)」西巻明彦『日本歯科医師会雑誌』61(5) 522
- 「古代文明発祥の地で学んだ伝統医学とプライマリ・ケア—古代エジプト医学とユナニ医学」美甘克明『こころと文化』7(1) 76-86
- 「民族生薬医療の統合医療への貢献」廣瀬輝夫『日本統合医療学会誌』1(1) 23-27

- 「鍼灸と自然治癒力の出逢いをめぐって 江戸の養生書『病家須知』が告げるもの」松田博公『全日本鍼灸学会雑誌』58(2)156-165
- 「【心身症】動物ストレッチングの源流と展開 華佗の五禽戯を中心に」三浦國雄『鍼灸Osaka』24(3)331-335
- 「漢薬「釣藤鈎」の薬用部位に関する史的考察」御影雅幸，遠藤寛子『日本東洋医学雑誌』59(1)25-34
- 「漢薬「釣藤鈎」の薬用部位に関する史的考察（第2報）薬用部位によるアルカロイド含量の相違」御影雅幸，遠藤寛子，香月茂樹，垣内信子『日本東洋医学雑誌』59(2)279-285
- 「江戸前期の医学辞典における収録病證の変遷（抄）」永嶋泰玄，岩田源太郎，大井康敬，杉浦雄『日本医史学雑誌』54(2)163
- 「穴位療法の基礎 鍼・灸・刺絡 上古4刺法体系とその復元」光藤英彦『日本東洋医学雑誌』59(2)233-247
- 「『洪氏集驗方』の鍼灸について（抄）」宮川隆弘『日本医史学雑誌』54(2)135
- 「医療現場で役立つ代替・補完療法 ナースが行うアロマセラピー」宮里文子『誌上ナースセミナー』29(10)75-79
- 「続漢方あらかると 建殊録を抄録する（その11）」村木毅『漢方療法』11(11)916-923
- 「臨床鍼灸師のありかた 過去・現在・未来 田代文彦先生が教示された鍼灸師像」山田勝弘『臨床針灸』21(3)13-26
- 「資料でたどる鍼灸治療穴史 肩こり(1)-(2)」山本徳子『医道の日本』67(6-7)162-164, 184-185
- 「資料でたどる鍼灸治療穴史 腰痛(3)-(4)」山本徳子『医道の日本』67(2-3)162-163, 216-219
- 「中国鍼灸史ものがたり 鍼灸師の官が設置されたのは唐代」山本徳子『医道の日本』67(4)224-226
- 「中国鍼灸史ものがたり『黄帝内経』—『靈枢経』と『鍼経』」山本徳子『医道の日本』67(11)182-185
- 「ドキュメンタリー 近代鍼灸史(1)-(5)」油井富雄『東洋医学鍼灸ジャーナル』1-5, 97-100, 61-63, 81-83, 69-71, 95-97
- 「明治～第二次世界大戦の鍼灸教育」横山浩之『社会鍼灸学研究』(2)5-11
- 「道教と中国伝統医学（第28回黄庭経）（抄）」吉元昭治『日本医史学雑誌』54(2)151
- 「舌診の臓腑配分の歴史変遷について（抄）」李強，于恵『全日本鍼灸学会雑誌』58(3)420
- 「舌診の臓腑配分の歴史変遷について（抄）」李強，于思『全日本鍼灸学会雑誌』58(1)125
- 「日中医学交流史36. 病氣と日本の漢方—医史学と漢方医学の視点から—」魯紅梅『日中医学』23(1)26-29

44 内科史

- 「ホルモンの歴史 副甲状腺研究の歴史」池田恭治『Medical Science Digest』34(3)96-98
- 「内分泌学 その歴史から未来の展望へ（抄）」井村裕夫『日本内分泌学会雑誌』84(3)789
- 「Vasopressin 研究の歴史 基礎と臨床（抄）」木村時久『日本内分泌学会雑誌』84(1)131
- 「後世に残すわが国の腎臓病学 泌尿器科学と腎臓病学との接点」小磯謙吉『腎臓』31(1)62-66
- 「日本における血液学の流れ」柴田昭『臨床血液』49(10)1483-1489
- 「インターネットでみる『呼吸器』呼吸前史 19世紀までの科学の歴史から」諏訪邦夫『呼吸』27(4)422-424
- 「【神経ペプチド】神経ペプチド研究の歴史と展望」高橋良斉，加藤進昌『分子精神医学』8(3)198-203
- 「医学史の表と裏 ビタミン学の初め」橋正道『ミクروسコピア』25(2)94-98
- 「【乳頭括約筋機能から治療を見直す】乳頭括約筋機能研究の歴史の変遷」田中雅夫『胆と膵』29(9)803-807
- 「Hallervorden-Spatz病の発見 原著の要旨とその歴史的意義」田村直俊，山元敏正，中里良彦，糸川かおり，島津邦男『神経内科』68(2)205-211
- 「人・土地・業績 Hallervorden-Spatz病の発見 HallervordenとSpatz」田村直俊，山元敏正，中里良彦，糸川かおり，島津邦男『神経内科』68(1)

106-111

- 「ホルモンの歴史 副腎ホルモンの研究の歴史」
名和田新『Medical Science Digest』34(7) 288-291
- 「ホルモンの歴史 成長ホルモン研究の歴史」肥
塚直美『Medical Science Digest』34(5) 176-178
- 「血液今昔物語 血液病 原典・現点 赤芽球癆」
吉田彌太郎『血液フロンティア』19(1) 126-130
- 「【再生医療とアンチエイジング】アンチエイジ
ングの歴史と展望」米井嘉一『医学のあゆみ』
224(7) 501-504

45 皮膚科史

- 「Nikolskiy 徴候の再見 (Nikolskiy's sign revisited)
(英語)」Juneja Manish『Journal of Oral Science』
50(2) 213-214
- 「【毛髪治療パーフェクトガイド】男性型脱毛に於
ける毛髪移植術の歴史と進歩について 毛髪再
建の変遷」江崎哲雄『PEPARS』(19) 1-8
- 「【日常診療の疑問を解決しよう!】そこが知りた
い皮膚科の疑問 図譜とムラージュ 土肥慶蔵
著『日本皮膚病梅毒図譜』角田孝彦『Visual
Dermatology』7(2) 190-191
- 「【皮膚疾患とアフェレシス】皮膚科アフェレシス
30年の歩み」山田裕道『日本アフェレシス学
会雑誌』27(2) 111-116

46 泌尿器科史

- 「泌尿器学ことはじめ 尿の検査 (5)-(11)」折
笠精一『泌尿器外科』21(1-7) 69-75, 163-169,
491-496, 627-633, 725-731, 839-846, 931-937
- 「泌尿器学ことはじめ 尿の検査 (12)-(15)」折
笠精一『泌尿器外科』21(9-12) 1299-1306, 1399-
1406, 1521-1526, 1607-1612
- 「環状切除術の歴史と包皮の意義(抄)」島田憲次,
松本富美, 松井太, 小原崇『日本小児泌尿器科
学会雑誌』17(1) 44
- 「環状切除術の歴史と包皮の役割」島田憲次, 松
本富美, 松井太, 小原崇『日本小児泌尿器科学
会雑誌』17(2) 120-123

47 病院史

- 「病院史から見える英国社会—産業革命から今日に
至るまで—」J・V・ピックストン『佐賀大学地
域学歴史文化研究センター研究紀要』(2) 37-45
- 「病院医療の歴史的始原補遺(抄)」亥口勝彦『医
譚』(104) 5435-5436
- 「小規模病棟の歴史及び開設準備, 運営経過のま
とめ 平成20年2月29日」奥山修『大阪府立
精神医療センター紀要』18, 17-26
- 「戦後廃院となった東京の私立精神科病院(抄)」
金川英雄, 橋本明, 中村治, 兵頭晶子, 堀みゆ
き『精神医学史研究』12(1) 64
- 「衛戍病院精神病室の果たした役割(抄)」金川英
雄, 堀みゆき『精神医学史研究』12(1) 64-65
- 「1893(明治26)年当時の衛戍病院癲狂室の構造
や病床数について(抄)」近藤等『精神医学史
研究』12(1) 65
- 「【精神科病院のこれからを考える】日本の精神科
病院の軌跡を振り返る 千葉病院40年の体験
から」仙波恒雄『心と社会』39(2) 15-20
- 「精神科病院における長期入院について考える 国
見台病院の歴史から(抄)」角田美穂, 大室規
幸, 松村亜紀子, 安田重, 鈴木伸子他『精神神経
学雑誌』110(2) 145
- 「労災病院と薬剤部の変遷」藤井広久『薬史学雑
誌』43(1) 84-90
- 「周産期医療のRegionalizationとStandardization 聖
マリア病院の歴史的变化とその現状(抄)」古
川亮, 吉本裕良, 小池敬義, 首藤紳介, 城戸康
宏, 橋本崇, 浦部大策『日本未熟児新生児学会
雑誌』20(3) 491
- 「アトキンソン・モーリー病院の創設と発展(抄)」
柳澤波香『日本医史学雑誌』54(2) 144

48 病跡学

- 「柴田桓要と精神科病院黎明期(抄)」金川英雄,
堀みゆき『日本病跡学雑誌』(76) 115
- 「中村古峽と彼を突き動かした創造性(抄)」堀み
ゆき『日本病跡学雑誌』(76) 115

49 病理学史

「図と表で理解する脳腫瘍病理の鑑別診断 脳腫瘍病理の歴史 脳腫瘍分類の歴史」河本圭司『脳神経外科速報』18 (11) 1366-1368

50 風俗史

「いれずみ物語 21 唐獅子牡丹」小野友道『大塚薬報』(632) 45-47

「いれずみ物語 22 蜘蛛のいれずみー「さがり蜘蛛」と「のぼり蜘蛛」ー」小野友道『大塚薬報』(633) 43-45

「いれずみ物語 23 絵身いれずみーその極みは Mimi-nashi Hoichi ー」小野友道『大塚薬報』(634) 43-45

「いれずみ物語 24 スポーツ選手のいれずみー吉葉山の覚悟ー」小野友道『大塚薬報』(635) 73-75

「いれずみ物語 25 ベルツのいれずみーいれずみは着物であるー」小野友道『大塚薬報』(636) 43-45

「いれずみ物語 26 戦国時代のいれずみー島津勢 500 余人，討死前夜その腕にいれずみー」小野友道『大塚薬報』(637) 47-49

「いれずみ物語 27 ステイグマとしてのいれずみーアウシュヴィッツの囚人番号ー」小野友道『大塚薬報』(638) 43-45

「いれずみ物語 28 梅のいれずみー篤志解剖第一号 遊女美幾ー」小野友道『大塚薬報』(639) 43-46

「いれずみ物語 29 いれずみは他人の手を借りた自傷行為ー THE ILLUSTRATED MUM の場合ー」小野友道『大塚薬報』(640) 44-46

「いれずみ物語 30 終回 文身文化ー白川静の漢字の世界ー」小野友道『大塚薬報』(641) 43-45

51 仏教医学史

「室町～江戸期の眼科書に見られる仏教医学の影響（抄）」上妻加奈，遠藤次郎，中村輝子，鈴木達彦『薬史学雑誌』43 (2) 220

52 法医学史

「法医学の実証性と方法」磯部一郎『現代医学』56 (2) 307-316

「国家医学と司法精神医学 国政医学と国家医学；江口襄の論説の分析（抄）」影山任佐『精神医学史研究』12 (1) 69

「死亡診断書の作成は文献でどのように説明されているか 原死因とその関連用語を中心に」鈴木廣一，西尾元，福西新弥，佐藤貴子『法医学の実際と研究』(51) 245-253

「日本における犯罪学の歴史と動向 法医学 我が国の法医学の歴史の変遷と展開（その1）-（その2）」高取健彦『犯罪学雑誌』74 (4-5) 122-133, 148-160

「乱用薬物の毛髪分析」中島憲一郎『分析化学』57 (10) 783-799

「血液型の発見と輸血，その後の遺伝子鑑別などの発展」堀口定昭，松田圭二，高田忠敬『帝京医学雑誌』31 (1) 1-7

53 放射線医学史

「マイクロビーム放射線学の世界的動向 イオン化放射線マイクロビームを用いた放射線生物学研究の歴史と発展（英語）（抄）（Progress in microbeam radiobiology in the world, The history and development of radiobiology research using ionizing radiation microbeams）」Michael Barry D.『日本放射線影響学会大会講演要旨集 51 回』47

「京都大学放射線生物研究センターにおける共同利用研究 放射線生物研究センターと放射線生物研究連絡会議の歴史（抄）」大西武雄『日本放射線影響学会大会講演要旨集 51 回』78

「定位放射線治療 最新動向 定位放射線治療の歴史と現況」小林達也『医学のあゆみ』224 (8) 642-648

「頭頸部 3D-CT Angiography (3D-CTA) における三次元画像作成の変遷」平野透『北海道放射線技術雑誌』(68) 51-58

「歴史を楽しむ 近代医療を支えるものは何か X 線ならびに放射線（後編）」森昌彦『歯科医療』22 (1) 135-150

「IVRの歩んできた道, 歩む道」森田穰『IVR: Interventional Radiology』23(3) 285-299

54 本草学史・博物学史

「龍谷大学蔵大谷文書5467号の『本草集注』(抄)」猪飼祥夫『日本医史学雑誌』54(2) 156

『『草本図説』の構造—植物用語の性格(上)・(中)・(下)』遠藤正治『悠斎研究会だより』(115-116, 118) 7, 7, 7

『『増捕手板発蒙』冬虫夏草(昆虫病原菌を含む)・昆虫本草を探る』奥沢康正『啓迪』(26) 21-26

55 麻酔学史

「この50年間の麻酔の進歩 麻酔関連薬物50年間の歴史」稲田英一『臨床麻酔』32(9) 1470-1476

「【麻酔 臨床工学技士として知っておくべき知識】麻酔の歴史と作用機序」大田まりあ, 横瀬真志, 渡邊至, 後藤隆久『Clinical Engineering』19(3) 235-240

「この50年間の麻酔の進歩 モニター機器」落合亮一『臨床麻酔』32(9) 1492-1498

「医療および獣医療における麻酔関連偶発死亡例調査 その歴史と現状」柿島圭『獣医麻酔外科学雑誌』39(Suppl.2) 133-136

「麻酔科学の過去・現在・近未来 学術の進歩と麻酔科医療の展開」土肥修司『麻酔』57(増刊) S1-S7

「麻酔科学史の研究から学んだこと 医療事故予防の観点から」松木明知『麻酔』57(増刊) S18-S27

「麻酔科の本質」松木明知『日本臨床麻酔学会誌』28(3) 349-358

「笠岡藩医結解庸徳による全身麻酔下の上顎腫瘍摘出術(抄)」松木明知, 佐藤裕『日本医史学雑誌』54(2) 104

「歴史を楽しむ 近代医療を支えるものは何か 麻酔」森昌彦『歯科医療』22(2) 100-113

「この50年間の麻酔の進歩 麻酔器および医療ガス」安本和正『臨床麻酔』32(9) 1484-1491

57 薬学史

「Modern Pharmacy in India A Historical Perspective」Harkishan Singh『薬史学雑誌』43(2) 140-150

「Regulation of the Statements in the Information on Drug Metabolizing Enzyme in the Package Insert — The Present Regulation and its History in Japan, the U.S. and the U.K. —」Shinichi Watanabe, Takashi Misu, Teruko Kurihara, Satoko Suzuki, Tomoya Sakurada, Nobunori Satoh, Shiro Ueda『薬史学雑誌』43(2) 175-180

「Construction of the Curriculum and Lectures for the Subject, “History of Pharmacy” in Matsuyama University School of Pharmacy」Jun Maki, Hiroshi Sakagami, Masahiro Kuwada, Hiroshi Sekiya, Eiji Tamai『薬史学雑誌』43(2) 181-184

「韓国の薬学史」沈昌求, 南姪希, 黄晨媚『薬史学雑誌』43(2) 128-139

「生命科学の進歩と医薬品研究開発(抄)」青木初夫『薬史学雑誌』43(1) 1-2

「小樽の秋野 ロシア領アレクサンドロフスク支店 顛末(抄)」秋野治郎『薬史学雑誌』43(2) 209

「わが国におけるアミノ酸系医薬品開発50年の変遷(1) —アミノ酸輸液—」荒井裕美子, 上原恵子, 松本和男『薬史学雑誌』43(2) 162-168

「【抗精神病薬の歴史的動向】Risperidone 誕生の経緯と治療上の意義」石郷岡純『臨床精神薬理』11(6) 1049-1053

「韓国近代薬学教育史—日韓併合時代を中心に(抄)」石田純郎『薬史学雑誌』43(2) 214

「“薬図協”の日本薬学会年会への関わりの歴史を探る」遠藤浩良『薬学図書館』53(3) 223-225

「【抗精神病薬の歴史的動向】Clozapineの役割と今後 Clozapineは過去の薬剤なのか, それとも未来の薬剤か」大下隆司『臨床精神薬理』11(6) 1041-1047

「【抗精神病薬の歴史的動向】定型抗精神病薬の位置付けと今後」大森哲郎『臨床精神薬理』11(6) 1033-1039

「続「楽しい薬理学」 抗てんかん薬(バルプロ酸)の発見」岡部進『薬局』59(1) 141-145

「続「楽しい薬理学」 バセドウ病の治療薬の発

- 見」岡部進『薬局』59(2)323-327
- 「続「楽しい薬理学」 嫌酒薬インタビューの発見」岡部進『薬局』59(8)134-138
- 「続「楽しい薬理学」 チャールズ・レジャークナ樹皮採集業者」岡部進『薬局』59(9)2975-2978
- 「続「楽しい薬理学」 レニンの発見」岡部進『薬局』59(10)3125-3129
- 「続「楽しい薬理学」 モルヒネは脳内で産生される」岡部進『薬局』59(11)3310-3314
- 「続「楽しい薬理学」 エンケファリンの発見」岡部進『薬局』59(13)3642-3646
- 「名著「江戸と北京」，翻訳までの師・朝比奈泰彦と弟子・三宅馨（抄）」小川通孝『薬史学雑誌』43(2)211
- 「「血の道」の薬の系統と王子五香散の位置づけ（抄）」荻原通弘，久保埜企美子，遠藤次郎『薬史学雑誌』43(2)222
- 「ヒンドゥー教のダンヴァンタリ像と薬師如来像の類似性（抄）」奥田潤，夏目葉子『薬史学雑誌』43(2)219
- 「明治・大正時代以来長い歴史を有する日本の病院薬剤部・薬剤師」に関するアンケート調査（第Ⅱ報）」奥田潤，山川浩司『薬史学雑誌』43(2)192-198
- 「薬のできるまで 「毒」と「薬」 影向範昭『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』7(3)452-454
- 「薬のできるまで 薬の見つけ方 過去，現在，未来」影向範昭『Q&Aでわかる肥満と糖尿病』7(6)939-942
- 「【抗精神病薬の歴史的動向】 Aripiprazole は第3世代抗精神病薬といえるか」菊地哲朗『臨床精神薬理』11(6)1077-1088
- 「人と薬の羅針盤① 長崎出島とシーボルト」城戸真由美，吉岡ゆうこ『大塚薬報』(632)26-29
- 「旧成羽町に残る明治期の薬関係資料について」木下浩『岡山民俗』(226)
- 「古くて新しい栄養素ビタミン ビタミンには人類の歴史を変えたエピソードが多い（抄）」木村修一『ビタミン』82(4)313
- 「【抗うつ薬】抗うつ薬開発の歴史」木村裕治，森本保人『最新精神医学』13(5)413-419
- 「道修町資料保存事業について（抄）」久保武雄『薬史学雑誌』43(2)232
- 「抗アレルギー薬の歴史 抗アレルギー薬の現状を把握する」黒沢元博，湯川龍雄『喘息』21(1)90-93
- 「道内における鉄道発展の歴史と現状および今後の課題（抄）」小池明夫『薬史学雑誌』43(2)201
- 「1920年代に京城で実施された薬剤師試験と朝鮮薬学校」五位野政彦『薬史学雑誌』43(1)61-66
- 「上方落語の中の医薬品—江戸落語との比較（抄）」五位野政彦『薬史学雑誌』43(2)212
- 「世界の薬史学会ウェブサイト（2007）（1）概要」五位野政彦，宮崎啓一『薬史学雑誌』43(1)101-103
- 「世界の薬史学会ウェブサイト（2007）（2）各国薬史学会サイト各論」五位野政彦，宮崎啓一『薬史学雑誌』43(1)104-110
- 「「仙沼子」攷」小高修司『薬史学雑誌』43(2)169-174
- 「生薬コラム 生薬の選び方・使い方 陳皮と橘皮」小松新平『中医臨床』29(4)584-587
- 「日本のドラッグストアの歴史に関する一考察—医薬品販売の変遷について—（抄）」佐藤知樹，二階堂けい子，長井貴之『薬史学雑誌』43(2)225
- 「舎密局，司薬場にいたる大阪の風土（抄）」芝哲夫『薬史学雑誌』43(2)228
- 「わが国の薬学の始まりへの回想と私の辿った道」柴田承二『薬史学雑誌』43(2)122-127
- 「アヘン（阿片）の歴史（抄）」渋谷均『市立室蘭総合病院医誌』33(1)83
- 「蝦夷地の医療（Ⅱ）（抄）」島田保久，長瀬清『薬史学雑誌』43(2)205
- 「外科（金創治療）の濫觴」杉山茂『薬史学雑誌』43(2)189-191
- 「薬局方としての『和剤局方』の意義（抄）」鈴木達彦『薬史学雑誌』43(2)224
- 「日本の医薬品副作用被害と安全対策の歴史（抄）」高橋春男『薬史学雑誌』43(2)226
- 「【抗精神病薬の歴史的動向】 Olanzapine：開発の

- 経緯とその後の展開」高橋正史, 藤井康男, 高橋道宏『臨床精神薬理』11(6) 1055-1059
- 「日本発★世界のくすり ピオグリタゾン(アクトス)の誕生とエビデンス」武田薬品工業株式会社医薬学術部くすり相談室『医療』62(11) 637-638
- 「日本に存在する20世紀前半朝鮮薬学史関連文献リストについて」千葉義彦, 三澤美和『薬史学雑誌』43(1) 54-60
- 「DDSの歴史とクスリの効き方・効かせ方(抄)」寺田弘『薬史学雑誌』43(1) 3-4
- 「抗菌薬開発の軌跡をたどる 手術時の感染症を激減させた外科医 ジョセフ・リスター」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』24(1) 107-111
- 「抗菌薬開発の軌跡をたどる 結核菌を発見した細菌学者 ローベルト・コッホ」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』24(2) 309-313
- 「抗菌薬開発の軌跡をたどる 選択毒性の考え方を創造し梅毒に有効なサルバルサンを開発した医師 パウル・エールリッヒ」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』24(3) 479-485
- 「抗菌薬開発の軌跡をたどる ゲルハルト・ドマークとプロントジルの開発」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』24(4) 693-698
- 「抗菌薬開発の軌跡をたどる 初めての抗生物質ペニシリンとそれに続くセファロスポリンの開発(1)」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』24(6) 1121-1126
- 「抗菌薬開発の軌跡をたどる ペニシリンおよびセファロスポリン誘導体開発の経緯(2)」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』24(7) 1285-1291
- 「抗菌薬開発の軌跡をたどる ストレプトマイシンなど抗結核薬の開発」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』24(8) 1619-1625
- 「抗菌薬開発の軌跡をたどる その他の新抗生物質の研究開発」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』24(9) 2077-2083
- 「抗菌薬開発の軌跡をたどる 抗真菌薬の進歩」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』24(10) 2263-2269
- 「抗菌薬開発の軌跡をたどる 抗ウイルス薬(抗ヘルペスウイルス薬, 抗インフルエンザ薬, 抗HIV薬, インターフェロン)の開発」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』24(11) 2405-2413
- 「抗菌薬開発の軌跡をたどる キノロン薬の展開」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』24(12) 2525-2531
- 「抗菌薬開発の軌跡をたどる おわりに 薬剤耐性菌との長い闘い」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』24(13) 2697-2705
- 「【オピオイド研究とその臨床応用の課題】オピオイドに関する話題 オピオイド開発 今後の展望」中村秀雄『ペインクリニック』29(別冊 秋) S523-S532
- 「【抗精神病薬の歴史的動向】第二世代抗精神病薬誕生物語とその後の展開: Perospirone」中村三孝『臨床精神薬理』11(6) 1071-1076
- 「インドのヒンドゥー教のダンヴァンタリ神像と薬師如来像の類似性」夏目葉子, 奥田潤『薬史学雑誌』43(2) 185-188
- 「薬石「無名異」: 石見銀山の副産物として献上された薬について(抄)」成田研一『薬史学雑誌』43(2) 223
- 「ビタミンD誘導体の医薬品化研究並びに脚気の歴史から学んだもの 現代医療の現状に対する疑問(抄)」西井易穂『ビタミン』82(5-6) 356-357
- 「戦後昭和の歴代日本薬剤師会長の事績に関する一考察—業権確立を求め, いかに考えいかに歩んだか—」西川隆『薬史学雑誌』43(2) 151-161
- 「北海道医薬品卸業の昭和後期から平成にかけての変遷(抄)」根布谷ふみえ, 小寺一, 金澤勉, 河野裕樹, 斎藤元護『薬史学雑誌』43(2) 207
- 「江戸時代における輸入唐薬に就いて(抄)」羽生和子『医譚』(104) 5452
- 「くすりの教室 NEW DRUG Information ちょっと一言 インスリン製剤の進歩 インスリンを超えたインスリン」浜田康次『Rp. レシピ』7(4) 364-365
- 「茶樹及び茶花の史的考察—特に茶花の食品としての利用—」播磨章一, 吉川雅之, 徳岡清司『薬史学雑誌』43(1) 16-32

- 「明治34年（1901）の医師・薬剤師調査と工藤鉄男編『日本東京医事通覧』（抄）」樋口輝雄『日本医史学雑誌』54（2）123
- 「一道修町と神農信仰―（抄）」別所俊顕『薬史学雑誌』43（2）231
- 「日本における抗生物質の源流 「ペニシリン産業事始（武田敬一著 2007年）」に学ぶ（その1）―（その2）」堀田国元『バムサ会誌』20（1-2）13-19, 50-55
- 「新聞にみる北海道の売薬広告 1. 明治28年新年号（抄）」本間克明『薬史学雑誌』43（2）208
- 「松山大学薬学部医療薬学科における薬学史教育事始（抄）」牧 純，関谷洋志，西岡麗奈，玉井栄治『薬史学雑誌』43（2）213
- 「三葉莢の原植物に関する史的考察」御影雅幸，二木結果里『薬史学雑誌』43（1）33-39
- 「星一と阿片事件（抄）」三澤美和『薬史学雑誌』43（2）215
- 「星製薬株式会社と朝鮮」三澤美和，千葉義彦，牛久保裕子『薬史学雑誌』43（1）40-47
- 「道修町の歴史と商法（抄）」三島佑一『薬史学雑誌』43（2）229
- 「薬事衛生の歴史的変遷と薬学教育6年制改革の開始（抄）」宮本法子『日本医史学雑誌』54（3）305-306
- 「【抗精神病薬の歴史的動向】第二世代抗精神病薬誕生物語とその後の展開：Quetiapine」村崎光邦，Goldstein Jeffrey M.『臨床精神薬理』11（6）1061-1070
- 「【抗精神病薬】抗精神病薬開発の歴史」本橋伸高『最新精神医学』13（6）535-539
- 「歴史のなかのアポセカリ（一） イングランド初の女性開業医エリザベス・ガレット・アンダーソン（抄）」柳澤波香『薬史学雑誌』43（2）217
- 「【アレルギー疾患と喫煙・飲酒・嗜好品】嗜好品から生まれた喘息薬 テオフィリンの歴史」山岡明子，小田島安平『アレルギーの臨床』28（12）1051-1056
- 「柴田フォーラム開催に当たって」山川浩司『薬史学雑誌』43（2）121
- 「金匱会診療所と漢方生薬（前編）」山田享弘，針ヶ谷哲也，小根山隆祥『漢方療法』11（11）872-881
- 「臨床睡眠薬理の豆知識 睡眠薬・睡眠改善薬の歴史」融道男『睡眠医療』2（2）210-214
- 「抗アレルギー薬の歴史 わが国特有のTh2サイトカイン阻害薬：トシル酸スプラタスト開発の歴史」湯川龍雄，黒沢元博『喘息』21（2）193-197
- 「【陽虚】代用生姜としての乾姜」横山知史，東医学研究会『東医学研究』（127）18-21
- 「人と薬の羅針盤② エジプトとパピルス」吉岡ゆうこ，城戸真由美『大塚薬報』（633）24-27
- 「人と薬の羅針盤③ ナイル川とビール」吉岡ゆうこ，城戸真由美『大塚薬報』（634）24-27
- 「人と薬の羅針盤④ イムホテプと「エドウィーン・スミス・パピルス」」吉岡ゆうこ，城戸真由美『大塚薬報』（635）24-27
- 「人と薬の羅針盤⑤ 古代エジプトの香りの世界」吉岡ゆうこ，城戸真由美『大塚薬報』（636）22-25
- 「人と薬の羅針盤⑥ エジプトのミイラ」吉岡ゆうこ，城戸真由美『大塚薬報』（637）26-29
- 「人と薬の羅針盤⑦ 古代エジプトの遺産」吉岡ゆうこ，城戸真由美『大塚薬報』（638）22-25
- 「人と薬の羅針盤⑧ ミツバチマークと養蜂」吉岡ゆうこ，城戸真由美『大塚薬報』（639）22-25
- 「人と薬の羅針盤⑨ エジプトの植物とファラオの秘薬」吉岡ゆうこ，城戸真由美『大塚薬報』（640）24-27
- 「人と薬の羅針盤⑩ 古代エジプトの美の世界」吉岡ゆうこ，城戸真由美『大塚薬報』（641）24-27
- 「茶花の史的考察（抄）」吉川雅之，播磨章一，徳岡清司『薬史学雑誌』43（2）221
- 「北海道薬科大学創設胎動期の新事実（続々）―北海道理科大（薬学部）予定校地の道薬科大への名義変更を示す謄本―（抄）」吉沢逸雄『薬史学雑誌』43（2）206
- 「道修町と共に歩んだ200年（抄）」吉原正明『薬史学雑誌』43（2）230
- 「明治時代の薬業行政：大日本製薬の事例にめぐって（抄）」ヨング・ジュリア『薬史学雑誌』43（2）227

58 蘭学史

「阿蘭陀通史馬場為八郎の伝えたオランダ語表記」
片桐一男『洋学史研究』(25) 29-64

59 リハビリテーション関係史

「理学療法臨床の歴史の変遷と未来(抄)」紀伊克
昌『大阪府理学療法学会誌』(20) 18

「【脳卒中リハビリテーションの現状と未来】脳卒
中におけるリハビリテーションの歴史と重要
性」渋谷健一郎『脳と循環』13(3) 207-211

「日本の作業療法における対象者理解の歴史の変
遷 脳血管障害の作業療法からみる健康観と主
体性」須川重光, 小澤加奈子, 久常良『藍野学
院紀要』(21) 35-46

「理学療法の原点 歴史と展望(抄)」大工谷新一
『大阪府理学療法学会誌』(20) 10

「研究 理学療法研究歴と近未来への期待(抄)」武
富由雄『大阪府理学療法学会誌』(20)
30

「【COPDと運動 包括的呼吸リハビリテーション
における位置づけ】呼吸リハビリテーションの
歴史と疫学」村田朗『臨床スポーツ医学』25(11)
1245-1249

「理学療法教育の歴史の変遷と未来(抄)」森永敏
博『大阪府理学療法学会誌』(20) 24

60 検査

「21世紀の検尿 尿検査からフローサイトメトリー
へ(英語)(Bringing Urinalysis into the 21st Cen-
tury: From Uroscopy to Automated Flow Cytome-
try)」Hauss Oliver『Sysmex Journal International』
18(2) 38-43

「類染色質小体研究の歴史(英語)(Historical Survey
on Chromatoid Body Research)」Yokota Sadaki『Acta
Histochemica et Cytochemica』41(4) 65-82

「ホルモン測定 of の歴史」家入蒼生夫『Medical Science
Digest』34(1) 2-4

「脳機能計測法を基礎から学ぶ人のために ABR
の基礎 発見より40周年を迎え新たな展開」加
我君孝『臨床神経生理学』36(4) 278-285

「サイトメトリーのパイオニア」河本圭司『Cyto-

metry Research』18(2) 21-25

「【看護は検査値をこう読む!】検体検査の歴史と
進化」佐藤純一『看護実践の科学』33(8) 39-43

「【外科学温故知新】によせて 血圧測定の歴史」
佐藤裕『臨床外科』63(4) 515-518

「病理診断科と臨床検査科の標榜 歴史的背景と今
後の課題」水口國雄『Medical Technology』36(5)
447-450

61 その他

「江戸時代, 鋳物に関する諸問題—田村藍水, 平賀
源内, シーボルト, ビュルガー, ポンペの事績
を中心に—(抄)」大沢眞澄『日本医史学雑誌』
54(2) 97-101

「【和製福祉用具の歴史】総論 和製福祉用具の歴
史 和製福祉用具をとりまく現況」奥英久『福
祉介護機器 Techno プラス』1(10) 11-18

「北京パラリンピック Year 障害者スポーツを知る
車いすテニス」加藤剛『Journal of Clinical Reha-
bilitation』17(10) 1004-1007

「【スポーツ医学は今どこにいて, どこへ向かうの
か】スポーツ医学のながれ」黒田善雄『臨床
スポーツ医学』25(1) 1-4

「【和製福祉用具の歴史】進化しつづけるポータ
ブルトレ 個人に合ったポータブルトレが見
つけられる種類が揃った」桜井学『福祉介護機
器 Techno プラス』1(10) 19-23

「医療を助けるアロマセラピー その歴史から基礎
的研究まで」塩田清二『ミクロスコーピア』25(4)
312-314

「日本人の肉食, 乳汁の利用について」杉山茂『薬
史学雑誌』43(1) 91-94

「日本における医学図書館の歴史 戦前の大学医学
部・医科大学に附属する図書館を中心に(抄)」
堰向志穂『医学情報サービス研究大会抄録集』
(25回) 18

「【ヘルスツーリズムとトラベルメディシン】ヘル
スツーリズムの歴史と現代社会で求められてい
る機能」高橋伸佳『日本渡航医学会誌』1(1)
1-5

「西洋古典学におけるジェンダー研究 その歴史

- と展望(1) 西村賀子『和歌山県立医科大学保健看護学部紀要』4, 11-18
- 「学校検診の歴史から見た運動器検診の必要性(抄)」福田潤『日本臨床スポーツ医学会誌』16(4) S109
- 「モデル生物の歴史と展望 バイオリソース・マウスの歴史と展望 ゲノム時代における Genealogy の新しい意義」森協和郎『実験医学』26(18) 2926-2931
- 62 中国語文献**
- 「医学史研究与『中華医史雜誌』本刊編輯部『中華医史雜誌』38(1)3-6
- 「在中国醫師協會中西醫結合醫師分会成立大会上的講話」韓啓徳『中華医史雜誌』38(1)7-9
- 「從『中華医史雜誌』看中国的西方医学史研究」甄橙・魏禕玲『中華医史雜誌』38(1)10-14
- 「1232年汴京大疫与氣候因素探討」牟重行『中華医史雜誌』38(1)15-18
- 「從馬王堆醫書看先秦中医生理觀」林伯欣, 李建民, 林昭庚『中華医史雜誌』38(1)19-23
- 「劉素素『三消論』对消渴病診治的貢獻」楊仕哲, 張賢哲『中華医史雜誌』38(1)24-27
- 「中医英訳の歴史回顧」藍鳳利『中華医史雜誌』38(1)28-32
- 「疫苗史上的重大事故及啓示」寇明先, 姜亜芳『中華医史雜誌』38(1)33-35
- 「米国家衛生与医薬博物館の發展啓示」王曉民, 徐新平, 趙蘇玲等『中華医史雜誌』38(1)36-38
- 「『医学衷中參西録』版本述略」李渡華, 于麗, 張盛君『中華医史雜誌』38(1)39-42
- 「一代名医祝味菊生平述要」楊杏林, 招萼華, 鄭雪君『中華医史雜誌』38(1)43-47
- 「『中藥名考証与規範』述評」余瀛鰲『中華医史雜誌』38(1)52-53
- 「『中華医史雜誌』近10年刊載論文初步統計」朱丹『中華医史雜誌』38(1)54-56
- 「俞根初『通俗傷寒論』伝本研究」陸雪秋『中華医史雜誌』38(1)57-60
- 「中国古代蛔虫名称源流初探」付雷, 翁屹『中華医史雜誌』38(1)53
- 「中華医学会医史学分会第11届3次學術年会紀要」山爾『中華医史雜誌』38(1)61
- 「首届全国中医医史文献学科建設研討会紀要」陳麗云『中華医史雜誌』38(1)62
- 「16-17世紀英国的瘟疫及其应对」鄒翔『中華医史雜誌』38(2)67-71
- 「淳化三年開封大疫与北宋政府的应对」韓毅『中華医史雜誌』38(2)72-75
- 「簡述宋人对『千金要方』散剂的改動」曾鳳『中華医史雜誌』38(2)76-78
- 「民国時期海峽兩岸中医藥交流」肖林榕『中華医史雜誌』38(2)79-81
- 「民国時期江蘇籍上海医家对中医学的貢獻」陸翔『中華医史雜誌』38(2)82-86
- 「維吾爾古籍『福樂智慧』関于心身關係的論述」陳青萍『中華医史雜誌』38(2)87-91
- 「上海巴斯德研究所的研究工作」楊威, 李志平『中華医史雜誌』38(2)92-98
- 「中国医科大学館藏明刻『仲景全書』近代流傳考」傅海燕『中華医史雜誌』38(2)99-102
- 「唐代幾部有关嶺南医藥專著的考察」靳士英, 靳朴『中華医史雜誌』38(2)103-105
- 「『難經本義』首次刊刻過程考」李玉清『中華医史雜誌』38(2)106-108
- 「馬王堆養生文献对早期針灸理論的影響」楊峰, 趙京生『中華医史雜誌』38(2)109-112
- 「瓊崖革命根拠地六連嶺紅軍医院」林詩泉, 林書勇『中華医史雜誌』38(2)113-114
- 「『医藥文化隨筆』評介」甄志亜『中華医史雜誌』38(2)119
- 「『救迷良方』与戒除鴉片煙毒」劉悅『中華医史雜誌』38(2)120-122
- 「首届中韩医学史國際學術研討会紀要」丁旭虹『中華医史雜誌』38(2)123
- 「帕金森与帕金森病」葉瑞東, 孔祥偉, 趙鋼等『中華医史雜誌』38(2)124
- 「欧米臨終關懷与姑息治療」許青『中華医史雜誌』38(2)125
- 「博洛尼亚大学及其培養的著名医学家」唐文娟『中華医史雜誌』38(2)126-127
- 「R—医療処方の独特標志」李荅『中華医史雜誌』

- 38(2)71
- 「中国最早的民間医藥团体」山爾『中華医史雜誌』38(2)114
- 「首届中医史文献学科建设研討会擬定学科建设建議書」嚴世芸, 陳麗雲『中華医史雜誌』38(2)108
- 「李經緯先生与中国医史学」王振瑞『中華医史雜誌』38(3)131-134
- 「5000年前開顛手術標本的医学研究」王東海, 徐淑軍, 鮑修風『中華医史雜誌』38(3)135-136
- 「歷史名藥宣黃連的興衰沿革」王德群, 彭華勝『中華医史雜誌』38(3)137-139
- 「国民政府内部圍繞中医存廢的派系紛爭」郝先中, 朱德佩『中華医史雜誌』38(3)140-144
- 「中国古代中医藥知識的傳播途徑浅析」李茵, 劉艷驕『中華医史雜誌』38(3)145-150
- 「民国時期傳染病防治的國際交流与合作」張泰山『中華医史雜誌』38(3)151-157
- 「腦性癱瘓認識歷史追溯」陳哨軍, 王秀麗『中華医史雜誌』38(3)158-162
- 「龍門藥方」D段文字的再討論」康興軍『中華医史雜誌』38(3)163-165
- 「山田業広『千金要方疏書記』初探」李俊德『中華医史雜誌』38(3)166-169
- 「『痧症全書』及其主要伝本」紀征瀚『中華医史雜誌』38(3)170-175
- 「不知經脉医学, 必然充滿困惑—浅析趙洪鈞對「經絡研究」的思考」劉澄中『中華医史雜誌』38(3)176-182
- 「繼承, 開拓, 創新—八十自述」李經緯『中華医史雜誌』38(3)183-190
- 「探賸鈞玄, 文凶并茂—李經緯新著『中史』評介」洪文旭『中華医史雜誌』38(3)191-192
- 「中医学「毒」的含義及其演變」謝文光, 陳可冀『中華医史雜誌』38(3)169
- 「中医治療口腔粘膜炎的歷史回顧」范月静『中華医史雜誌』38(3)175
- 「李經緯先生學術思想研討暨八十華誕慶典」紀要」劉悅『中華医史雜誌』38(3)封三
- 「人与動物体液在中藥炮制中的応用」刁統美, 馬莉『中華医史雜誌』38(3)150
- 「中国科協決定啓動部分学科的学科史研究項目試点工作」山爾『中華医史雜誌』38(3)144
- 「「讀中医經典, 学中医名著」讀書活動啓動儀式在京举行」譽為『中華医史雜誌』38(3)165
- 「『温疫論』之前明代温病理論的創新」張志斌『中華医史雜誌』38(4)195-199
- 「古代中医針具的發明与改進」曾芳, 梁繁榮, 和中凌等『中華医史雜誌』38(4)200-203
- 「論寅正与『黄帝內經』成書年代」孫非, 張其成『中華医史雜誌』38(4)204-206
- 「金元時期治療消渴病的用藥傾向」吳童『中華医史雜誌』38(4)207-208
- 「中西医学倫理学的比較研究」張明雪, 劉声『中華医史雜誌』38(4)209-213
- 「民国時期中央衛生行政組織的歷史考察」文岸『中華医史雜誌』38(4)214-222
- 「20世紀30年代蘇区群眾衛生防疫運動」田剛『中華医史雜誌』38(4)223-226
- 「牙齒充填材料的改進」龔怡『中華医史雜誌』38(4)227-230
- 「角膜移植術的演進」紀焱, 李志平『中華医史雜誌』38(4)231-234
- 「維吾爾医藥学專著『阿日普驗方』」阿布都卡地爾·阿布都瓦依提, 吐爾洪·艾買爾『中華医史雜誌』38(4)235-238
- 「古代綜合性書目中的医籍歸類和分類」劉婷, 杜傑慧『中華医史雜誌』38(4)239-242
- 「劉昉生平及著作考」李妹淳, 劉小斌『中華医史雜誌』38(4)243-245
- 「王吉民与中国首家医史博物館的創辦」傅維康『中華医史雜誌』38(4)246-247
- 「20世紀50年代山東省中医研究班紀略」張燦珩『中華医史雜誌』38(4)248-251
- 「明清時期地震災害与疾病流行的記載」牟重行『中華医史雜誌』38(4)252-253
- 「歷史悠久的「祛腐生肌法」」鈕曉紅『中華医史雜誌』38(4)222
- 「慶雲閣与『医学摘粹』」魏占坤『中華医史雜誌』38(4)254
- 「膝關節鏡的演變」孫聖, 邵培紅『中華医史雜誌』38(4)230
- 「「双中北」医史講座第16次學術報告会举行」国

華『中華医史雜誌』38(4)199

「我国学者出席美国第12届国际东亚科学史会议」
白茅『中華医史雜誌』38(4)238

64 歐文文献

ADAMS, A. / BURKE, S.: A Doctor in the House: The Architecture of Home-offices for Physicians in Toronto, 1885–1930: *Medical History*: 52 (2) 163–194

ALBERTI, Fay B.: Angina Pectoris and the Arnolds: Emotions and Heart Disease in the Nineteenth Century: *Medical History*: 52 (2) 221–236

APPEL, Jacob M.: “Physicians are not Bootleggers”: The Short, Peculiar Life of the Medicinal Alcohol Movement: *Bul. Hist. Med.*: 82 (2) 355–386

BAK-JENSEN, Soren: To Share or not to Share? Institutional Exchange of Cadaver Kidneys in Denmark: *Medical History*: 52 (1) 23–46

BARONA, Josep L.: Nutrition and Health. The International Context During the Inter-war Crisis: *Soc. Hist. Med.*: 21 (1) 87–105

BATES, A. W.: “Indecent and Demoralising Representations”: Public Anatomy Museums in Mid-Victorian England: *Medical History*: 52 (1) 1–22

BECKETT, Chris: Attitudes to Political and Commercial Endorsement in the Business Papers of Silas Mainville Burroughs, with Particular Reference to Henry Morton Stanley: *Medical History*: 52 (1) 107–128

BERLIVET, Luc: Between Expertise and Biomedicine: Public Health Research in France after the Second World War: *Medical History*: 52 (4) 471–492

BERRIDGE, Virginia: History Matters? History’s Role in Health Policy Making: *Medical History*: 52 (3) 311–326

BIRN, Anne-Emanuelle: Doctors on Record: Uruguay’s Infant Mortality Stagnation and Its Remedies, 1895–1945: *Bul. Hist. Med.*: 82 (2) 311–354

BOYLE, Marjorie O.: William Harvey’s Anatomy Book and Literary Culture: *Medical History*: 52 (1) 73–91

BOYLE, Marjorie O.: William Harvey’s Soliloquy to the College of Physicians: Reprising Terence’s Plot:

Medical History: 52 (3) 365–386

BROOKES, Barbara: A Corresponding Community: Dr. Agnes Bennett and Her Friends from the Edinburgh Medical College for Women of the 1890s: *Medical History*: 52 (2) 237–256

BROWN, Karen: From Ubombo to Mkhuzi: Disease, Colonial Science, and the Control of Nagana (Livestock Trypanosomosis) in Zululand, South Africa, c. 1894–1953: *J. Hist. Allied Sci.*: 63 (3) 285–322

BROWN, Michael: From Foetid Air to Filth: The Cultural Transformation of British Epidemiological Thought, ca. 1780–1848: *Bul. Hist. Med.*: 82 (3) 515–544

BUKLIJAS, Tatjana: Cultures of Death and Politics of Corpse Supply: Anatomy in Vienna, 1848–1914: *Bul. Hist. Med.*: 82 (3) 570–607

CABRE, Montserrat: Women or Healers? Household Practices and the Categories of Health Care in Late Medieval Iberia: *Bul. Hist. Med.*: 82 (1) 18–51

CASPER, Stephen T.: The Origins of the Anglo-American Research Alliance and the Incidence of Civilian Neuroses in Second World War Britain: *Medical History*: 52 (3) 327–346

CASPER, Stephen T.: Atlantic Conjectures in Anglo-American Neurology: Lewis H. Weed and Johns Hopkins Neurology, 1917–1942: *Bul. Hist. Med.*: 82 (3) 646–671

CHANG, Hui-Hua: Rationalizing Medicine and the Social Ambitions of Physicians in Classical Greece: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 63 (2) 217–244

CONDRAN, Gretchen A.: The Elusive Role of Scientific Medicine in Mortality Decline: Diphtheria in Nineteenth- and Early Twentieth-Century Philadelphia: *J. Hist. Allied Sci.*: 63 (4) 484–522

CRENNER, Christopher: Race and Medical Practice in Kansas City’s Free Dispensary: *Bull. Hist. Med.*: 82 (4) 820–847

CROZIER, Ivan: Nineteenth-Century British Psychiatric Writing about Homosexuality before Havelock Ellis: The Missing Story: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 63 (1) 65–102

- CURTIS, Stephan: In-Migration and Diphtheria Mortality among Children in the Sundsvall Region during the Epidemics of the 1880s: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 63 (1) 23–64
- ELLIOTT, Paul: “More Subtle than the Electric Aura”: Georgian Medical Electricity, the Spirit of Animation and the Development of Erasmus Darwin’s Psychophysiology: *Medical History*: 52 (2) 195–220
- FISSELL, Mary E.: Introduction: Women, Health, and Healing in Early Modern Europe: *Bul. Hist. Med.*: 82 (1) 1–17
- HARKNESS, Deborah E.: A View from the Streets: Women and Medical Work in Elizabethan London: *Bul. Hist. Med.*: 82 (1) 52–85
- HEGGIE, Vanessa: Lies, Damn Lies, and Manchester’s Recruiting Statistics: Degeneration as an “Urban Legend” in Victorian and Edwardian Britain: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 63 (2) 178–216
- HUGHES, Jessica: Fragmentation as Metaphor in the Classical Healing Sanctuary: *Soc. Hist. Med.*: 21 (2) 217–236
- HUNTER, C. / LAMONTAGNE, A. D.: Investigating ‘Community’ through a History of Responses to Asbestos-Related Disease in an Australian Industrial Region: *Soc. Hist. Med.*: 21 (2) 361–379
- HURREN, Elizabeth T.: Whose Body Is It Anyway? Trading the Dead Poor, Coroner’s Disputes, and the Business of Anatomy at Oxford University, 1885–1929: *Bul. Hist. Med.*: 82 (4) 775–819
- JOHNSTON, R. / MCLVOR, A.: Marginalising the Body at Work? Employers’ Occupational Health Strategies and Occupational Medicine in Scotland c. 1930–1974: *Soc. Hist. Med.*: 21 (1) 127–144
- JONES, E. / RAHMAN, S.: Framing Mental Illness, 1923–1939: The Maudsley Hospital and its Patients: *Soc. Hist. Med.*: 21 (1) 107–125
- KASTOR, P. J. / VALENCIUS, C. B.: Sacagawea’s “Gold”: Pregnancy and the Written Record of the Lewis and Clark Expedition: *Bul. Hist. Med.*: 82 (2) 276–310
- KELLY, Brendan D.: Poverty, Crime and Mental Illness: Female Forensic Psychiatric Committal in Ireland, 1910–1948: *Soc. Hist. Med.*: 21 (2) 311–328
- KELLY, Catherine: “Not From the College, but Through the Public and the Legislature”: Charles Maclean and the Relocation of Medical Debate in the Early Nineteenth Century: *Bul. Hist. Med.*: 82 (3) 545–569
- LA BERGE, Ann F.: How the Ideology of Low Fat Conquered America: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 63 (2) 139–177
- LACY, Cheryllyn: Education, Mutualism, and Medical Consumers in Third Republic France, 1882–1914: *Soc. Hist. Med.*: 21 (2) 253–268
- LEONG, Elaine: Making Medicines in the Early Modern Household: *Bul. Hist. Med.*: 82 (1) 145–168
- LEPICARD, Etienne: An Alternative to the Cosmic and Mechanic Metaphors for the Human Body? The House Illustration in Ma’aseh Tuvayah (1708): *Medical History*: 52 (1) 93–105
- LOUGHLIN K. / BERRIDGE, V.: Whatever Happened to Health Education? Mapping the Grey Literature Collection Inherited by NICE: *Soc. Hist. Med.*: 21 (3) 561–572
- MACFARLANE, J. T. / WORBOYS, M.: The Changing Management of Acute Bronchitis in Britain, 1940–1970: The Impact of Antibiotics: *Medical History*: 52 (1) 47–72
- MCCARTHY, Angela: Ethnicity, Migration and the Lunatic Asylum in Early Twentieth-Century Auckland, New Zealand: *Soc. Hist. Med.*: 21 (1) 47–65
- MCCLIVE, Cathy: Blood and Expertise: The Trials of the Female Medical Expert in the Ancient-Regime Courtroom: *Bul. Hist. Med.*: 82 (1) 86–108
- MCCORMICK, Leanne: ‘The Scarlet Woman in Person’: The Establishment of a Family Planning Service in Northern Ireland, 1950–1974: *Soc. Hist. Med.*: 21 (2) 345–360
- MCMILLEN, Christian W.: “The Red Man and the White Plague”: Rethinking Race, Tuberculosis, and American Indians, ca. 1890–1950: *Bul. Hist. Med.*: 82 (3) 608–645

- MIKHAIL, Alan: The Nature of Plague in Late Eighteenth-Century Egypt: *Bul. Hist. Med.*: 82 (2) 249–275
- MILLER, L. E./WEISS, R. M.: Medical Education Reform Efforts and Failures of U.S. Medical Schools, 1870–1930: *J. Hist. Allied Sci.*: 63 (3) 348–387
- MOSENSEN, Miri S.: A Tale of Two Discourses: The Historiography of Ottoman-Muslim Medicine: *Soc. Hist. Med.*: 21 (1) 1–12
- NOLTE, Karen: Carcinoma Uteri and ‘Sexual Debauchery’ — Morality, Cancer and Gender in the Nineteenth Century: *Soc. Hist. Med.*: 21 (1) 31–46
- NOYMER, A./JAROSZ, B.: Causes of Death in Nineteenth-Century New England: The Dominance of Infectious Disease: *Soc. Hist. Med.*: 21 (3) 573–578
- OPINEL, Annick: The Emergence of French Medical Entomology: The Influence of Universities, the Institut Pasteur and Military Physicians (1890–c.1938): *Medical History*: 52 (3) 387–405
- OSSEO-ASARE, Abena D.: Bioprospecting and Resistance: Transforming Poisoned Arrows into Strophanth Pills in Colonial Gold Coast, 1885–1922: *Soc. Hist. Med.*: 21 (2) 269–290
- PARK, Katharine: The Death of Isabella Della Volpe: Four Eyewitness Accounts of a Postmortem Caesarean Section in 1545: *Bul. Hist. Med.*: 82 (1) 169–187
- QUIRKE, V./GAUDILLIERE, J.: The Era of Biomedicine: Science, Medicine, and Public Health in Britain and France after the Second World War: *Medical History*: 52 (4) 441–452
- RANKIN, Alisha: Duchess, Heal Thyself: Elisabeth of Rochlitz and the Patient’s Perspective in Early Modern Germany: *Bul. Hist. Med.*: 82 (1) 109–144
- RAZ, Mical: Between the Ego and the Icepick: Psychosurgery, Psychoanalysis, and Psychiatric Discourse: *Bul. Hist. Med.*: 82 (2) 387–420
- REINARZ, Jonathan: Unearthing and Dissecting the Records of English Provincial Medical Education, c. 1825–1948: *Soc. Hist. Med.*: 21 (2) 381–392
- REVERBY, Susan M.: Inclusion and Exclusion: The Politics of History, Difference, and Medical Research: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 63 (1) 103–113
- REVERBY, Susan M.: “Don’t Fence Me In”: Connecting Irony to Power in the Scholarship of Charles E. Rosenberg: *J. Hist. Allied Sci.*: 63 (4) 447–454
- RIGAL, Christelle S.: Neo-clinicians, Clinical Trials, and the Reorganization of Medical Research in Paris Hospitals after the Second World War: The Trajectory of Jean Bernard: *Medical History*: 52 (4) 511–534
- RODRIGUEZ, Sarah W.: Rethinking the History of Female Circumcision and Clitoridectomy: American Medicine and Female Sexuality in the Late Nineteenth Century: *J. Hist. Allied Sci.*: 63 (3) 323–347
- ROGERS, Naomi: ‘Silence has its own Stories’: Elizabeth Kenny, Polio and the Culture of Medicine: *Soc. Hist. Med.*: 21 (1) 145–161
- ROGERS, Naomi: Explaining Everything? The Power and Perils of Reading Rosenberg: *J. Hist. Allied Sci.*: 63 (4) 425–434
- RYYMIN, Teemu: “Tuberculosis — threatened Children”: The Rise and Fall of a Medical Concept in Norway, c. 1900–1960: *Medical History*: 52 (3) 347–364
- SENG, Loh K.: ‘Our lives are bad but our luck is good’: A Social History of Leprosy in Singapore: *Soc. Hist. Med.*: 21 (2) 291–309
- SILVESTRE, Javier : Workplace Accidents and Early Safety Policies in Spain, 1900–1932: *Soc. Hist. Med.*: 21 (1) 67–86
- SIVARAMAKRISHNAN, Kavita: The Languages of Science, the Vocabulary of Politics: Challenges to Medical Revival in Punjab: *Soc. Hist. Med.*: 21 (3) 521–539
- SMITH, Leonard: ‘Your Very Thankful Inmate’: Discovering the Patients of an Early County Lunatic Asylum: *Soc. Hist. Med.*: 21 (2) 237–252
- SMITH, Matthew: Psychiatry Limited: Hyperactivity and the Evolution of American Psychiatry, 1957–1980: *Soc. Hist. Med.*: 21 (3) 541–559
- STEVENS, Rosemary A.: Charles E. Rosenberg and the Multifaceted Promise of Medical History: *J. Hist.*

- Allied Sci.: 63 (4) 414–422
- STEWART, John: The Political Economy of the British National Health Service, 1945–1975: Opportunities and Constraints?: *Medical History*: 52 (4) 453–470
- TOBBELL, Dominique A.: Allied Against Reform: Pharmaceutical Industry — Academic Physician Relations in the United States, 1945–1970: *Bull. Hist. Med.*: 82 (4) 878–912
- TOMES, N./CREENE, J.: Is There a Rosenberg School?: *J. Hist. Allied Sci.*: 63 (4) 455–466
- TOMES, N./REVERBY, S.M.: Continuity and Contingency: The Medical-Historical World according to Charles E. Rosenberg: *J. Hist. Allied Sci.*: 63 (4) 411–413
- TOMKINS, Alannah: ‘The Excellent Example of the Working Class’: Medical Welfare, Contributory Funding and the North Staffordshire Infirmary from 1815: *Soc. Hist. Med.*: 21 (1) 13–30
- VALIER, H. /TIMMERMANN, C.: Clinical Trials and the Reorganization of Medical Research in post-Second World War Britain : *Medical History*: 52 (4) 493–510
- WAGGONER, Jesse: The Role of the Physician: Eugene Sanger and a Standard of Care at the Elmira Prison Camp: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 63 (1) 1–22
- WATKINS, Elizabeth S.: Medicine, Masculinity, and the Disappearance of Male Menopause in the 1950s: *Soc. Hist. Med.*: 21 (2) 329–344
- WILSON, Daniel J.: Psychological Trauma and Its Treatment in the Polio Epidemics: *Bull. Hist. Med.*: 82 (4) 848–877
- WITHEY, Alun: Unhealthy Neglect? The Medicine and Medical Historiography of Early Modern Wales: *Soc. Hist. Med.*: 21 (1) 163–174
- WOODS, Robert: Dr. Smellie’s Prescriptions for Pregnant Women: *Medical History*: 52 (2) 257–276